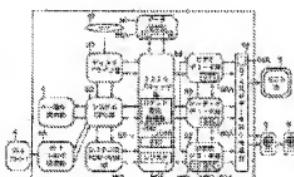


**RECORDING MEDIUM, APPARATUS AND METHOD FOR RECORDING OF DATA ON SAID RECORDING MEDIUM, AND APPARATUS AND METHOD FOR REPRODUCING OF DATA FROM SAID RECORDING MEDIUM****Publication number:** JP8339663 (A)**Publication date:** 1996-12-24**Inventor(s):** MIMURA HIDENORI; KURANO TOMOAKI; KIKUCHI SHINICHI; TAIRA KAZUHIKO**Applicant(s):** TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO; TOSHIBA AVE KK**Classification:****- international:** H04N5/765; G11B20/12; G11B27/00; H04N5/781; H04N5/765; G11B20/12; G11B27/00; H04N5/781; (IPC1-7): G11B27/00; G11B20/12; H04N5/765; H04N5/781**- European:****Application number:** JP19960089554 19960411**Priority number(s):** JP19960089554 19960411; JP19950114018 19950414**Abstract of JP 8339663 (A)**

**PURPOSE:** To change the color and the contrast of a character and to easily create many kinds of menus by a method wherein a recording medium is constituted of a region in which video data or the like is recorded and of a region in which information to control the region is recorded. **CONSTITUTION:** In subvideo data at every pixel after a decoding operation, its color and its contrast are changed according to highlight information so as to be supplied to a synthesis part 64A inside a processing part 64. Then, main video data which has been processed by a video decoder part 58 is supplied to the image synthesis part 64A inside the processing part 64, and it is decoded by a decoder 62B inside a subvideo decoding part 62 so as to be supplied to the image synthesis part 64A inside the processing part 64 via a highlight processing part 62C. Thereby, the main video data and the subvideo data are synthesized by the image synthesis part 64A, and a synthesized image is displayed on a monitor part 6.



---

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

特開平8-339663

(43)公開日 平成8年(1996)12月24日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 1 B 27/00			G 1 1 B 27/00	D
20/12	1 0 2	9295-5D	20/12	1 0 2
	1 0 3	9295-5D		1 0 3
H 0 4 N 5/785			H 0 4 N 5/781	5 1 0 L
5/781			G 1 1 B 27/00	D
				審査請求 有 請求項の数53 O L (全 59 頁)

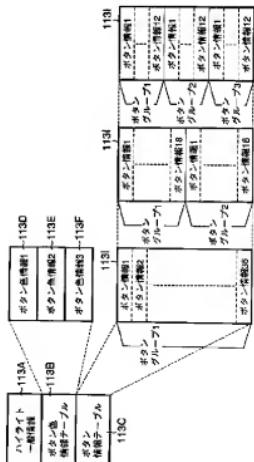
(21)出願番号	特願平8-89554	(71)出願人	000003078 株式会社東芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
(22)出願日	平成8年(1996)4月11日	(71)出願人	000221029 東芝エー・ブイ・イー株式会社 東京都港区新橋3丁目3番9号
(31)優先権主張番号	特願平7-114018	(72)発明者	三村 英紀 神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社 東芝柳町工場内
(32)優先日	平7(1995)4月14日	(72)発明者	戸野 翔昭 神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社 東芝柳町工場内
(33)優先権主張国	日本 (JP)	(74)代理人	弁理士 鈴江 武彦 (外6名)
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】記録媒体とこの記録媒体へのデータの記録装置とその記録方法、その記録媒体からのデータの再生装置とその再生方法

## (57)【要約】

【課題】この発明は、文字の色やコントラストを変更することにより、種々のメニューを容易に作成することができる。

【解決手段】この発明は、メニューの背景画像としての主映像データとメニューの選択項目からなる副映像データとにより、メニューを作成し、副映像データの選択項目に対するハイライト情報を変更することにより、種々のメニューを容易に作成するようにし、副映像データにより表現される選択項目や確定項目を含むボタン領域内における画素データとしてのパターン画素、背景画素、強調画素の色やコントラストを種々変更するものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、

上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データとが記録され、

上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報が上記主映像データと副映像データとにより記録されている上記メニュー情報を構成する主映像データが背景画像で、副映像データが選択項目または確定項目であり、上記副映像データで構成される選択項目または確定項目の制御用データが、該当する主映像データに対応して上記データ領域に記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項2】 上記データ領域に、上記主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つのオーディオデータが記録されていることを特徴とする請求項1に記載の記録媒体。

【請求項3】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項1に記載の記録媒体。

【請求項4】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項1に記載の記録媒体。

【請求項5】 上記データ領域に、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能なオーディオデータあるいは副映像データと制御用データとが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、オーディオデータパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータ

メニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項1に記載の記録媒体。

【請求項6】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データとを記録する記録装置において、

上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、

選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給する第1の供給手段と、

この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給する第2の供給手段と、

上記第1の供給手段により供給された主映像データをエンコードする第1のエンコード手段と、

上記第2の供給手段により供給された副映像データをエンコードする第2のエンコード手段と、

上記メニュー情報の選択項目または確定項目の制御内容を指示する指示手段と、

この指示手段により指示された選択項目または確定項目の制御用データを生成する生成手段と、

上記第1のエンコード手段によりエンコードされた主映像データと上記第2のエンコード手段によりエンコードされた副映像データと上記生成手段により生成された制御用データを上記記録媒体のデータ領域に記録する記録手段と、

を備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項7】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項6に記載の記録装置。

【請求項8】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項6に記載の記録装置。

【請求項9】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、オーディオデータパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

主映像データパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、  
上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項6に記載の記録装置。

【請求項10】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データと、上記主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つのオーディオデータとを記録する記録装置において、  
上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給する第1の供給手段と、  
この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給する第2の供給手段と、  
上記主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記主映像データに対応するオーディオデータを供給する第3の供給手段と、  
上記第1の供給手段により供給された主映像データをエンコードする第1のエンコード手段と、  
上記第2の供給手段により供給された副映像データをエンコードする第2のエンコード手段と、  
上記第3の供給手段により供給されたオーディオデータをエンコードする第3のエンコード手段と、  
上記メニュー情報の選択項目または確定項目の制御内容を指示する指示手段と、  
この指示手段により指示された選択項目または確定项目的制御用データを生成する生成手段と、  
上記第1のエンコード手段によりエンコードされた主映像データと上記第2のエンコード手段によりエンコードされた副映像データと上記第3のエンコード手段によりエンコードされたオーディオデータと上記生成手段により生成された制御用データを上記記録媒体のデータ領域に記録する記録手段と、  
を具備したことを特徴とする記録装置。

【請求項11】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項10に記載の記録装置。

【請求項12】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項10に記載の記録装置。

【請求項13】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに分かれで記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、オーディオデータパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項10に記載の記録装置。

【請求項14】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データとを記録するものにおいて、

上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給し、

この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給し、  
上記供給された主映像データと副映像データをエンコードし、

上記メニュー情報の選択項目または確定项目的制御内容を指示し、  
この指示された選択項目または確定项目的制御用データを生成し、

上記エンコードされた主映像データと副映像データと上記生成された制御用データを上記記録媒体のデータ領域に記録することを特徴とする記録方法。

【請求項15】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コ

トラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項14に記載の記録方法。

【請求項16】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項14に記載の記録方法。

【請求項17】 上記データ領域が、主映像データとの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項14に記載の記録方法。

【請求項18】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データと、上記主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つのオーディオデータとを記録するものにおいて、

上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給し、

この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給し、

上記主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記主映像データに対応するオーディオデータを供給し、上記供給された主映像データと副映像データとオーディオデータをエンコードし、

上記メニュー情報の選択項目または確定項目の制御内容を指示し、

この指示された選択項目または確定項目の制御用データを生成し、

上記エンコードされた主映像データと副映像データとオーディオデータと上記生成された制御用データを上記記

録媒体のデータ領域に記録することを特徴とする記録方法。

【請求項19】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項18に記載の記録方法。

【請求項20】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項18に記載の記録方法。

【請求項21】 上記データ領域が、主映像データとの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、オーディオデータパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項18に記載の記録方法。

【請求項22】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データおよび副映像データを再生する再生装置において、

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取る読取手段と、

この読み取り手段により読み取られた主映像データを再生出力に変換するとともに、上記読み取り手段により読み取られた制御用データに基づいて、上記読み取り手段により読み取られた副映像データを再生出力に変換する変換手段と、を備したことを特徴とする再生装置。

【請求項23】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項22に記載の再生装置。

【請求項24】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項22に記載の再生装置。

【請求項25】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のバックからなる階層構造で記録され、各バックが主映像データバック、副映像データバック、制御用データバックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、バックを管理する管理情報が記録され、上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項22に記載の再生装置。

【請求項26】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なくとも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、およびオーディオデータを再生する再生装置において、  
上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ

タ、オーディオデータ、および制御用データを読み取る読み取り手段と、

この読み取り手段により読み取られた主映像データとオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記読み取り手段により読み取られた制御用データに基づいて、上記読み取り手段により読み取られた副映像データを再生出力に変換する変換手段と、

を備したことを特徴とする再生装置。

【請求項27】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項26に記載の再生装置。

【請求項28】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項26に記載の再生装置。

【請求項29】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのセルが複数のバックからなる階層構造で記録され、各バックが主映像データバック、副映像データバック、オーディオデータバック、制御用データバックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、バックを管理する管理情報が記録され、  
上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項26に記載の再生装置。

【請求項30】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録さ

れ、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データおよび副映像データを再生するものにおいて、上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取り、

この読み取られた主映像データを再生出力に変換するとともに、上記読み取られた制御用データに基づいて、上記読み取られた副映像データを再生出力に変換することを特徴とする再生方法。

【請求項3 1】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項3 0に記載の再生方法。

【請求項3 2】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項3 0に記載の再生方法。

【請求項3 3】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項3 0に記載の再生方法。

【請求項3 4】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なくとも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定项目的制御

情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、およびオーディオデータを再生するものにおいて、

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、オーディオデータ、および制御用データを読み取り、この読み取られた主映像データとオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記読み取られた制御用データに基づいて、上記読み取られた副映像データを再生出力に変換することを特徴とする再生方法。

【請求項3 5】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項3 4に記載の再生方法。

【請求項3 6】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項3 4に記載の再生方法。

【請求項3 7】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、オーディオデータパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項3 4に記載の再生方法。

【請求項3 8】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定项目的制御

報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取り、外部へ通信する通信システムにおいて、

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取る読み取り手段と、

この読み取り手段により読み取られた主映像データ、副映像データ、および制御用データを外部へ通信する通信手段と、

この通信手段により通信された主映像データを再生出力に変換するとともに、上記通信手段により通信された制御用データに基づいて、上記通信手段により通信された副映像データを再生出力に変換する変換手段と、

を具備したことを特徴とする通信システム。

【請求項3 9】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項3 8に記載の通信システム。

【請求項4 0】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項3 8に記載の通信システム。

【請求項4 1】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項3 8に記載の通信システム。

【請求項4 2】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なく

とも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを読み取り、外部へ通信する通信システムにおいて、

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを読み取る読み取り手段と、

この読み取り手段により読み取られた主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを外部へ通信する通信手段と、

この通信手段により通信された主映像データおよびオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記通信手段により通信された制御用データに基づいて、上記通信手段により通信された副映像データを再生出力に変換する変換手段と、

を具備したことを特徴とする通信システム。

【請求項4 3】 上記選択項目の制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項4 2に記載の通信システム。

【請求項4 4】 上記確定項目の制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が確定される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報から構成されていることを特徴とする請求項4 2に記載の通信システム。

【請求項4 5】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに分かれて記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、制御用データパックよりなり、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項4.2に記載の通信システム。

【請求項4.6】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取り、外部へ通信することにより、その外部で再生するものにおいて。

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取り、この読み取られた主映像データ、副映像データ、および制御用データを外部へ通信し、この通信された主映像データを再生出力に変換するとともに、上記通信された制御用データに基づいて、上記通信された副映像データを再生出力に変換することを特徴とする通信方法。

【請求項4.7】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項4.6に記載の通信方法。

【請求項4.8】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項4.6に記載の通信方法。

【請求項4.9】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データが複数のプログラムチェーンに分かれで記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のバックからなる階層構造で記録され、各バッ

クが主映像データバック、副映像データバック、制御用データバックよりも、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、バックを管理する管理情報が記録され、

上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニューであることを特徴とする請求項4.6に記載の通信方法。

【請求項5.0】 一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なくとも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、オーディオデータ、および制御用データを読み取り、外部へ通信することにより、その外部で再生するものにおいて。

上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、オーディオデータ、および制御用データを読み取り、この読み取られた主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを外部へ通信し、この通信された主映像データおよびオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記通信された制御用データに基づいて、上記通信された副映像データを再生出力に変換することを特徴とする通信方法。

【請求項5.1】 上記選択项目的制御用データが、選択項目が選択される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択前表示色情報と、選択項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す選択後表示色情報と、各選択項目が表示されるべき位置を示す選択項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項5.0に記載の通信方法。

【請求項5.2】 上記確定项目的制御用データが、確定項目が確定される前に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定前表示色情報と、確定項目が選択される後に使用される副映像データの色、コントラスト等の情報を示す確定後表示色情報と、各確定項目が表示されるべき位置を示す確定項目位置情報とから構成されていることを特徴とする請求項5.1に記載の通信方法。

【請求項5.3】 上記データ領域が、主映像データとこの主映像データと同一時間帯に再生可能な副映像データおよびオーディオデータが複数のプログラムチェーンに

分かれで記録され、それぞれのプログラムチェーンが複数のプログラムからなり、1つのプログラムが複数のセルからなり、1つのセルが複数のパックからなる階層構造で記録され、各パックが主映像データパック、副映像データパック、オーディオデータパック、制御用データパックにより、上記管理領域に、上記データ領域のプログラムチェーン、プログラム、セル、パックを管理する管理情報が記録され、上記メニュー情報が各プログラムチェーンに対応するタイトルメニュー、各プログラムに対応するプログラムメニュー、副映像データに対応する副映像データメニュー、オーディオデータに対応するオーディオデータメニューであることを特徴とする請求項5に記載の通信方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、圧縮された動画データや音声データ等の目的や種類の違うデータを記録する光ディスク等の記録媒体、この記録媒体へデータを記録する記録装置、その記録媒体へのデータの記録方法、その記録媒体からデータを再生する再生装置、その記録媒体からのデータの再生方法に関する。

##### 【0002】

【從来の技術】從来、ビデオ、LD（レーザディスク）等の映像データにメニューを設ける場合、映像と無関係に再生機器が持つキャラクタジェネレータ等を用いて、表示されている映像に選択項目（または確定項目）をスパインボーズするか、選択項目を含めた映像データを準備していた。

【0003】前者の場合、映像データ中に選択項目に対応する文字コード等の番号を含めておけば再生機器の方で、コード番号に対応する選択項目をキャラクタジェネレータ等を用いて位置等を決定し表示し、ユーザーの選択に対しても選択された番号に対応する選択項目に対応するキャラクタジェネレータの表示色を変更することで選択結果をユーザーに認識させることは可能であるが、映像データによっては、どのような内容、言語で選択項目を表示するか解らず、それら全てに対応するキャラクタジェネレータを再生機器に備備することは事実上不可能であるという欠点がある。

【0004】後者の場合、映像データとしてメニューデータを作成するため、再生機器には負担がかからないが、ユーザーの選択結果に対応した選択項目を認識させるためには、選択番号に対応した新たな映像データを呼び出して表示する必要があるため、認識のための新たな映像が表示されるまで時間がかかり、ユーザーの誤動作を引き起こすという欠点がある。

【0005】すなわち、選択結果を含めた映像データを準備する場合、メニューを作成するための映像データとして

（a）選択項目「1. ABCDE」と「2. XYZ」の何れも選択されていない状態の映像データ

（b）選択項目「1. ABCDE」が選択された状態の映像データ

（c）選択項目「2. XYZ」が選択された状態の映像データ

の3種類の映像データを準備する必要がある。再生機器は、ユーザーの選択結果に応じて必要な映像データを選択し再生し直すことで、ユーザーの選択結果を反映したメニュー画面を表示することが可能となる。

【0006】しかしながら、この場合、新たな再生処理を実行することとなり、ユーザーの選択結果を反映したメニュー画面を表示するまでの時間が数秒以上かかることとなり、その間の待時間でユーザーは選択されていないのではないかという不安心から、誤った操作を実行する可能性が増加するという欠点がある。

【0007】また、再生装置でメニューの選択項目を表示する場合、メニューを作成する映像データとしては、選択項目がない状態の映像データを準備するだけではなく、メニューを作成する映像データ上に表示するだけ選択項目は、対応する文字コードを同時に記録しておくことで、再生装置側で判断により選択状況に応じて各選択項目が選択された状態を簡単に作成することができる。

【0008】しかしながら、選択項目として表現できる文字の大きさ、形、言語等は全て再生装置のもつ能力によって決定される事となり、メニューを作成するタイトル制作者サイドに於ては制限を持ったメニュー画面しか作成できず、再生装置に於ては負荷が増加するという欠点がある。

##### 【0009】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、主映像データと副映像データを具備する映像データを利用して、再生機器への負担が少なく、ユーザーの選択結果に応じたリアルタイムに反応可能にできることを目的とする。

【0010】この発明は、メニューの背景画像としての主映像データとメニューの選択項目または確定項目からなる副映像データとにより、メニューを作成し、副映像データの選択項目または確定項目に対するハイライト情報を変更、つまり文字の色やコントラストを変更することにより、種々のメニューを容易に作成することができるることを目的とする。

##### 【0011】

【課題を解決するための手段】この発明の記録媒体は、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報が上記主映像データと副映像データとによ

り記録されており、上記メニュー情報を構成する主映像データが背景画像で、副映像データが選択項目または確定項目であり、上記副映像データで構成される選択項目または確定项目的制御用データが、該当する主映像データに対応して上記データ領域に記録されている。

【0012】この発明の記録装置は、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データとを記録するものにおいて、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給する第1の供給手段、この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給する第2の供給手段、上記第1の供給手段により供給された主映像データをエンコードする第1のエンコード手段、上記第2の供給手段により供給された副映像データをエンコードする第2のエンコード手段、上記メニュー情報の選択項目または確定项目的制御内容を指示する指示手段、この指示手段により指示された選択項目または確定项目的制御用データを生成する生成手段、および上記第1のエンコード手段によりエンコードされた主映像データと上記第2のエンコード手段によりエンコードされた副映像データと上記生成手段により生成された制御用データを上記記録媒体のデータ領域に記録する記録手段から構成されている。

【0013】この発明の記録装置は、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成される記録媒体の、上記データ領域に、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データと、上記主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つのオーディオデータとを記録するものにおいて、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像を主映像データとして供給する第1の供給手段、この主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記メニュー情報の選択項目または確定項目としての副映像データを供給する第2の供給手段、上記主映像データと同一時間帯に再生可能で、かつ上記主映像データに対応するオーディオデータを供給する第3の供給手段、上記第1の供給手段により供給された主映像データをエンコードする第1のエンコード手段、上記第2の供給手段により供給された副映像データをエンコードする第2のエンコード手段、上記第3の供給手段により供給されたオーディオデータをエンコードする第3のエンコード手段、上記メニュー情報の選択項目または確定项目的制御内容を指示する指示手段、この指示手段により指示され

た選択項目または確定项目的制御用データを生成する生成手段、および上記第1のエンコード手段によりエンコードされた主映像データと上記第2のエンコード手段によりエンコードされた副映像データと上記第3のエンコード手段によりエンコードされたオーディオデータと上記生成手段により生成された制御用データを上記記録媒体のデータ領域に記録する記録手段から構成されている。

【0014】この発明の再生装置は、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定项目的制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データおよび副映像データを再生するものにおいて、上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読取る読取手段、およびこの読取手段により読取られた主映像データを再生出力に変換するとともに、上記読取手段により読取られた制御用データに基づいて、上記読取手段により読取られた副映像データを再生出力に変換する変換手段から構成されている。

【0015】この発明の再生装置は、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なくとも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データとが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定项目的制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、およびオーディオデータを再生するものにおいて、上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、オーディオデータ、および制御用データを読取る読取手段、およびこの読取手段により読取られた主映像データとオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記読取手段により読取られた制御用データに基づいて、上記読取手段により読取られた副映像データを再生出力に変換する変換手段から構成されている。

【0016】この発明の通信システムは、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記

ータ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データおよび制御用データが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取り、外部へ通信するものにおいて、上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、および制御用データを読み取る読み取手段、この読み取手段により読み取られた主映像データ、副映像データ、および制御用データを外部へ通信する通信手段、およびこの通信手段により通信された主映像データを再生出力に変換するとともに、上記通信手段により通信された制御用データに基づいて、上記通信手段により通信された副映像データを再生出力に変換する変換手段から構成されている。

【0017】この発明の通信システムは、一部の領域に管理領域と、他の領域にデータ領域が形成され、上記データ領域には、少なくとも1つの主映像データと、この主映像データと同一時間帯に再生可能な少なくとも1つの副映像データ、少なくとも1つのオーディオデータ、および少なくとも1つの制御用データが記録され、上記主映像データの種々の内容をそれぞれ確認したり、選択したりする際に用いる上記各内容に対応した少なくとも1つのメニュー情報の背景画像が上記主映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目が副映像データで記録され、そのメニュー情報の選択項目または確定項目の制御情報が制御用データで記録されている記録媒体から主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを読み取り、外部へ通信するものにおいて、上記記録媒体のデータ領域の主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを読み取る読み取手段、この読み取手段により読み取られた主映像データ、副映像データ、オーディオデータおよび制御用データを外部へ通信する通信手段、およびこの通信手段により通信された主映像データおよびオーディオデータを再生出力に変換するとともに、上記通信手段により通信された制御用データに基づいて、上記通信手段により通信された副映像データを再生出力に変換する変換手段から構成されている。

#### 【0018】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照してこの発明の実施例に係る光ディスク再生装置を説明する。

【0019】図1は、この発明の一実施例に係る光ディスクからデータを再生する光ディスク再生装置のブロックを示し、図2は、図1に示された光ディスクをドライブ

するディスクドライブ部のブロックを示し、図3は、図1及び図2に示した光ディスクの構造を示している。

【0020】図1に示すように光ディスク再生装置は、キー操作/表示部4、モニタ一部6及びスピーカ一部8を備置している。ここで、ユーザがキー操作/表示部4を操作することによって光ディスク10から記録データが再生される。記録データは、映像データ、副映像データ及び音声データを含み、これらは、ビデオ信号及びオーディオ信号に変換される。モニタ部6は、オーディオ信号によって映像を表示し、スピーカ部8は、オーディオ信号によって音声を発生している。

【0021】既に知られるように光ディスク10は、種々の構造がある。この光ディスク10には、例えば、図3に示すように、高密度でデータが記録される読み出し専用ディスクがある。図3に示されるように光ディスク10は、一対の複合層18とこの複合ディスク層18間に介持された接着層20とから構成されている。この各複合ディスク層18は、透明基板14及び記録層、即ち、光反射層16から構成されている。このディスク層18は、光反射層16が接着層20の面上に接触するように配置される。この光ディスク10には、中心孔22が設けられ、その両面の中心孔22の周囲には、この光ディスク10をその回転時に押さえる為のクランピング領域24が設けられている。中心孔22には、光ディスク装置にディスク10が装填された際に図2に示されたスピンドルモータ12のスピンドルが挿入され、ディスクが回転される間、光ディスク10は、そのクランピング領域24でクランプされる。

【0022】図3に示すように、光ディスク10は、その両面のクランピング領域24の周間に光ディスク10に情報を記録することができる情報領域25を有している。各情報領域25は、その外周領域が通常は情報が記録されないリードアウト領域26に、また、クランピング領域24に接するその内周領域が同様に、通常は情報が記録されないリードイン領域27に定められ、更に、このリードアウト領域26とリードイン領域27との間がデータ記録領域28に定められている。

【0023】情報領域25の記録層16には、通常、データが記録される領域としてトラックがスパイラル状に連続して形成され、その連続するトラックは、複数の物理的なセクタに分割され、そのセクタには、連続番号が付され、このセクタを基準にデータが記録されている。情報記録領域25のデータ記録領域28は、実際のデータ記録領域であって、後に説明するように再生情報、ビデオデータ（主映像データ）、副映像データ及びオーディオデータが同様にビット（即ち、物理的状態の変化）として記録されている。読み出し専用の光ディスク10では、透明基板14にビット列が子めスタンパーで形成され、このビット列が形成された透明基板14の面上に反射層が蒸着により形成され、その反射層が記録層16と

して形成されることとなる。また、この読み出し専用の光ディスク10では、通常、トラックとしてのグループが特に設けられず、透明基板14の面に形成されるビット列がトラックとして定められている。

【0024】このような光ディスク装置12は、図1に示されるように更にディスクドライブ部30、システムCPU部50、システムROM/RAM部52、システムプロセッサ部54、データRAM部56、ビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60、副映像デコーダ部62及びD/A及びデータ再生部64から構成されている。システムプロセッサ部54は、システムタイムクロック54A及びレジスタ54Bを備え、また、ビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62は、同様にシステムタイムクロック(STC)58A、60A、62Aを備えている。

【0025】図2に示すようにディスクドライブ部30は、モータドライブ回路11、スピンドルモータ12、光学ヘッド32(即ち、光ピックアップ)、フィードモータ33、フォーカス回路36、フィードモータ駆動回路37、トラッキング回路38、ヘッドアンプ40及びサーボ処理回路44を具備している。光ディスク10は、モータ駆動回路11によって駆動されるスピンドルモータ12上に載置され、このスピンドルモータ12によって回転される。光ディスク10にレーザービームを照射する光学ヘッド32が光ディスク10の下に置かれており、また、この光学ヘッド32は、ガイド機構(図示せず)上に載置されている。フィードモータ駆動回路37がフィードモータ33に駆動信号を供給する為に設けられている。モータ33は、駆動信号によって駆動されて光学ヘッド32を光ディスク10の半径方向に移動している。光学ヘッド32は、光ディスク10に向かれる対物レンズ34を備えている。対物レンズ34は、フォーカス回路36から供給される駆動信号に従ってその光軸に沿って移動される。

【0026】上述した光ディスク10からデータを再生するには、光学ヘッド32が対物レンズ34を介してレーザービームを光ディスク10に照射される。この対物レンズ34は、トラッキング回路38から供給された駆動信号に従って光ディスク10の半径方向に微動される。また、対物レンズ34は、その焦点が光ディスク10の記録層16に位置されるようにフォーカシング回路36から供給された駆動信号に従ってその光軸方向に沿って微動される。その結果、レーザービームは、最小ビームスポットをスピナーラルトラック(即ち、ビット列)上に形成され、トラックが光ビームスポットで追跡される。レーザービームは、記録層16から反射され、光学ヘッド32に戻される。光ヘッド32では、光ディスク10から反射された光ビームを電気信号に変換し、この電気信号は、光ヘッド32からヘッドアンプ40を介してサーボ処理回路44に供給される。サーボ処理回路44では、

電気信号からフォーカス信号、トラッキング信号及びモータ制御信号を生成し、これらの信号を夫々フォーカス回路36、トラッキング回路38、モータ駆動回路11に供給している。

【0027】従って、対物レンズ34がその光軸及び光ディスク10の半径方向に沿って移動され、その焦点が光ディスク10の記録層16に位置され、また、レーザービームが最小ビームスポットをスピナーラルトラック上に形成する。また、モータ駆動回路11によってスピンドルモータ12が所定の回転数で回転される。その結果、光ディスク10のビット列が光ビームで、例えば、線連一定で追跡される。

【0028】図1に示されるシステムCPU部50からアクセス信号としての制御信号がサーボ処理回路44に供給される。この制御信号に応答してサーボ処理回路44からヘッド移動信号がフィードモータ駆動回路37に供給されてこの回路37が駆動信号をフィードモータ33に供給することとなる。従って、フィードモータ33が駆動され、光ヘッド32が光ディスク10の半径方向に沿って移動される。そして、光学ヘッド32によって光ディスク10の記録層16に形成された所定のセクタがアクセスされる。再生データは、その所定のセクタから再生されて光学ヘッド32からヘッドアンプ40に供給され、このヘッドアンプ40で増幅され、ディスクドライブ部30から出力される。

【0029】出力された再生データは、システム用ROM及びRAM部52に記録されたプログラムで制御されるシステムCPU部50の管理下でシステムプロセッサ部54によってデータRAM部56に格納される。この格納された再生データは、システムプロセッサ部54によって処理されてビデオデータ、オーディオデータ及び副映像データに分類され、ビデオデータ、オーディオデータ及び副映像データは、夫々ビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に取出されてデコードされる。デコードされたビデオデータ、オーディオデータ及び副映像データは、D/A及び再生処理回路64でアナログ信号としてのビデオ信号、オーディオ信号に変換されるとともにミキシング処理されてビデオ信号及び副映像信号がモニタ6に、また、オーディオ信号がスピーカ部8に夫々供給される。その結果、ビデオ信号及び副映像信号によってモニタ部6に映像が表示されるとともにオーディオ信号によってスピーカ部8から音声が再現される。

【0030】図1に示す光ディスク再生装置においては、ユーザが本体のフロントパネルのキー操作及び表示部4、あるいは本体内のリモートコントロールレシーバ部41と赤外線による光通信により接続されている隔離操作装置としてのリモートコントロール5を操作することによって光ディスク10から記録データ、即ち、映像データ、副映像データ及び音声データが再生され、装置

内でオーディオ（音声）信号及びビデオ信号に変換され、装置外のモニタ部6及びスピーカ部8で映像及び音声として再現される。

【0031】上記キー操作及び表示部4は、図4に示すように、電源キー4a、マイクの入力端子4b、再生キー4c、一時停止キー4d、停止キー4e、早送り後戻りキー4f、光ディスク10の取り込み取り外しを指示するオーブン／クローズキー4g、表示器4h、光ディスク10の挿入、取出口4i等により構成されている。

【0032】上記リモートコントロール5は、図5に示すように、電源キー5a、数字キー5b、停止キー5c、再生キー5d、一時停止キー5e、メモリキー5f、光ディスク10の取り込み取り外しを指示するオーブン／クローズキー5g、早送り後戻りキー5h、キー5i、リピートの指示と範囲を指示するリピートキー5j、メニュー画面の表示を指示するメニューキー5k、

タイトルメニュー画面の表示を指示するタイトルキー5l、メニュー画面表示時の項目を選択する際に用いる上下左右のセレクトキー5m等により構成されている。

【0033】図1に示す光ディスク装置の詳細な動作については、次に説明する光ディスク10の論理フォーマットを参照して後により詳細に説明する。

【0034】図1に示される光ディスク10のリードインエリア27からリードアウトエリア26までのデータ記録領域28は、図6に示されるようなボリューム及びファイル構造を有している。この構造は、論理フォーマットとして特定の規格、例えば、マイクロUDF(microUDF)及びISO9660に準拠されて定められている。データ記録領域28は、既に説明したように物理的に複数のセクタに分割され、その物理的セクタには、連続番号が付されている。下記の説明で論理アドレスは、マイクロUDF(microUDF)及びISO9660で定められるように論理セクタ番号(LSN)を意味し、論理セクタは、物理セクタのサイズと同様に2048バイトであり、論理セクタの番号(LSN)は、物理セクタ番号の昇順とともに連続番号が付加されている。

【0035】図6に示されるようにこのボリューム及びファイル構造は、階層構造を有し、ボリューム及びファイル構造領域70、ビデオマネージャー71、少なくとも1以上のビデオタイトルセット72及び他の記録領域73を有している。これら領域は、論理セクタの境界上で区分されている。ここで、従来のCDと同様に1論理セクタは、2048バイトと定義されている。同様に、1論理ブロックも2048バイトと定義され、従って、1論理セクタは、1論理ブロックと定義される。

【0036】ファイル構造領域70は、マイクロUDF及びISO9660に定められる管理領域に相当し、この領域の記述を介してビデオマネージャー71がシステムROM/RAM部52に格納される。ビデオマネージ

ャー71には、図7を参照して説明するようにビデオタイトルセットを管理する情報が記述され、ファイル#0から始まる複数のファイル74から構成されている。また、各ビデオタイトルセット72には、後に説明するように圧縮されたビデオデータ、オーディオデータ及び副映像データ及びこれらの再生情報が格納され、同様に複数のファイル74から構成されている。ここで、複数のビデオタイトルセット72は、最大99個に制限され、また、各ビデオタイトルセット72を構成するファイル74(F file #jからP file #j+9)の数は、最大10個に定められている。これらファイルも同様に論理セクタの境界で区分されている。

【0037】他の記録領域73には、上述したビデオタイトルセット72を利用可能な情報が記録されている。この他の記録領域73は、必ずしも設けられなくとも良い。

【0038】図7に示すようにビデオマネージャー71は、夫々が各ファイル74に相当する3つの項目を含んでいる。即ち、ビデオマネージャー71は、ビデオマネージャー情報(VMGI)75、ビデオマネージャー情報メニューの為のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76及びビデオマネージャー情報のバックアップ(VMGI\_BUP)77から構成されている。ここで、ビデオマネージャー情報(VMGI)75及びビデオマネージャー情報のバックアップ77(VMGI\_BUP)77は、必須の項目とされ、ビデオマネージャー情報メニューの為のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76は、オプションとされている。このVMGM用のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76には、ビデオマネージャー71が管理する当該光ディスクのビデオに関するメニューのビデオデータ、オーディオデータ及び副映像データが格納されている。

【0039】このVMGM用のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76によって後に説明されるビデオの再生のように当該光ディスクのボリューム名、ボリューム名表示に伴う音声及び副映像の説明が表示されるとともに選択可能な項目が副映像で表示される。例えば、VMGM用のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76によって当該光ディスクがあるボクサーのワールドチャンピオンに至るまでの試合を格納したビデオデータである旨、即ち、ボクサーXの栄光の歴史等のボリューム名とともにボクサーXのファイティングポーズがビデオデータで再生されるとともに彼のテーマソングが音声で表示され、副映像で彼の年表等が表示される。また、選択項目として試合のナレーションを英語、日本語等のいずれの言語を選択するか問い合わせられるときに副映像で他の言語の字幕を表示するか、また、いずれの言語の字幕を選択するか否か問い合わせされる。このVMGM用のビデオオブジェクトセット(VM

MGM\_VOBS) 76によってユーザは、例えば、音声は、英語で副映像として日本語の字幕を採用してボクサーXの試合のビデオを鑑賞する準備が整うこととなる。

【0040】ここで、図8を参照してビデオオブジェクトセット(VOBS) 82の構造について説明する。図8は、ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82の一例を示している。このビデオオブジェクトセット(VOBS) 82には、2つのメニュー用及びタイトル用として3つのタイプのビデオオブジェクトセット(VOBS) 76がある。即ち、ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82は、後に説明するようにビデオタイトルセット(VTS) 72中にビデオタイトルセットのメニュー用ビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS) 95及び少なくとも1つ以上のビデオタイトルセットのタイトルの為のビデオオブジェクトセット(VTSTT\_VOBS) 96があり、いずれのビデオオブジェクトセット82もその用途が異なるのみで同様の構造を有している。

【0041】図8に示すようにビデオオブジェクトセット(VOBS) 82は、1個以上のビデオオブジェクト(VOB) 83の集合として定義され、ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82中のビデオオブジェクト83は、同一の用途の供される。通常、メニュー用のビデオオブジェクトセット(VOBS) 82は、1つのビデオオブジェクト(VOB) 83で構成され、複数のメニュー用の画面を表示するデータが格納される。これに対してタイトルセット用のビデオオブジェクトセット(VTSTT\_VOBS) 82は、通常、複数のビデオオブジェクト(VOB) 83で構成される。

【0042】ここで、ビデオオブジェクト(VOB) 83は、上述したボクシングのビデオを例にすれば、ボクサーXの各試合の映像データに相当し、ビデオオブジェクト(VOB)を指定することによって例えば、ワールドチャンピョンに挑戦する第11戦をビデオで再現することができる。また、ビデオタイトルセット72のメニュー用ビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS) 95には、そのボクサーXの試合のメニューデータが格納され、そのメニューの表示に従って、特定の試合、例えば、ワールドチャンピョンに挑戦する第11戦を指定することができる。尚、通常の1ストーリーの映画では、1ビデオオブジェクト(VOB) 83が1ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82に相当し、1ビデオオブジェクトが1ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82で完結することとなる。また、アニメ集、或いは、オムニバス形式の映画では、1ビデオオブジェクトセット(VOBS) 82中に各ストーリーに対応する複数のビデオストリームが分けられ、各ビデオストリームが対応するビデオオブジェクトに格納されている。従って、ビデオストリームに関連したオーディオストリーム

及び副映像ストリームも各ビデオオブジェクト(VOB) 83中で完結することとなる。

【0043】ビデオオブジェクト(VOB) 83には、識別番号(IDN#j)が付され、この識別番号によってそのビデオオブジェクト(VOB) 83を特定することができる。ビデオオブジェクト(VOB) 83は、1又は複数のセル84から構成される。通常のビデオストリームは、複数のセルから構成されることとなるが、メニュー用のビデオストリーム、即ち、ビデオオブジェクト(VOB) 83は、1つのセル84から構成される場合もある。同様にセルには、識別番号(C\_IDN#j)が付され、このセル識別番号(C\_IDN#j)によってセル84が特定される。後に説明するアングルの変更時には、このセル番号を特定することによってアングルが変更される。

【0044】ここでアングルとは、映像の分野において見る角度を代えることを意味し、ボクシングの例では、同一のノックアウトの場面をチャンピオン側から見たシーン、挑戦者側から見たシーン、ジャッジの側から見たシーン等様々な角度からのシーンを見ることができるることを意味する。アングルの選定は、ユーザーの好みに応じて選定ができる場合、或いは、ストーリーの流れの中で自動的に同一シーンがアングルを変えて繰り返される場合がある。また、アングルを選定する場合、同一シーンの始めに戻ってアングルが変わる場合、例えば、ボクサーがカウンターを入れる瞬間のシーンでアングルが変わり、再びカウンターが入る場合と、そのシーンに続くシーンでアングルが変わる場合、例えば、ボクサーがカウンターを入れた後のパンチが入った瞬間にアングルが変わる場合がある。いずれのアングルの変更も実現できるように後に詳述するナビゲーションパック86がビデオオブジェクトユニット(VOBU) 83中に設けられている。

【0045】図8に示すように各セル84は、1又は複数のビデオオブジェクトユニット(VOBU) 85、通常は、複数のビデオオブジェクトユニット(VOBU) 85から構成される。ここで、ビデオオブジェクトユニット(VOBU) 85は、1つのナビゲーションパック(NVパック) 86を先頭に有するパック列として定義される。即ち、ビデオオブジェクトユニット(VOBU) 85は、あるナビゲーションパック86から次のナビゲーションパックの直前まで記録される全パックの集まりとして定義される。このビデオオブジェクトユニット(VOBU)の再生時間は、図9に示すようにビデオオブジェクトユニット(VOBU)中に含まれる単数又は複数個のGOPから構成されるビデオデータの再生時間に相当し、その再生時間は、0.4秒以上であって1秒より大きくなないように定められる。MPGEでは、1GOPは、通常0.5秒であってその間に15枚程度の画像が再生する為の圧縮された画面データである。

と定められている。

【0046】図8に示すようにビデオオブジェクトユニットがビデオデータを含む場合には、MPEG規格に定められたビデオパック（Vパック）88、副映像パック（SPパック）90及びオーディオパック（Aパック）91から構成されるGOPが配列されてビデオデータストリームが構成されるが、このGOPの数とは、無関係にGOPの再生時間を基準にしてビデオオブジェクト（VOBU）83が定められ、その先頭には、常にナビゲーションパック（NVパック）86が配列される。また、オーディオ及び／又は副映像データのみの再生データにあってもこのビデオオブジェクトユニットを1単位として再生データが構成される。即ち、オーディオパックのみでビデオオブジェクトユニットが構成されても、ビデオデータのビデオオブジェクトと同様にそのオーディオデータが属するビデオオブジェクトユニットの再生時間内に再生されるべきオーディオパックがそのビデオオブジェクトユニットに格納される。これらパックの再生の手順に関しては、ナビゲーションパック（NVパック）86とともに後に詳述する。

【0047】再び図7を参照してビデオマネージャー71について説明する。ビデオマネージャー71の先頭に配置されるビデオ管理情報75は、タイトルをサーチする為の情報、ビデオマネージャーメニューの再生の為の情報のなどをビデオタイトルセット（VTS）72を管理する情報が記述され、図7に示す順序で少なくとも4つのテーブル78、79、80、81が記録されている。この各テーブル78、79、80、81は、論理セクタの境界に一致されている。第1のテーブルであるビデオ管理情報管理テーブル（VMG\_I\_MAT）78は、必須のテーブルであってビデオマネージャー71のサイズ、このビデオマネージャー71中の各情報のスタートアドレス、ビデオマネージャーメニュー用のビデオオブジェクトセット（VMGM\_VOBS）76に関する属性情報等が記述されている。

【0048】また、ビデオマネージャー71の第2のテーブルであるタイトルサーチボインターテーブル（TT\_SRPT）79には、装置のキー及び表示部4からのタイトル番号の入力あるいはリモートコントローラ5によるタイトル番号の選択に応じて選定可能な当該光ディスク10中のボリュームに含まれるビデオタイトルのエンタリープログラムチェーン（EPGC）が記載されている。

【0049】ここで、プログラムチェーン87とは、図9に示すようにあるタイトルのストーリーを再現するプログラム89の集合であってプログラムチェーンが連続して再現されることによってある1タイトルの映画が完結される。従って、ユーザーは、プログラムチェーン87内のプログラム89を指定することによって映画の特定のシーンからその映画を鑑賞することができる。

【0050】ビデオマネージャー71の第3のテーブルであるビデオタイトルセット属性テーブル（VTS\_A\_TRT）80には、当該光ディスクのボリューム中のビデオタイトルセット（VTS）72に定められた属性情報が記載される。即ち、属性情報としてビデオタイトルセット（VTS）72の数、ビデオタイトルセット（VTS）72の番号、ビデオの属性、例えば、ビデオデータの圧縮方式等、オーディオストリームの属性、例えば、オーディオの符号化モード等、副映像の属性、例えば、副映像の表示タイプ等がこのテーブルに記載されている。

【0051】ビデオマネージャー71の第4のテーブルであるビデオマネージャーメニューPGC Iユニットテーブル（VMGM\_PGC\_I\_UT）81には、ビデオマネージャーメニュー用のビデオオブジェクトセット（VMGM\_VOBS）76に関する情報が記載される。

【0052】ビデオマネージャーメニューPGC Iユニットテーブル（VMGM\_PGC\_I\_UT）81は、ビデオマネージャーメニュー用のビデオオブジェクトセット（VMGM\_VOBS）76にビデオマネージャーメニュー（VMGM）が存在する際には、必須のテーブルである。

【0053】ビデオ管理情報管理テーブル（VMG\_I\_MAT）78及びタイトルサーチボインターテーブル（TT\_SRPT）79に記載の記述内容の詳細について、図10、図11、図12及び図13を参照して次に説明する。

【0054】図10に示すようにビデオ管理情報管理テーブル（VMG\_I\_MAT）78には、ビデオマネージャー71の識別子（VMG\_ID）、論理ブロック（既に説明したように1論理ブロックは、2048バイト）の数でビデオ管理情報のサイズ（VMG\_I\_SZ）、当該光ディスク、通称、ディジタルバーサタイルディスク（ディジタル用途ディスク：以下、単にDVDと称する。）の規格に関するバージョン番号（VERN）及びビデオマネージャー71のカテゴリー（VMG\_CAT）が記載されている。

【0055】ここで、ビデオマネージャー71のカテゴリー（VMG\_CAT）には、このDVDビデオディレクターがコピーを禁止であるか否かのフラグ等が記載される。また、このテーブル（VMG\_I\_MAT）78には、ビデオセットの識別子（VLMS\_ID）、ビデオタイトルセットの数（VTS\_Ns）、このディスクに記録されるデータの供給者の識別子（PVR\_ID）、ビデオマネージャーメニューの為のビデオオブジェクトセット（VMGM\_VOBS）76のスタートアドレス（VNGM\_VOBS\_SA）、ビデオマネージャー情報の管理テーブル（VMG\_I\_MAT）78の終了アドレス（VMG\_I\_MAT\_EA）、タイトルサー

チボインターーテーブル (TT\_SRPT) 79 のスタートアドレス (TT\_SRPT\_SA) が記載されている。また、このテーブル 78 には、ビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_I\_UT) 81 のスタートアドレス (VMGM\_PGC\_I\_UT\_SA) が記載されている。ビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_C1\_UT) 81 がない場合には、その開始アドレスには、"00000000h" が記載される。VMGI\_MAT 78 の終了アドレス (VMGI\_MAT\_EA) 及び TT\_SRPT 79 のスタートアドレス (TT\_SRPT\_SA) は、先頭の論理ブロックからの相対的な論理ブロック数で記載されている。

【0056】更に、このテーブル 78 には、ビデオタイトルセット (VTS) 72 の属性テーブル (VTS\_ATRT) 80 のスタートアドレス (VTS\_ATRT\_SA) が VMGI\_MAT マネージャーテーブル (VMGI\_MAT) 71 の先頭バイトからの相対的なバイト数で記載され、ビデオマネージャーメニュー (VMGM) のビデオ属性 (VMGM\_V\_ATR) が記載されている。更にまた、このテーブル 78 には、ビデオマネージャーメニュー (VMGM) のオーディオストリームの数 (VMGM\_AST\_Ns)、ビデオマネージャーメニュー (VMGM) のオーディオストリームの属性 (VMGM\_AST\_ATR)、ビデオマネージャーメニュー (VMGM) の副映像ストリームの数 (VMGM\_SPST\_Ns) 及びビデオマネージャーメニュー (VMGM) の副映像ストリームの属性 (VMGM\_SPST\_ATR) が記載されている。

【0057】タイトルサーチボインターーテーブル (TT\_SRPT) 79 には、図 11 に示すように始めにタイトルサーチボインターーテーブルの情報 (TT\_SRPT\_I) 92 が記載され、次に入力番号 1 から n (n ≤ 99) に対するタイトルサーチボインタ (TT\_SRPT) が必要な数だけ連続的に記載されている。この光ディスクのボリューム中に 1 タイトルの再生データ、例えば、1 タイトルのビデオデータしか格納されていない場合には、1 つのタイトルサーチボインタ (TT\_SRPT) 93 しかこのテーブル (TT\_SRPT) 79 に記載されない。

【0058】タイトルサーチボインターーテーブル情報 (TT\_SRPT\_I) 92 には、図 12 に示されるようにタイトルサーチボインタの数 (TT\_Ns) 及びタイトルサーチボインターーテーブル (TT\_SRPT) 79 の終了アドレス (TT\_SRPT\_EA) が記載されている。このアドレス (TT\_SRPT\_EA) は、このタイトルサーチボインターーテーブル (TT\_SRPT) 79 の先頭バイトからの相対的なバイト数で記載される。また、図 13 に示すように各タイトルサーチボインタ (TT\_SRPT) には、チャプタ数 (プログラム数) と

してのパートオブタイトル数 (PTT\_Ns)、ビデオタイトルセット番号 (VTSN)、ビデオタイトルセット 72 のタイトル番号 (VTS\_TTN) 及びビデオタイトルセット 72 のスタートアドレス (VTS\_SA) が記載されている。

【0059】このタイトルサーチボインタ (TT\_SRPT) 93 の内容によって再生されるビデオタイトルセット (VTS) 72 が特定されるとともにそのビデオタイトルセット 72 の格納位置が特定される。ビデオタイトルセット 72 のスタートアドレス (VTS\_SA) は、ビデオタイトルセット番号 (VTSN) で指定されるタイトルセットを論理ブロック数で記載される。

【0060】ビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_I\_UT) 81 に記載の記述内容の詳細について、図 14、図 15、図 16、図 17、図 18 及び図 19 を参照して次に説明する。

【0061】図 14 に示すビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_I\_UT) 81 は、ビデオマネージャーメニュー用のビデオオブジェクトセット (VMGM\_V\_OBOS) 76 が設けられる場合には、必須項目とされ、各言語毎に設けられたビデオマネージャーメニュー (VMGM) を再現するためのプログラムチェーンについての情報が記述されている。このビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_I\_UT) 81 を参照することによってビデオオブジェクトセット (VMGM\_V\_OBOS) 76 中の指定した言語のプログラムチェーンを獲得してメニューとして再現することができる。

【0062】このビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル (VMGM\_PGC\_I\_UT) 81 は、図 14 に示すようにビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル情報 (VMGM\_PGC\_I\_UTI) 81\_A、n 個のビデオマネージャーメニュー言語ユニットサーチボインタ (VMGM\_LU\_SRPT) 81\_B、n 個のビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81\_C から構成され、その順序で記述されている。

【0063】ビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットテーブル情報 (VMGM\_PGC\_I\_UTI) 81\_A には、このテーブル 81 の情報が記述され、ビデオマネージャーメニュー PGCI ユニットサーチボインタ (VMGM\_LU\_SRPT) 81\_B には、#1 から #n までのビデオマネージャーメニューに対応した順序で記述され、言語コードが記述がされているとともに #1 から #n までのビデオマネージャーメニューに対応した順序で記述されたビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81\_C を検索するボインタに関する記述がされている。また、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81\_C の先々には、対応するビデオマネージャーメニューのプログラムチャ

ーのカテゴリと開始アドレスが記述されている。

【0064】より詳細には、ビデオマネージャーメニュー-PGC Iユニットテーブル情報 (VMGM\_PGC I \_UT1) 81Aには、図15に示すように、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81Cの数がバラメータ (VMGM\_LU\_Ns) として記載され、また、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81Cの終了アドレスがバラメータ (VMGM\_PGC I\_UT\_EA) として記載されている。また、図16に示すように、ビデオマネージャーメニュー-PGC Iユニットサーチポインタ (VMGM\_LU\_SR) 81Bには、ビデオマネージャーメニュー言語コードがバラメータ (VMGM\_LCD) として記載され、また、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81Cの開始アドレスがバラメータ (VMGM\_LU\_SA) として記述されている。更に、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット (VMGM\_LU) 81Cには、図17に示すようにこのビデオマネージャーメニュー言語ユニット情報 (VMGM\_LU\_I) 81D、ビデオマネージャーメニュー-PGC情報サーチポインタ (VMGM\_PGC I\_SR\_P) 81E、ビデオマネージャーメニュー-PGC情報 (VMGM\_PGC I) 81Fから構成され、その順序で記述されている。ビデオマネージャーメニュー言語ユニット情報 (VMGM\_LU\_I) 81Dには、このテーブル81Cの情報が記述され、(VMGM\_PGC I\_SR) 81Eには、#1から#nまでのビデオマネージャーメニューに対応した順序で記述され、ビデオマネージャーメニューのプログラムチャーンのカテゴリが記述がされているとともに#1から#nまでのビデオマネージャーメニューに対応した順序で記述されたビデオマネージャーメニュー-PGC情報サーチ情報 (VMGM\_PGC I) 81Fを検索するポインタに関する記述がされている。

【0065】ビデオマネージャーメニュー-PGC情報サーチ情報 (VMGM\_PGC I) 81Fは、ビデオマネージャーメニューのプログラムチャーンに関する情報、即ち、VMGMプログラムチャーン情報 (VMGM\_PGC I) を記述している。

【0066】より詳細には、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット情報 (VMGM\_LU\_I) 81Dには、図18に示すように、VMGMプログラムチャーン情報 (VMGM\_PGC I) 81Fの数がバラメータ (VMGM\_PGC I\_Ns) として記載され、また、ビデオマネージャーメニュー言語ユニット情報 (VMGM\_LU\_I) 81Dの終了アドレスがバラメータ (VMGM\_LU\_EA) として記載されている。また、図19に示すように、ビデオマネージャーメニュー-PGC情報サーチポインタ (VMGM\_PGC I\_SR\_P) 81Eには、ビデオマネージャーメニューのプログラムチャーン

のカテゴリがバラメータ (VMGM\_PGC\_CAT) として記載され、またVMGMプログラムチャーン情報 (VMGM\_PGC I) 81Fの開始アドレスがバラメータ (VMGM\_PGC I\_SA) として記載されている。

【0067】ビデオマネージャーメニューのプログラムチャーンのカテゴリ (VMGM\_PGC\_CAT) には、このPGCがエンタリーされているか否かを示すフラグ、およびメニューかを示すメニューIDが記述されている。このメニューIDとしては、“0010”が記述される場合、タイトルメニューを意味している。

【0068】次に、図6に示されたビデオタイトルセット (VTS) 72の論理フォーマットの構造について図20を参照して説明する。各ビデオタイトルセット (VTS) 72には、図20に示すようにその記載順に4つの項目94、95、96、97が記載されている。また、各ビデオタイトルセット (VTS) 72は、共通の属性を有する1又はそれ以上のビデオタイトルから構成され、このビデオタイトル72についての管理情報、例えば、エンタリーサーチポインタの為の情報、ビデオオブジェクトセット96を再生する為の情報、タイトルセットメニュー (VTS\_M) を再生する為の情報及びビデオオブジェクトセット72の属性情報がビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) に記載されている。

【0069】このビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) 94のバックアップがビデオタイトルセット (VTS) 72に設けられている。ビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) 94とこの情報のバックアップ (VTS\_I\_BUP) 97との間には、ビデオタイトルセットメニュー用のビデオオブジェクトセット (VTSM\_VOB\_S) 95及びビデオタイトルセットタイトル用のビデオオブジェクトセット (VTSTT\_VOB\_S) 96が配置されている。いずれのビデオオブジェクトセット (VTSM\_VOB\_S) 95、96は、既に説明したように図8に示す構造を有している。

【0070】ビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) 94、この情報のバックアップ (VTS\_I\_BUP) 97及びビデオタイトルセットタイトル用のビデオオブジェクトセット (VTSTT\_VOB\_S) 96は、ビデオタイトルセット72にとって必須の項目され、ビデオタイトルセットメニュー用のビデオオブジェクトセット (VTSM\_VOB\_S) 95は、必要に応じて設けられるオプションとされている。

【0071】ビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) 94は、図20に示すように5つのテーブル98、99、100、101、111から構成され、5つのテーブル98、99、100、101、111は、論理セクタ間の境界に一致している。第1のテーブルであるビデオタイトルセット情報管理テーブル (VTS\_I\_MAT)

98は、必須のテーブルであってビデオタイトルセット(VTS)72のサイズ、ビデオタイトルセット(VTS)72中の各情報の開始アドレス及びビデオタイトルセット(VTS)72中のビデオオブジェクトセット(VOBS)82の属性が記述されている。

【0072】第2のテーブルであるビデオタイトルセットダイレクトアクセスポイントテーブル(VTS\_DA\_PT)99は、必要に応じて設けられるオプションのテーブルであって、装置のキー操作/表示部4からのタイトル番号の入力あるいはリモートコントローラ5によるタイトル番号の選択に応じて選定可能な当該ビデオタイトルセット72中に含まれるプログラムチャーン(PGC)及び又はプログラム(PG)が記載されている。

【0073】第3のテーブルであるビデオタイトルセットプログラムチャーン情報テーブル(VTS\_PGC1T)100は、必須のテーブルであってVTSプログラムチャーン情報(VTS\_PGC1)を記述している。

【0074】第4のテーブルであるビデオタイトルセットタイムサーチマップテーブル(VTS\_MAPT)101は、必要に応じて設けられるオプションのテーブルであって表示の一定時間に対するこのマップテーブル(VTS\_MAPT)101が属するタイトルセット72の各プログラムチャーン(PGC)内のビデオデータの記録位置に関する情報が記述されている。

【0075】第5のテーブルであるビデオタイトルセットメニューPGC1ユニットテーブル(VTS\_PGC1\_UT)111は、ビデオタイトルセットメニュー用のビデオオブジェクトセット(VOBS)95が設けられる場合には、必須項目とされ、各言語毎に設けられたビデオタイトルセットメニュー(VTS\_M)を再現するためのプログラムチャーンについての情報が記述されている。このビデオタイトルセットメニュー-PGC1ユニットテーブル(VTS\_PGC1\_UT)111を参照することによってビデオオブジェクトセット(VTS\_VOBS)95中の指定した言語のプログラムチャーンを獲得してメニューとして再現することができる。

【0076】次に、図20に示したビデオタイトル情報マネージャーテーブル(VTS1\_MAT)98及びビデオタイトルセットプログラムチャーン情報テーブル(VTS\_PGC1T)100について図21から図30を参照して説明する。

【0077】図21は、ビデオタイトル情報マネージャーテーブル(VTS1\_MAT)98の記述内容を示している。このテーブル(VTS1\_MAT)98には、記載順にビデオタイトルセット識別子(VTS\_I\_D)、ビデオタイトル情報のサイズ(VTS1\_S\_Z)、このDVDビデオ規格のバージョン番号(VER\_N)、タイトルセット72の属性(VTS\_CAT)が記載される。また、このテーブル(VTS1\_MAT)

98には、VTSメニュー(VTSM)のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95の開始アドレス(VTSM\_VOBS\_SA)がこのビデオタイトルセット(VTS)72の先頭論理ブロックからの相対論理ブロック(RLB)で記述され、ビデオタイトルセット(VTS)におけるタイトルの為のビデオオブジェクトセットのスタートアドレス(VTSTT\_VOBS\_SA)がこのビデオタイトルセット(VTS)72の先頭論理ブロックからの相対論理ブロック(RLB)で記述される。

【0078】更に、このテーブル(VTS1\_MAT)98には、ビデオタイトルセット情報管理テーブル(VTS1\_MAT)98の終了アドレス(VTS1\_MAT\_EA)がそのテーブル(VTS1\_MAT)98の先頭バイトからの相対ブロック数で記載され、ビデオタイトルセットダイレクトアクセスポイントテーブル(VTS\_PTI\_SRPT)99のスタートアドレス(VTS\_SRPT\_SA)がビデオタイトルセット情報(VTS1)94の先頭バイトからの相対ブロック数で記載されている。

【0079】更に、このテーブル(VTS1\_MAT)98には、ビデオタイトルセットプログラムチャーン情報テーブル(PGC1T)100のスタートアドレス(VTS\_PGC1T\_SA)がビデオタイトルセット情報(VTS1)94の先頭バイトからの相対ブロック数で記載され、ビデオタイトルセット(VTS)のタイムサーチマップ(VTS\_TMAPT)101のスタートアドレス(VTS\_TMAPT\_SA)がこのビデオタイトルセット(VTS)72の先頭論理セクタからの相対論理セクタで記述される。このテーブル(VTS1\_MAT)98には、ビデオタイトルセットメニューPGC1ユニットテーブル(VTS\_PGC1\_UT)のスタートアドレス(VTS\_PGC1\_UT\_SA)がビデオタイトルセット情報(VTS1)94の先頭バイトからの相対ブロック数で記載されている。ビデオマネージャーメニューPGC1ユニットテーブル(VMGM\_PGC1\_UT)81がない場合には、その開始アドレスには、“00000000h”が記載される。

【0080】このテーブル(VTS1\_MAT)98には、ビデオタイトルセット(VTS)72中のビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の為のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95及びビデオタイトルセット(VTS)のタイトル(VTSTT)の為のビデオオブジェクトセット(VTST\_VOBS)96のビデオ属性(VTS\_V\_ATR)及びこのビデオタイトルセット(VTS)72中のビデオタイトルセットのタイトル(VTSTT)の為のビデオオブジェクトセット(VTSTT\_VOBS)96のオーディオストリームの数(VTS\_AST\_Ns)が記載されてい

る。

【0081】ここで、ビデオ属性 (VTS\_V\_ATR) には、ビデオの圧縮モード、TVシステムのフレームレート及び表示装置に表示する際の表示のアスペクト比等が記載されている。

【0082】テーブル (VTSI\_MAT) 98には、ビデオタイトルセット (VTS) 72中のビデオタイトルセット (VTS) 72のタイトル (VTSTT) の為のビデオオブジェクトセット (VTST\_VOBS) 96のオーディオストリーム属性 (VTS\_AST\_ATR) が記載されている。この属性 (VTS\_AST\_ATR) には、どのようにオーディオを符号化したかを記載したオーディオの符号化モード、オーディオの量子化化を何ビットで実行したか、オーディオのチャネル数、オーディオの言語コード等が記載される。更に、テーブル (VTSI\_MAT) 98には、ビデオタイトルセット (VTS) 72中のこのタイトル (VTSTT) の為のビデオオブジェクトセット (VTST\_VOBS) 96の副映像ストリームの数 (VTS\_SPST\_Ns) 及び各副映像ストリームの属性 (VTS\_SPST\_ATR) が記載されている。この各副映像ストリームの属性 (VTS\_SPST\_ATR) には、副映像の符号化モード及び副映像の表示タイプ、副映像の言語コード等が記載される。

【0083】また、このテーブル (VTSI\_MAT) 98には、ビデオタイトルセットメニュー (VTS\_M) のオーディオストリーム数 (VTSM\_AST\_Ns)、オーディオストリーム属性 (VTSM\_AST\_ATR)、副映像ストリームの数 (VTSM\_SPST\_Ns)、及び副映像ストリームの属性 (VTSM\_SPST\_ATR) が記述されている。

【0084】ビデオタイトルセット (VTS) のオーディオストリームの属性 (VTS\_AST\_ATR) には、図22に示されるようにビット番号b63からビット番号b48にオーディオコーディングモード、マルチチャネルの拡張、オーディオタイプ、オーディオのアプリケーションID、量子化、サンプリング周波数、予約、及びオーディオチャネルの数が記述され、ビット番号b47からビット番号b40及びビット番号b39からビット番号b32には、特定コードとしてこのオーディオストリームの言語コードが記述され、ビット番号b31からビット番号b24には、特定コードの為の予約が記述されている。また、ビット番号b23からビット番号b8は、今後の為に予約として空けられ、ビット番号b7からビット番号b0には、応用情報が記述されている。ここで、VTSメニュー用ビデオオブジェクトセット (VTSM\_VOBS) 95がない場合は、或いは、そのビデオオブジェクトセットにオーディオストリームがない場合には、ビット番号b63からビット番号b0の各ビットに“0”が記述される。

【0085】特定コードは、b47からb40及びb39からb32に記載されるが、ここには、オーディオストリームのタイプが言語、即ち、音声である場合には、ISO-639で定められたその言語のコードが言語シンボルで記載される。オーディオストリームのタイプが言語、即ち、音声でない場合には、この領域は、予約とされる。

【0086】VTSTTの為のビデオオブジェクトセット (VTST\_VOBS) 96の副映像ストリーム属性 (VTS\_SPST\_ATR) においては、図23に示すようにビット番号b47からビット番号b40に副映像コード化モード、予約、副映像表示タイプ、副映像タイプが記述され、ビット番号b39からビット番号b32及びビット番号b31からビット番号b24に特定コードとしてこの副映像ストリームの言語コードが記述され、ビット番号b23からビット番号b16が特定コードの予約とされ、ビット番号b15からビット番号b8が特定コードの拡張が記述されている。更に、ビット番号b7からビット番号b0は、予約とされている。

【0087】VTSプログラムチェーン情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100は、図24に示すような構造を備えている。この情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100には、VTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) に関する情報 (VTS\_PGCIT\_I) が記載され、始めの項目としてVTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) に関する情報テーブル (VTS\_PGCIT\_I) 100の情報 (VTS\_PGCIT\_I\_1) 102が設けられている。この情報 (VTS\_PGCIT\_I\_1) 102に統いてこの情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100には、この情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100中のVTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) の数 (#1から#n) だけVTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) をサーチするVTS\_PGCサーチポインタ (VTS\_PGCIT\_SR) 103が設けられ、最後にVTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) に対応した数 (#1から#n) だけ各VTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) に関する情報 (VTS\_PGCIT\_I) 104が設けられている。

【0088】VTSプログラムチェーン情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100の情報 (VTS\_PGCIT\_I\_1) 102には、図25に示されるようにVTSプログラムチェーン (VTS\_PGC) の数 (VTS\_PGC\_Ns) が内容として記述され及びこのテーブル情報 (VTS\_PGCIT\_I\_1) 102の終了アドレス (VTS\_PGCIT\_EA) がこの情報テーブル (VTS\_PGCIT) 100の先頭バイトからの相対的なバイト数で記述されている。

【0089】また、VTS\_PGCITサーチポインタ (VTS\_PGCIT\_SR) 103には、図26に示すようにビデオタイトルセット (VTS) 72のプロ

グラムチェーン (VTS\_PGC) の属性 (VTS\_PGC\_CAT) 及びこのVTS\_PGC情報テーブル (VTS\_PGC1) 100の先頭バイトからの相対的バイト数でVTS\_PGC情報 (VTS\_PGC1) のスタートアドレス (VTS\_PGC1\_SA) が記述されている。ここで、VTS\_PGC属性 (VTS\_PGC\_CAT) には、属性として例えば、最初に再生されるエントリープログラムチェーン (エントリーPGC) か否かが記載される。通常、エントリープログラムチェーン (PGC) は、エントリープログラムチェーン (PGC) でないプログラムチェーン (PGC) に先だって記載される。

【0090】ビデオタイトルセッタ内のPGC情報 (VTS\_PGC1) 104には、図27に示すように4つの項目が記載されている。このPGC情報 (VTS\_PGC1) 104には、始めに必須項目のプログラムチェーン一般情報 (PGC\_GI) 105が記述され、これに続いているオブジェクトがある場合だけ必須の項目とされる少なくとも3つの項目106、107、108が記載されている。即ち、その3つの項目としてプログラムチェーンプログラムマップ (PGC\_PGMAP) 106、セル再生情報テーブル (C\_PBIT) 107及びセル位置情報テーブル (C\_POSIT) 108がPGC情報 (VTS\_PGC1) 104に記載されている。

【0091】プログラムチェーン一般情報 (PGC\_GI) 105には、図28に示すようにプログラムチェーン (PGC) のカテゴリー (PGC\_CAT)、プログラムチェーン (PGC) の内容 (PGC\_CNT) 及びプログラムチェーン (PGC) の再生時間 (PGC\_PBT\_TIME) が記載されている。PGCのカテゴリー (PGC\_CAT) には、当該PGCのコピーが可能であるか否か及びこのPGC中のプログラムの再生が連続であるか否いはランダム再生であるか否か等が記載される。PGCの内容 (PGC\_CNT) には、このプログラムチェーンの構成内容、即ち、プログラム数、セルの数、このプログラムチェーン中のアングルの数が記載される。PGCの再生時間 (PGC\_PBT\_TIME) には、このPGC中のプログラムのトータル再生時間等が記載される。この再生時間は、再生手順には無関係に連続してPGC内のプログラムを再生する場合のプログラムの再生時間が記述される。アングルモードがある場合には、アングルセル番号1の再生時間がそのアングルの再生時間を表すこととなる。

【0092】また、プログラムチェーン一般情報 (PGC\_GI) 105には、PGC副映像ストリーム制御 (PGC\_SPST\_CTL)、PGCオーディオストリーム制御 (PGC\_AST\_CTL) 及びPGC副映像パレット (PGC\_SP\_PLT) が記載されている。PGC副映像ストリーム制御 (PGC\_SPST\_CTL)

には、PGCで使用可能な副映像数が記載され、PGCオーディオストリーム制御 (PGC\_AST\_CTL) には、同様にPGCで使用可能なオーディオストリームの数が記載される。PGC副映像パレット (PGC\_SP\_PLT) には、このPGCの全ての副映像ストリームで使用する所定数のカラーパレットのセットが記載される。

【0093】更に、PGC一般情報 (PGC\_GI) 105には、セル再生情報テーブル (C\_PBIT) 107のスタートアドレス (C\_PBIT\_SA) 及びセル位置情報テーブル (C\_POSIT) 108のスタートアドレス (C\_POSIT\_SA) が記載されている。いずれのスタートアドレス (C\_PBIT\_SA) 及び (C\_POSIT\_SA) もVTS\_PGC情報 (VTS\_PGC1) の先頭バイトからの相対的な論理ブロック数で記載される。

【0094】プログラムチェーン (PGC) のカテゴリー (PGC\_CAT) は、メニュー用のプログラムチェーン (PGC) の場合、図29に示すようにビット番号b31にエントリータイプとしてPGCエントリーかノンPGCエントリーかが記述され、ビット番号b30からビット番号b28は、今後の為に予約として空けられ、ビット番号b27からビット番号b24にはメニューの種別を示すメニューIDが記述され、ビット番号b23からビット番号b22にはPGCブロックモードが記述され、ビット番号b21からビット番号b20にはPGCブロックタイプが記述され、ビット番号b19からビット番号b16にはプログラムブレイバッックコントロールが記述され、ビット番号b15からビット番号b14にはコピーフラグが記述され、ビット番号b13からビット番号b12にはブレイバッックシステムマネジメントが記述され、ビット番号b11からビット番号b8にはアプリケーションタイプが記述され、ビット番号b7からビット番号b0は、今後の為に予約として空けられている。

【0095】メニューIDとしては、“0010”的場合、ビデオマネージャー情報メニュー (VMGM) で用いるタイトルメニューを示し、“0011”的場合、ロットメニューを示し、“0100”的場合、ビデオタイトルセットメニュー (VTSM) で用いる副映像メニューを示し、“0101”的場合、ビデオタイトルセットメニュー (VTSM) で用いるオーディオメニューを示し、“0110”的場合、ビデオタイトルセットメニュー (VTSM) で用いるアングルメニューを示し、“0111”的場合、ビデオタイトルセットメニュー (VTSM) で用いるプログラムメニューを示している。

【0096】プログラムチェーン (PGC) のカテゴリー (PGC\_CAT) が、タイトル用のプログラムチェーン (PGC) の場合には、ビット番号b30からビット番号b24に、ビデオタイトルセット (VTS) 72

の1~99のタイトル数(VTS\_TTN)が記述される。

【0097】プログラムチェーン(PGC)の内容(PGC\_CNT)は、図30に示すようにビット番号b23は予約として空けられ、ビット番号b22からビット番号b16に、このプログラムチェーン(PGC)における1~99のプログラム数が記述され、ビット番号b15からビット番号b8に、このプログラムチェーン(PGC)における1~255のセル数が記述され、ビット番号b7からビット番号b4は、今後の為に予約として空けられ、ビット番号b3からビット番号b0に、このプログラムチェーン(PGC)における1~9のアンダル数が記述される。

【0098】プログラムチェーンプログラムマップ(PGC\_PGMAP)106は、図31に示すようにPGC内のプログラムの構成を示すマップである。このマップ(PGC\_PGMAP)106には、図31及び図32に示すようにプログラムの開始セル番号であるエントリーセル番号(CELLN)がセル番号の昇順に記述されている。また、エントリーセル番号の記述順にプログラム番号が1から割り当てられている。従って、このマップ(PGC\_PGMAP)106の最初のエントリーセル番号は、#1でなければならない。

【0099】セル再生情報テーブル(C\_PBIT)107は、PGCのセルの再生順序を定義している。このセル再生情報テーブル(C\_PBIT)107には、図33に示すようにセル再生情報(C\_PBIT)が連続して記述されている。基本的には、セルの再生は、そのセル番号の順序で再生される。セル再生情報(C\_PBIT)には、図32に示されるようにセルカテゴリー(C\_CAT)が記載される。このセルカテゴリー(C\_CAT)には、セルがセルブロック中のセルであるか、また、セルブロック中のセルであれば最初のセルであるかを示すセルブロックモード、セルがブロック中の一部ではない、或いは、アングルブロックであるかを示すセルブロックタイプ、システムタイムクロック(STC)の再設定の要否を示すSTC不連続フラグが記載される。ここで、セルブロックとは、ある特定のアングルのセルの集合として定義される。アングルの変更は、セルブロックを変更することによって実現される。即ち、野球を例にとれば、外野からのシーンを撮影したアングルブロックから内野からのシーンを撮影したアングルブロックの変更がアングルの変更に相当する。

【0100】また、このセルカテゴリー(C\_CAT)には、セル内では連続して再生するか或いはセル内の各ビデオオブジェクトユニット(VOBU)単位で静止するかを示すセル再生モード、セルの再生の後に静止せるか否か或いはその静止時間を示すセルナビゲーション制御が記載されている。

【0101】また、図34に示すようにセル再生情報テ

ーブル(C\_PBIT)107は、PGCの全再生時間を記述したセル再生時間(C\_PBTM)を含んでいる。アングルセルブロックがPGC中にある場合には、そのアングルセル番号1の再生時間がそのアングルブロックの再生時間を表している。更に、セル再生情報テーブル(C\_PBIT)107には、当該セルが記録されているビデオオブジェクトユニット(VOBU)85の先頭論理セクタからの相対的な論理セクタ数でセル中の先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)が記載され、また、当該セルが記録されているビデオオブジェクトユニット(VOBU)85の先頭論理セクタからの相対的な論理セクタ数でセル中の最終ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_LVOBU\_SA)が記載される。

【0102】セル位置情報テーブル(C\_POSI)108は、PGC内で使用するセルのビデオオブジェクト(VOB)の識別番号(VOB\_ID)及びセルの識別番号(C\_ID)を特定している。セル位置情報テーブル(C\_POSI)には、図34に示されるようにセル再生情報テーブル(C\_PBIT)107に記載されるセル番号に対応するセル位置情報(C\_POSI)がセル再生情報テーブル(C\_PBIT)と同一順序で記載される。このセル位置情報(C\_POSI)には、図36に示すようにセルのビデオオブジェクトユニット(VOBU)85の識別番号(C\_VOB\_IDN)及びセル識別番号(C\_IDN)が記載されている。

【0103】図20に示すビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の言語ごとの情報を記述したビデオタイトルセットメニューPGCIユニットテーブル(VTSM\_PGI\_UT)111は、図37に示すようにビデオタイトルセットメニューPGCIユニットテーブル情報(VTSM\_PGI\_UT)111A、n個のビデオタイトルセットメニュー言語ユニットサーチボインタ(VTSM\_LU\_SR)111B、n個のビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cから構成され、その順序で記述されている。

【0104】ビデオタイトルセットメニューPGCIユニットテーブル情報(VTSM\_PGI\_UT)111Aには、このテーブル111の情報が記述され、ビデオタイトルセットメニューPGCIユニットサーチボインタ(VTSM\_LU\_SR)111Bには、#1から#nまでのビデオタイトルセットメニューに対応した順序で記述され、言語コードが記述がされているとともに#1から#nまでのビデオタイトルセットメニューに対応した順序で記述されたビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cを検索するボインタに関する記述がされている。また、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)

111Cの夫々には、対応するビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンのカテゴリーと開始アドレスが記述されている。

【0105】より詳細には、ビデオタイトルセットメニューPGC Iユニットテーブル情報(VTSM\_PGC\_I\_UTI)111Aには、図38に示すように、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cの数がパラメータ(VTSM\_LU\_Ns)として記載され、また、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cの終了アドレスがパラメータ(VTSM\_PGC\_I\_UT\_EA)として記載されている。また、図39に示すように、ビデオタイトルセットメニューPGC Iユニットサーチポインタ(VTSM\_LU\_SRP)111Bには、ビデオタイトルセットメニュー言語コードがパラメータ(VTSM\_LCD)として記載され、また、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cの開始アドレスがパラメータ(VTSM\_LU\_SA)として記述されている。更に、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111Cには、図40に示すようにこのビデオタイトルセットメニュー言語ユニット情報(VTSM\_LU\_I)111D、ビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチポインタ(VTSM\_PGC\_I\_SRP)111E、ビデオタイトルセットメニューPGC情報(VTSM\_PGC\_I)111Fから構成され、その順序で記述されている。ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット情報(VTSM\_LU\_I)111Dには、このテーブル111Cの情報が記述され、(VTSM\_PGC\_I\_SRP)111Eには、#1から#nまでのビデオタイトルセットメニューに対応した順序で記述され、ビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンのカテゴリーが記述されているとともに#1から#nまでのビデオタイトルセットメニューに対応した順序で記述されたビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチ情報(VTSM\_PGC\_I)111Fを検索するポインタに関する記述がされている。

【0106】ビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチ情報(VTSM\_PGC\_I)111Fは、ビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンに関する情報、即ち、VTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)を記述している。

【0107】より詳細には、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット情報(VTSM\_LU\_I)111Dには、図41に示すように、VTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)111Fの数がパラメータ(VTSM\_PGC\_I\_Ns)として記載され、また、ビデオタイトルセットメニュー言語ユニット情報(VTSM\_LU\_I)111Dの終了アドレスがパラメータ(VTSM\_LU\_I\_EA)として記載されている。ま

た、図42に示すように、ビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチポインタ(VTSM\_PGC\_I\_SRP)111Eには、ビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンのカテゴリーがパラメータ(VTSM\_PGC\_CAT)として記載され、またVTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)111Fの開始アドレスがパラメータ(VTSM\_PGC\_I\_SA)として記載されている。

【0108】ビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンのカテゴリー(VTSM\_PGC\_CAT)には、このPGCがエントリーされているか否かを示すフラグ、およびメニューかを示すメニューIDが記述されている。このメニューIDとしては、“0100”が記述される場合、前映像メニューを意味し、“0101”が記述される場合、オーディオメニューを意味し、“0110”が記述される場合、アングルメニューを意味し、“0111”が記述される場合、プログラムメニューを意味している。

【0109】図8を参照して説明したようにセル84は、ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85の集合とされ、ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85は、ナビゲーション(NV)パック86から始まるパック列として定義される。従って、セル84中の最初のビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)は、NVパック86のスタートアドレスを表すこととなる。このNVパック86は、図43に示すようにパックヘッダ110、システムヘッダ111及びナビゲーションデータとしての2つのパケット、即ち、再生制御情報(PCI)パケット116及びデータサーチ情報(DSI)パケット117から成る構造を有し、図43に示すようなバイト数が各部に付り当たられ、1パックが1論理セクタに相当する2048バイトに定められている。また、このNVパックは、そのグループオブピクチャー(GOP)中の最初のデータが含まれるビデオパックの直前に配置されている。オブジェクトユニット85がビデオパックを含まない場合であってもNVパックがオーディオパック又は/及び前映像パックを含むオブジェクトユニットの先頭に配置される。このようにオブジェクトユニットがビデオパックを含まない場合であってもオブジェクトユニットがビデオパックを含む場合と同様にオブジェクトユニットの再生時間は、ビデオが再生される単位を基準に定められる。

【0110】ここで、GOPとは、MPEGの規格で定められ、既に説明したように複数画面を構成するデータ列として定義される。即ち、GOPとは、圧縮されたデータに相当し、この圧縮データを伸張させると動画を再生することができる複数フレームの画像データが再生される。パックヘッダ110及びシステムヘッダ111は、MPEG2のシステムレイヤで定義され、パックヘ

ヘッダ110には、パック開始コード、システムクロックリファレンス (S C R) 及び多重化レートの情報が格納され、システムヘッダ111には、ビットレート、ストリームIDが記載されている。P C Iパケット116及びD S Iパケット117のパケットヘッダ112、114には、同様にM P E G 2のシステムレーヤに定められているようにパケット開始コード、パケット長及びストリームIDが格納されている。

【0111】他のビデオ、オーディオ、副映像パック8、89、80、91は、図44に示すようにM P E G 2のシステムレーヤに定められるように同様にパックヘッダ120、パケットヘッダ121及び対応するデータが格納されたパケット122から構成され、そのパック長は、2048バイトに定められている。これらの各パックは、論理ブロックの境界に一致されている。

【0112】P C Iパケット116のP C Iデータ (P C I) 113は、VOBユニット (VOBU) 85内のビデオデータの再生状態に同期してプレゼンテーション、即ち、表示の内容を変更する為のナビゲーションデータである。即ち、P C Iデータ (P C I) 113には、図45に示されるようにP C I全体の情報としてのP C I一般情報 (P C I\_G I) アングル変更時における各飛び先アングル情報としてのアングル情報 (N S L\_S\_A G L I) 及びハイライト情報 (H L I) が記述されている。P C I一般情報 (P C I\_G I) には、図46に示されるようにP C I 113の記録されているV O B U 8 5の論理セクタからの相対的論理ブロック数でのP C I 113が記録されているN Vパック (N V\_P C K) 86のアドレス (N V\_P C K\_L B N) が記述されている。また、P C I一般情報 (P C I\_G I) には、VOBU85のカテゴリー (VOBU\_C AT)、V O B U 8 5のスタートPTM (VOBU\_S P T M) 及び終了PTM (VOBU\_E P T M) が記述されている。ここで、V O B U 8 5のスタートPTM (VOBU\_S P T M) (は、当該P C I 113が含まれるV O B U 8 5中のビデオデータの再生開始時間 (スタートプレゼンテーションタイムスタンプ (S P T M)) を示している。この再生開始時間は、V O B U 8 5中の最初の再生開始時間である。通常は、最初のビクチャーは、M P E Gの規格におけるIビクチャー (Intra-Picture) の再生開始時間に相当する。V O B U 8 5の終了PTM (VOBU\_E P T M) (は、当該P C I 113が含まれるV O B U 8 5の再生終了時間 (終了プレゼンテーションタイムスタンプ (E P T M)) を示している。

【0113】アングル情報 (N S M L\_A G L I) には、図47に示すようにアングルの数だけ飛び先のアングルセルの開始アドレス (N S M L\_A G L\_C\_D S T A) が記載され、その開始アドレスは、P C I 113が記録されたN Vパック86の論理セクタからの相対的

論理セクタで記述されている。このアングル情報 (N S M L\_A G L I) に基づくアングルの変更の場合には、図48に示すように当該P C I 113が記録されているV O B U 8 5の再生時間と等しい他のアングルブロック内のV O B U 8 5のスタートアドレス、或いは、再生時間が手前の最も近い再生時間を有する他のアングルブロック内のV O B U 8 5のスタートアドレス (N S M L\_A G L\_C\_D S T A) がこのアングル情報 (N S M L\_A G L I) に記述される。

【0114】このようなアングルセルの開始アドレス (N S M L\_A G L\_C\_D S T A) の記述によれば、具体的には、次のようなアングルの変更が実現される。ここで、野球の試合でピッチャーが投げてからバッターが打ち、その打球がホームランとなるまでの一連の時間が連続した場面を想定してアングルの変更を説明する。ここで、P C I 113によって制御されるアングルセル (A N G\_C # j) は、図48に示すようにビデオオブジェクトユニット (VOBU) 85の単位で変更することができる。図48には、再生順序に従ってビデオオブジェクトユニット (VOBU) 85に再生順序に従った番号が付されているが、あるアングルセル (A N G\_C # j) の再生番号nに相当するビデオオブジェクトユニット (VOBU # n) 85は、他のアングルセル (A N G\_C # 1) 84或いは、アングルセル (A N G\_C # 9) 84に相当する再生番号nのビデオオブジェクトユニット (VOBU # n) 85とは、同一時刻又はそれ以前の最も近い異なるシーンに関するビデオデータが格納されている。あるアングルセル (A N G\_C # j) 84には、ピッチャー及びバッターの入った全景が画面に映し出され、一連の動作が映し出されるビデオデータとしてV O B U 8 5が連続して配列され、また、アングルセル (A N G\_C # 1) 84には、打者の打撃フォームを鑑賞する為にバッターのみが画面に映し出されるビデオデータとしてV O B U 8 5が連続して配列され、更に、アングルセル (A N G\_C # 9) には、ピッチャーの表情のみが画面に映し出されるビデオデータとしてV O B U 8 5が連続して配列されると仮定する。始めにアングルセル # j (A G L\_C # j) をユーザが鑑賞していく打った瞬間にアングルセル # 1に変更すると、即ち、打った瞬間にアングルを打者ののみが映し出されるアングルに変更すると、打った後の打者のみの画面に変更されないで、打撃が始まると前の打者がバットを振り始めてからの画面に変更されることとなる。また、始めにアングルセル # j (A G L\_C # i) をユーザが鑑賞していく打った瞬間にアングルセル # 9に変更すると、即ち、打った瞬間にアングルをピッチャーのみが映し出されるアングルに変更すると、打った瞬間の打たれたピッチャーの表情が画面に表示され、ピッチャーの心理的な変化を鑑賞することができる。

【0115】ハイライト情報 (H L I) は、副映像の表

示領域内の1つの矩形領域に対しハイライトを施すための情報である。ハイライト情報により、副映像の表示領域内の特定の矩形領域の副映像の色及びビデオとの混合比（コントラスト）が記述されている。ハイライト情報は、図4-9に示すように、その有効期間内に再生されるすべての副映像ストリームに対し共通に有効となっている。たとえば、ビデオと副映像とハイライト情報を組み合わせた際には、図4-0に示すような合成画面がモニタ画面での表示されるようになっている。

【0116】ハイライト情報は、図5-1に示すように、ハイライト一般情報（HL\_GI）113A、ボタン色情報テーブル（BTN\_COLIT）113B、及びボタン色情報テーブル（BTN\_IT）113Cが記述されている。図5-2に示すように、ボタン色情報テーブル（BTN\_COLIT）113Bには、ボタン色情報（BTN\_N\_COLIT）113D、113E、113Fが記述され、ボタン情報テーブル（BTN\_IT）113Cには、最大36個のボタン情報（BTNI）113I、…が記述される。

【0117】たとえば、図5-2に示すように、36個のボタン情報（BTNI）113I、…は、ボタングループの指定により、36個のボタン情報から構成される1グループモード、各々18個のボタン情報から構成される2グループモード、各々12個のボタン情報から構成される3グループモードで記述される。

【0118】ハイライト一般情報（HL\_GI）113Aは、そのハイライト情報全体の情報である。ハイライト一般情報（HL\_GI）113Aには、図5-3に示すように、ハイライト情報の状態（HL\_I\_SS）、ハイライト開始時間（HL\_I\_S\_PTm）、ハイライト終了時間（HL\_I\_E\_PTm）、ボタン選択終了時間（BTN\_SL\_E\_PTm）、ボタンモード（BTN\_N\_MD）、ボタンスタート番号（BTN\_SN）、有効ボタン数（BTN\_Ns）、番号で選択できるボタン数（NS\_BTN\_Ns）、強制選択ボタン番号（FSL\_BTN\_N）、強制確定ボタン番号（FAC\_BTN\_N）が記述されている。

【0119】ハイライト情報の状態（HL\_I\_SS）には、対応するPCI中のハイライト情報の状態が記述されている。たとえば、“00”的場合、有効なハイライト情報が存在しないと記述され、“01”的場合、前VOBUのハイライト情報と違うハイライト情報が存在していると記述され、“11”的場合、前VOBUのハイライト情報と同じハイライト情報が存在していると記述され。

【0120】ハイライト情報のスタートPTM（HL\_I\_S\_PTm）には、対応するハイライト情報が有効になるハイライト開始時間（スタートプレゼンテーション

タイム（SPTM））が記述されている。ハイライト開始時間は、ハイライト情報が対象とする副映像ストリームの表示開始時間以上となっている。HL\_I\_SSが“01”と記述されている場合、ハイライト情報のハイライト開始時間はそのPCIが対応するVOBUの間、更新されるようになっている。HL\_I\_SSが“10”あるいは“11”と記述されている場合、ハイライト情報のハイライト開始時間はそのPCIが対応するVOBUの間、とぎれずに使用されるようになっている。

【0121】ハイライト終了時間（HL\_I\_E\_PTm）には、このハイライト情報が無効になるハイライト終了時間が記述されている。ハイライト終了時間は、ハイライト情報が対象とする副映像ストリームの表示終了時間以下となっている。HL\_I\_SSが“01”と記述されている場合、ハイライト情報のハイライト終了時間はそのPCIが対応するVOBUの間、更新されるようになっている。HL\_I\_SSが“10”あるいは“11”と記述されている場合、ハイライト情報のハイライト終了時間はそのPCIが対応するVOBUの間、とぎれずに使用されるようになっている。HL\_Iが静止状態の間、ハイライト終了時間（HL\_I\_E\_PTm）として（FFFFFFFFFFFh）が記述されている。

【0122】ボタン選択終了時間（BTN\_SL\_E\_PTm）には、ボタン選択の終了時間が記述されている。ボタン選択終了時間は、ハイライト情報が対象とする副映像ストリームの表示終了時間以下となっている。HL\_I\_SSが“01”と記述されている場合、ハイライト情報のボタン選択終了時間はそのPCIが対応するVOBUの間、更新されるようになっている。HL\_I\_SSが“10”あるいは“11”と記述されている場合、ハイライト情報のボタン選択終了時間はそのPCIが対応するVOBUの間、とぎれずに使用されるようになっている。HL\_Iが静止状態の間、ボタン選択終了時間（BTN\_SL\_E\_PTm）として（FFFFFFFFFFFh）が記述されている。

【0123】ボタンのモード（BTN\_N\_MD）には、ボタンのグループ化と、各グループに対応する副映像の表示タイプが記述されている。たとえば、ボタングループ数（BTN\_GRP\_Ns）、ボタングループ1に対応する副映像の表示タイプ（BTN\_GRP\_1\_DSPTY）、ボタングループ2に対応する副映像の表示タイプ（BTN\_GRP\_2\_DSPTY）、ボタングループ3に対応する副映像の表示タイプ（BTN\_GRP\_3\_DSPTY）が記述されている。ボタングループ数（BTN\_GRP\_Ns）は、“01”的場合、1グループ、“10”的場合、2グループ、“11”的場合、3グループとなっている。表示タイプとしては、“01”的場合、ワイド（9/16）、“10”的場合、レーティング、“11”的場合、パンースキヤンとなっている。

【0124】ボタンスタート番号（BTN\_SN）に

は、ボタングループ中の最初のボタンのオフセット番号が記述されている。オフセット番号は、1から255の範囲で記述可能である。ボタンスタート番号 (BTN\_SN) は、各ボタングループに共通に適用される。

【0125】有効ボタン数 (BTN\_Ns) には、ボタングループ中で有効なボタン数が記述されている。ボタン数は、ボタングループが1の場合、1から36まで、ボタングループが2の場合、1から18まで、ボタングループが3の場合、1から12までの範囲で記述可能である。有効ボタン数 (BTN\_Ns) は、各ボタングループに共通に適用される。

【0126】番号で選択できるボタン数 (NS\_BTN\_Ns) には、ボタングループ中でボタン番号で選択可能なボタン数が記述されている。ボタン数は、ボタングループが1の場合、1から36まで、ボタングループが2の場合、1から18まで、ボタングループが3の場合、1から12までの範囲で記述可能である。番号で選択できるボタン数 (NS\_BTN\_Ns) は、各ボタングループに共通に適用される。

【0127】強制選択ボタン番号 (FSL\_BTN\_N) には、ハイライト開始時間 (HLT\_S\_PTM) で強制的に選択状態とするボタン番号が記述されている。これにより、ハイライト有効期間にプレゼンテーションがスタートしたとしても、ハイライト情報内に設定されているボタン番号が選択される。ボタン番号は、ボタングループが1の場合、1から36までの範囲と63、ボタングループが2の場合、1から18までの範囲と63、ボタングループが3の場合、1から12までの範囲と63で記述可能である。強制選択ボタン番号 (FSL\_BTN\_N) は、各ボタングループに共通に適用される。

【0128】強制確定ボタン番号 (FAC\_BTN\_N) には、ボタン選択終了時間 (BTN\_SLE\_PTM) で強制的に確定状態とするボタン番号が記述されている。ボタン番号は、ボタングループが1の場合、1から36までの範囲と63、ボタングループが2の場合、1から18までの範囲と63、ボタングループが3の場合、1から12までの範囲と63で記述可能である。強制確定ボタン番号 (FAC\_BTN\_N) は、各ボタングループに共通に適用される。

【0129】ボタン色情報テーブル (BTN\_COLIT) 113Bは、図54に示すように、3個のボタン色情報 (BTN\_COLI) 113D、113E、113Fが記述される。ボタン色情報 (BTN\_COLI) 113D、…の記述順に、ボタン色番号 (BTN\_COLN) が1から割り当てられる。ボタン色情報 (BTN\_COLI) 113D、…には、それぞれ図54に示すように、選択色情報 (SL\_COLI) 113Gと確定色情報 (AC\_COLI) 113Hが記述される。選択色情報 (SL\_COLI) 113Gには、ボタンが選択状態のときに変更する色とコントラストが記述される。確

定色情報 (AC\_COLI) 113Hには、ボタンが確定状態のときに変更する色とコントラストが記述される。ボタンの選択状態とは、選択色が表示されている状態である。この状態の時、ユーザはハイライトされているボタンから他のボタンへの変更が可能である。ボタンの確定状態とは、確定色が表示され、ボタンコマンドが実行される状態である。この状態の時、ユーザはハイライトされているボタンから他のボタンへの変更は禁止される。

【0130】選択色情報 (SL\_COLI) 113Gには、図55に示すように、強調画素2の選択色コード、強調画素1の選択色コード、パターン画素の選択色コード、背景画素の選択色コード、強調画素2の選択コントラスト、強調画素1の選択コントラスト、パターン画素の選択コントラスト、背景画素の選択コントラストが記述されている。

【0131】確定色情報 (AC\_COLI) 113Hには、図56に示すように、強調画素2の確定色コード、強調画素1の確定色コード、パターン画素の確定色コード、背景画素の確定色コード、強調画素2の確定コントラスト、強調画素1の確定コントラスト、パターン画素の確定コントラスト、背景画素の確定コントラストが記述されている。

【0132】ボタン情報テーブル (BTN\_IT) 113Cには、図57に示すように、36個のボタン情報 (BTN\_I) 113I、…が記述される。ボタングループ数 (BTNGR\_Ns) の記述内容に従い、ボタン情報テーブル (BTN\_IT) の記述順に36個全てのボタン情報 (BTN\_I) 113I、…が有効となる1グループモード、18個単位のボタン情報 (BTN\_I) 113I、…でグループ化される2グループモード、12個単位のボタン情報 (BTN\_I) 113I、…でグループ化される3グループモードの3つのモードとして利用利用可能である。各グループモードにおけるボタン情報 (BTN\_I) 113Iの記述領域は固定であるため、有効なボタン情報 (BTN\_I) 113Iが存在しない領域は全て零が記述される。各ボタングループ内のボタン情報 (BTN\_I) 113Iの記述順に、ボタン番号 (BTN\_NN) が1から割り当てられる。

【0133】ボタングループ中、ユーザ番号指定可能なボタンは、BTN\_#1からNS\_BTN\_Nsに記述された値の番号までである。

【0134】ボタン情報 (BTN\_I) 113Iには、図57に示すように、ボタン位置情報 (BTN\_POS\_I) 113J、隣接ボタン位置情報 (AJ\_BTN\_P\_I) 113K及びボタンコマンド (BTN\_CMD) 113Lが記述されている。

【0135】ボタン位置情報 (BTN\_POS\_I) 113Jには、図58に示すように、ボタンが使用する色番号 (1~3) とビデオ表示画面上の表示矩形領域が記述

されている。ボタン位置情報 (BTN\_POS1) 113Jには、ボタンのボタン色番号 (BTN\_COL\_N)、ボタンが表示される矩形領域の開始X座標 (Start\_X-coordinate)、ボタンが表示される矩形領域の終了X座標 (End\_X-coordinate)、ボタンが表示される矩形領域の開始Y座標 (Start\_Y-coordinate)、ボタンが表示される矩形領域の終了Y座標 (End\_Y-coordinate)、及びオート動作モード (Auto\_action\_mode) が記述されている。オート動作モードには、選択状態を維持しないか、選択状態あるいは確定状態を維持するかが記述される。

【0136】隣接ボタン位置情報 (AJ\_BYN\_POS1) 113Kには、上下左右の4つの方向に位置するボタン番号と対象となるボタンが選択状態を有するか否かが記述されている。選択状態を有しないボタンとは、対象のボタンに移動したとき選択状態になることなくすぐに確定状態に推移するボタンである。たとえば、上ボタン番号、下ボタン番号、左ボタン番号、右ボタン番号が記述されている。セレクトキー5mの指示に対応している。

【0137】ボタンコマンド (BTN\_CMD) 113Lには、ボタンが確定したときに実行するコマンドが記述されている。このコマンドにはしたがって、たとえば別の選択画面へ移行するためのプログラムやタイマーを再生成するためのプログラムチェーンが指定される。

【0138】図43に示したDSIパケット117のDSIデータ (DSI) 115は、VOBユニット (VOBU) 85のサーチを実行する為のナビゲーションデータである。DSIデータ (DSI) 115には、図59に示すようにDSI一般情報 (DSI\_GI) 、アングル情報 (SML\_AGLI) 、VOBユニットのサーチ情報 (VOBU\_SRI) 及び同期再生情報 (SYNC\_I) が記述されている。

【0139】DSI一般情報 (DSI\_GI) は、そのDSI115全体の情報が記述されている。即ち、図60に示すようにDSI一般情報 (DSI\_GI) には、NVパック86のシステム時刻基準参照値 (NV\_PCK\_SCR) が記載されている。このシステム時刻基準参照値 (NV\_PCK\_SCR) は、図1に示す各部に組み込まれているシステムタイムクロック (STC) に格納され、このSTCを基準にビデオ、オーディオ及び映像パックがビデオ、オーディオ及び映像データコード部58、60、62でデコードされ、映像及び音声がモニタ部6及びスピーカ部8で再生される。DSI一般情報 (DSI\_GI) には、DSI115が記述されているVOBセット (VOBS) 82の先頭論理セクタからの相対的論理セクタ数 (RLSN) でDSI115が記録されているNVパック (NV\_PCK) 86のスタートアドレス (NV\_PCK\_LBN) が記載され、VO

BUユニット (VOBU) の先頭論理セクタからの相対的論理セクタ数 (RLSN) でDSI115が記録されているVOBユニット (VOBU) 85中の最終パックのアドレス (VOBU\_EA) が記載されている。

【0140】更に、DSI一般情報 (DSI\_GI) には、DSI115が記録されているVOBユニット (VOBU) の先頭論理セクタからの相対的論理セクタ数 (RLSN) でこのVOBU内での最初の1ビックチャーの最終アドレスが記録されているVパック (V\_PCK) 88の終了アドレス (VOBU\_IP\_EA) が記載され、当該DSI115が記録されているVOBU83の識別番号 (VOBU\_IP\_IDN) 及び当該DSI115が記録されているセルの識別番号 (VOBU\_C\_IDN) が記載されている。

【0141】アングル情報 (SML\_AGLI) には、PC113のアングル情報 (NSML\_AGLI) と同様に図61に示すようにアングルの数だけ飛び先のアングルセルの開始アドレス (SML\_AGL\_C#DSA) が記載され、その開始アドレスは、当該DSI115が記録されたNVパック86の論理セクタからの相対的論理セクタで記述されている。このアングル情報 (SML\_AGLI) に基づくアングルの変更の場合は、図62に示すように当該DSI115が記録されているVOBU85の再生時間以後の他のアングルプロック内のセル84のスタートアドレスがこのアングル情報 (SML\_AGLI) に記述される。

【0142】DSIのアングル情報 (SML\_AGLI) を用いた場合には、PC1がビデオオブジェクトユニット (VOBU) で実現可能なに対してセル単位でアングルが変更され、時間的に連続してシーンが変更される。即ち、PSIのアングル情報 (SML\_AGLI) が時間的に不連続なアングルの変更が記述されるに対してDSIのアングル情報 (SML\_AGLI) には、時間的に連続するアングルの変更が記述される。上述した野球の例を用いてアングルの具体例を説明すれば次のようなアングルの変更が実現される。アングルセル#j (AGL\_C#j) 84は、ピッチャーが投げてこの球をバッターが打ち、この打球がホームランとなるシーンの連続が内野側から撮影された画像データのストリームであり、アングルセル#1は、同様の場面が外野側から撮影された画像データストリームであるとする。また、アングルセル#9は、同様の場面についてバッターが風するチームの様子を撮影した画像データストリームであるとする。アングルセル#j (AGL\_C#j) を鑑賞していく打った瞬間にアングルセル#1に変更すると、即ち、打った瞬間に外野側からのシーンに変更すると、バッターの打球の後に時間的に連続する外野に打球が飛んでくる画面に変更することができる。また、始めにアングルセル#j (AGL\_C#j) を鑑賞していくホームランとなった瞬間にアングルセル#9に変更する

と、即ち、バッターの属するチームの様子が映し出されるアングルに変更すると、ホームランで大騒ぎとなつたチームの様子及び監督の表情が画面に表示される。このようにPC1113のアングル情報(NSML\_AGL1)とDSI115のアングル情報(SML\_AGL1)を用いた場合には、明らかに異なるシーンが再現されることとなる。

【0143】VOBU85のサーチ情報(VOBU\_SI)には、図63に示すようにセル内の先頭アドレスを特定する為の情報を記述される。即ち、VOBU85のサーチ情報(VOBU\_SI)には、図63に示すように当該DSI115を含むVOBユニット(VOBU)85を基準にその再生順序に従つてフォワードアドレス[データ](FWDANn)として+1から+20、+60、+120及び+240までのVOBユニット(VOBU)85の[有無及びある場合にはその]スタートアドレス(A\_FWDn)が当該VOBユニットの先頭論理セクタからの相対的な論理セクタ数で記載されている。

【0144】このフォワードアドレス(FWDANn)は、図64に示すように32ビットで表現され、ビット番号29(b29)からビット番号0(b0)には、そのアドレス、例えば、フォワードアドレス10(FWD A10)のアドレスが記述され、そのフォワードアドレス(FWDANn)の先頭には、ビデオデータがそのフォワードアドレス(FWDANn)に相当するビデオオブジェクトユニット(VOBU)85内にビデオデータがあるかを示すフラグ(V\_FWD\_Exist1)及び当該ビデオオブジェクトとフォワード先のビデオオブジェクトユニットとの間にビデオデータがあるかを示すフラグ(V\_FWD\_Exist2)が記述されている。即ち、V\_FWD\_Exist1がビット番号(b31)に相当し、このフラグが0である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されたフォワードアドレス(FWDANn)で指定されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがない旨を意味し、このフラグが1である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されたフォワードアドレス(FWDANn)で指定されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがある旨を意味している。例えば、フォワードアドレス10(FWD A10)にビデオデータがある場合には、ビット31番のV\_FWD\_Exist1には、1のフラグが立ち、そのアドレスにビデオデータがない場合には、ビット31番のV\_FWD\_Exist1には、0が記述される。また、V\_FWD\_Exist2がビット番号(b30)に相当し、このフラグが0である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されたフォワードアドレス(FWDANn)で指定されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85とこのフォワードアド

レスを記載しているDSI115が含まれるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85との間のビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のいずれかにも、ビデオデータがない旨を意味し、このフラグが1である場合には、そのビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがその間のいずれかのビデオオブジェクトユニットある旨を意味している。例えば、フォワードアドレス10(FWD A10)のビデオオブジェクトユニットとフォワードアドレス0に相当するフォワードアドレス10を記述したDSI115が含まれるビデオオブジェクトユニット85との間のフォワード1からフォワード9に相当する複数のビデオオブジェクトユニットにビデオデータがある場合には、ビット30番のV\_FWD\_Exist2には、1のフラグが立ち、そのアドレスにビデオデータがない場合には、ビット30番のV\_FWD\_Exist2には、0が記述される。

【0145】また、同様にVOBU85のサーチ情報(VOBU\_SI)には、図63に示すように当該DSI115を含むVOBユニット(VOBU)85を基準にその再生順序とは逆方向にバックワードデータ(BWDA)として-1から-20、-60、-120及び-240までのVOBユニット(VOBU)85のスタートアドレス(A\_BWDA)が当該VOBユニット(VOBU)85の先頭論理セクタからの相対的な論理セクタ数で記載されている。

【0146】このバックワードアドレス(BWDA)は、図65に示すように32ビットで表現され、ビット番号29(b29)からビット番号0(b0)には、そのアドレス、例えば、バックワードアドレス10(BWDA10)のアドレスが記述され、そのバックワードアドレス(BWDANn)の先頭には、ビデオデータがそのバックワードアドレス(BWDANn)に相当するビデオオブジェクトユニット(VOBU)85内にビデオデータがあるかを示すフラグ(V\_BWD\_Exist1)及び当該ビデオオブジェクトとバックワード先のビデオオブジェクトユニットとの間にビデオデータがあるかを示すフラグ(V\_BWD\_Exist2)が記述されている。即ち、V\_BWD\_Exist1がビット番号(b31)に相当し、このフラグが0である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されたバックワードアドレス(BWDANn)で指定されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがない旨を意味し、このフラグが1である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されたバックワードアドレス(BWDANn)で指定されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがある旨を意味している。例えば、バックワードアドレス10(BWDA10)にビデオデータがある場合には、ビット31番のV\_BWD\_Exist1に

は、1のフラグが立ち、そのアドレスにビデオデータがある場合には、ビット31番のV\_BWD\_Exist1には、0が記述される。また、V\_BWD\_Exist2がビット番号(b30)に相当し、このフラグが0である場合には、ビット番号29からビット番号0に記述されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)85とこのパックワードアドレスを記載しているDSI115が含まれるビデオオブジェクトユニットとの間のビデオオブジェクトユニットのいずれも、ビデオデータがない旨を意味し、このフラグが1である場合には、そのビデオオブジェクトユニット(VOBU)85には、ビデオデータがある旨を意味している。例えば、パックワードアドレス10(BWDAN10)のビデオオブジェクトユニットとパックワードアドレス0に相当するパックワードアドレス10との間のビデオオブジェクトユニット85のいずれかにビデオデータがある場合には、ビット30番のV\_BWD\_Exist2には、1のフラグが立ち、そのアドレスにビデオデータがない場合には、ビット30番のV\_BWD\_Exist2には、0が記述される。

【0147】同期情報(SYNC1)には、DSI115が含まれるVOBユニット(VOBU)のビデオデータの再生開始時間と同期して再生する副映像及びオーディオデータのアドレス情報が記載される。即ち、図66に示すようにDSI115が記録されているNVパック(NV\_PCK)86からの相対的な論理セクタ数(R\_LSN)で目的とするオーディオパック(A\_PCK)91のスタートアドレス(A\_SYNCA)が記載される。オーディオストリームが複数(最大8)ある場合には、その数だけ同期情報(SYNC1)が記載される。また、同期情報(SYNC1)には、目的とするオーディオパック(SP\_PCK)91を含むVOBユニット(VOBU)85のNVパック(NV\_PCK)86のアドレス(SP\_SYNCA)がDSI115が記録されているNVパック(NV\_PCK)86からの相対的な論理セクタ数(R\_LSN)で記載されている。副映像ストリームが複数(最大32)ある場合には、その数だけ同期情報(SYNC1)が記載される。

【0148】図67を用いて複数の副映像パケットの副映像データにより構成される副映像ユニットについて説明する。1GOP内に十画面分の静止画のデータ(たとえば字幕)としての副映像ユニットが記録できるようになっている。副映像ユニットは、副映像ユニットヘッダ(SPUH)、ランレンジングデータで構成される画素データ(PXD)、表示制御シーケンステーブル(DCSQT)により構成されている。

【0149】副映像ユニットヘッダ(SPUH)には、図68に示すように、副映像ユニットのサイズ(SPD SZ)と表示制御シーケンステーブルのスタートアドレ

ス(SPD\_C\_SQTA)とが記述されている。

【0150】表示制御シーケンステーブル(DCSQT)には、図69に示すように、経過時刻順に表示制御シーケンス(DCSQ)が記述されている。

【0151】各表示制御シーケンス(DCSQ)には、図70に示すように、次の表示制御シーケンスのスタートアドレス(SPD\_NDCSQA)、1つ以上の表示制御コマンド(SPDC\_CMD)が記述されている。

【0152】表示制御コマンド(SPDC\_CMD)は、画素データの強制表示スタートタイミングを設定コマンド(FSTA\_DSP)、画素データの表示スタートタイミングを設定コマンド(STA\_DSP)、画素データの表示エンドタイミングを設定コマンド(STP\_DSP)、画素データのカラーコードを設定コマンド(SET\_COLOR)、画素データと主映像とのコントラスト比を設定コマンド(SET\_CONTR)、画素データの表示領域を設定コマンド(SET\_DARE)、画素データの表示スタートアドレスを設定コマンド(SET\_DSPXA)、画素データの色変化およびコントラスト変化を設定コマンド(CHGCOLCO)、表示制御コマンドの終了コマンド(CMD\_END)からなる。

【0153】コマンド(STA\_DSP)は、副映像データの表示開始を指定する命令であり、副映像ユニットヘッダを含む副映像パケットに記述されているPTMからのオフセットPTMで記述される(スタートPTM)。コマンド(STP\_DSP)は、副映像データの表示停止を指定する命令であり、副映像ユニットヘッダを含む副映像パケットに記述されているPTMからのオフセットPTMで記述される(ストップPTM)。

【0154】このスタートPTMとストップPTMは、同時間間に再生される主映像データやオーディオデータのPTMよりも任意の所定時間遅延して設定されている。

【0155】図1に示す上記システムプロセッサ部54には、パケットの種別を判断してそのパケット内のデータを各デコーダへ転送するパケット転送処理部200を有している。このパケット転送処理部200は、図71に示すように、メモリインターフェース部(メモリI/F部)191、スタッフイング長検知部192、パックヘッダ終了アドレス算出部193、パック種別判別部194、パケットデータ転送制御部195、およびデコーダインターフェース部(デコーダI/F部)196により構成されている。

【0156】メモリI/F部191は、データRAM部56からのパックデータをデータバスによりスタッフイング長検知部192、パック種別判別部194、パケットデータ転送制御部195、およびデコーダI/F部196へ出力するものである。

【0157】スタッフイング長検知部192は、メモリ

1/F部191から供給されるバックデータ中のバックヘッダ120内のスタッフイング長が何バイトであるかを検知するものであり、この検知結果はバックヘッダ終了アドレス算出部193にに出力される。

【0158】バックヘッダ終了アドレス算出部193は、スタッフイング長検知部192から供給されるスタッフイング長により、バックヘッダ終了アドレスを算出するものであり、この算出結果はバック種別判別部194およびパケットデータ転送制御部195にに出力される。

【0159】バック種別判別部194は、バックヘッダ終了アドレス算出部193から供給されるバックヘッダ終了アドレスに従って、上記メモリI/F部191から供給されるバックデータ中のそのアドレスの次に供給される4バイトのデータの内容により、ビデオパック88、オーディオパック91、副映像パック90、NVパック86のいずれであるかを判別するものであり、この判別結果はパケットデータ転送制御部195にに出力される。

【0160】パケットデータ転送制御部195は、バックヘッダ終了アドレス算出部193から供給されるバックヘッダ終了アドレスとバック種別判別部194から供給されるバック種別の判別結果に応じて、転送先とパケットスタートアドレスを判断し、さらに供給されるバックデータのパケットヘッダ121内のパケット長を判断するものである。さらに、パケットデータ転送制御部195は、転送コントロール信号としての転送先を示す信号をデコーダI/F部196に供給し、パケットスタートアドレスからパケット終了アドレスがメモリI/F部191に供給されるようになっている。

【0161】デコーダI/F部196は、パケットデータ転送制御部195から供給される転送コントロール信号に応じて、メモリI/F部191からパケットデータ転送制御部195に制御されて供給されるパケットヘッダ121を含むパケットデータとしての、ビデオデータ、オーディオデータ、副映像データを、対応するデコーダ部58、60、62にに出力したり、パケットデータとしてのナビゲーションデータ及びコンピュータデータをデータRAM部56にに出力するものである。

【0162】次に、パケット転送処理部200の処理を説明する。

【0163】すなわち、データRAM部56から読み出されたバックデータがメモリI/F部191を介してスタッフイング長検知部192、バック種別判別部194、パケットデータ転送制御部195、およびデコーダI/F部196に供給される。

【0164】これにより、スタッフイング長検知部192によって、スタッフイング長が検知され、そのスタッフイング長を示すデータがバックヘッダ終了アドレス算出部193に出力される。

【0165】バックヘッダ終了アドレス算出部193は供給されるスタッフイング長により、バックヘッダ終了アドレスを算出し、このバックヘッダ終了アドレスがバック種別判別部194、パケットデータ転送制御部195に供給される。

【0166】バック種別判別部194は、供給されるバックヘッダ終了アドレスに従って、そのアドレスの次に供給される4~6バイトのデータの内容により、NVパック86、ビデオパック88、ドルビーアクションのオーディオパック91、リニアPCMのオーディオパック91、副映像パック90のいずれであるかを判別し、この判別結果がパケットデータ転送制御部195に供給される。

【0167】すなわち、プライベートストリーム2を示す1バイトのストリームIDが供給された場合、NVパック86と判別し、ビデオストリームを示す1バイトのストリームIDによりビデオパック88と判別し、プライベートストリーム1を示す1バイトのストリームIDによりドルビーアクションのオーディオパック91、リニアPCMのオーディオパック91、副映像パック90のいずれかであると判別する。

【0168】また、ストリームIDがプライベートストリーム1の際に、パケットヘッダ121に続くサブストリームIDにより、リニアPCMのオーディオパック、ドルビーアクションのオーディオパック、あるいは副映像ストリームと判別するとともに、そのストリーム番号を判別する。

【0169】そして、パケットデータ転送制御部195は、供給されるバック種別の判別結果とバックヘッダ終了アドレスに応じて、転送先とパケットスタートアドレスを判断し、さらに供給されるバックデータのパケットヘッダ121内のパケット長を判断する。これにより、パケットデータ転送制御部195は、転送コントロール信号としての転送先を示す信号をデコーダI/F部196に供給し、パケットスタートアドレスからパケット終了アドレスがメモリI/F部191に供給される。

【0170】したがって、実質的に効率的なパケットデータが、メモリI/F部191からデータバスを介して、デコーダI/F部196に供給され、その後、その種別に応じた転送先としての各デコーダ部58、60、62あるいはデータRAM部56に転送される。

【0171】すなわち、ビデオデータのパケットデータはビデオデコーダ部58へ転送され、オーディオデータのパケットデータはオーディオデコーダ部60へ転送され、副映像データのパケットデータは副映像デコーダ部62へ転送される。

【0172】この際、上記パケットデータが一定長のため、データRAM部56での記憶状態がつまり開始アドレスが一定間隔なため、データRAM部56内のパケットデータの先頭が常に同じ間隔のアドレスに保存される事

となり、バックデータの管理がアドレス管理せずに、バック番号だけの管理で良い。

【0173】尚、データの種別の判別過程では、データがビデオデータの再生位置等を示すNVデータとしてのPCIデータおよびDSIデータの場合には、このNVデータはデコードへは転送されず、このNVデータは、データRAM部56に格納される。このNVデータは、システムCPU部50によって必要に応じて参照されビデオデータの特殊再生をする際に利用される。この際、PCIデータとDSIデータとはそれらに付与されているサブストリームIDにより識別されるようになっている。

【0174】また、1つのセルの再生が終了すると、次に再生するセル情報がプログラムチェーンデータ中のセル再生順序情報から取得し、同様にして再生が続けられる。

【0175】図1に示す上記副映像デコーダ部62には、上記システムプロセッサ部54から供給される副映像データをデコードするデコーダ62Bとこのデコーダ62Bによるデコード後の副映像データに対するハイライト処理を行うハイライト処理部62Cは、上記システムCPU部50から供給されるハイライト情報としての選択項目が表示される矩形領域を示すX、Y座標値、色コード、ハイライトの色/コントラスト値に応じてハイライト処理を行うものである。

【0176】上記デコーダ62Bは、副映像データとしてのランレングス圧縮により圧縮されている画素データを強調画素、パターン画素、背景画素等に応じて伸長するものである。

【0177】上記ハイライト処理部62Cは、図72に示すように、ハイライト領域設定/判定部180、デフォルト色/コントラスト設定部181、ハイライト色/コントラスト設定部182、セレクタ183、およびカラーパレットレジスタ184により構成されている。

【0178】ハイライト領域設定/判定部180は、上記システムCPU部50による選択項目が表示される矩形領域（指定されたハイライト領域）を示すX、Y座標値とラスタスキヤンにより得られるX、Y座標値つまり画素データX、Y座標値により、指定されたハイライト領域を判定し、ハイライト区間を示す切換信号を出力するものであり、その出力はセレクタ183に供給される。

【0179】デフォルト色/コントラスト設定部181は、副映像データ中に含まれる各画素ごとのデフォルトの表示色とコントラストが設定されるものである。

【0180】ハイライト色/コントラスト設定部182は、上記システムCPU部50によるハイライトの色とコントラスト値が設定されるものである。

【0181】セレクタ183は、ハイライト領域設定/

判定部180からの切換信号に応じて、選択的に、デフォルト色/コントラスト設定部181からのデフォルトの表示色とコントラストをカラーパレットレジスタ184へ出力するか、あるいはハイライト色/コントラスト設定部182からのハイライト時の色とコントラストをカラーパレットレジスタ184へ出力するものである。

【0182】カラーパレットレジスタ184は、セレクタ183から供給される色とコントラストとに応じた信号を出力するものである。

【0183】したがって、上記ハイライト領域設定/判定部180によりハイライト領域以外であると判定されている際、セレクタ183はデフォルト色/コントラスト設定部181からの画素データごとのデフォルトの表示色とコントラストを受入れ、カラーパレットレジスタ184へ出力され、カラーパレットレジスタ184からの色信号がD/A&再生処理部64へ出力される。

【0184】また、上記ハイライト領域設定/判定部180によりハイライト領域内であると判定されている際、セレクタ183はハイライト色/コントラスト設定部182からの画素データごとのハイライト時の表示色とコントラストを受入れ、カラーパレットレジスタ184へ出力され、カラーパレットレジスタ184からの色信号がD/A&再生処理部64へ出力される。

【0185】次に、メニューの再生処理について、図1を参照して図6から図6に示す論理フォーマットを有する光ディスク10を用いて説明する。尚、図1においてブロック間の実線の矢印は、データバスを示し、破線の矢印は、制御バスを示している。

【0186】図1に示される光ディスク装置においては、電源が投入され、光ディスク10が装填されると、システム用ROM及びRAM部52からシステムCPU部50は、初期動作プログラムを読み出し、ディスクドライブ部30を作動させる。従って、ディスクドライブ部30は、リードイン領域27から読み出し動作を開始し、リードイン領域27に継ぎ、ISO-9660等に準拠してボリュームとファイル構造を規定したボリューム及びファイル構造領域70が読み出される。即ち、システムCPU部50は、ディスクドライブ部30にセットされた光ディスク10の所定位置に記録されているボリューム及びファイル構造領域70を読み出す為に、ディスクドライブ部30にリード命令を与え、ボリューム及びファイル構造領域70の内容を読み出し、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に一旦格納する。システムCPU部50は、データRAM部56に格納されたバステーブル及びディレクトリコードを介して各ファイルの記録位置や記録容量、サイズ等の情報やその他管理に必要な情報としての管理情報を抜き出し、システム用ROM&RAM部52の所定の場所に転送し、保存する。

【0187】次に、システムCPU部50は、システム

用ROM & RAM部52から各ファイルの記録位置や記録容量の情報を参照してファイル番号0番から始まる複数ファイルから成るビデオマネージャー71を取得する。即ち、システムCPU部50は、システム用ROM及びRAM部52から取得した各ファイルの記録位置や記録容量の情報を参照してディスクドライブ部30に対してもリード命令を与え、ルートディレクトリ上に存在するビデオマネージャー71を構成する複数ファイルの位置及びサイズを取得し、このビデオマネージャー71を読み出し、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に格納する。

【0188】この後、システムCPU部50は、図7-3、7-4のフローチャートに示すように、光ディスク10内の総タイトル数、各タイトルごとのチャプタ数（プログラム数）、各タイトルごとのオーディオストリーム数とオーディオストリームの言語、各タイトルごとの副映像ストリーム数と副映像ストリームの言語を検索する。

【0189】すなはち、システムCPU部50は、ビデオマネージャー71の第2番目のテーブルであるタイトルサーチポイントテーブル（TT\_SRPT）79がサーチされる（ステップS51）。システムCPU部50は、タイトルサーチポイントテーブル（TT\_SRPT）79内のタイトルサーチポイントタブの情報（TT\_SRPT1）92に記載されているタイトルサーチポイントの数（TT\_Ns）により光ディスク10内の総タイトル数を得る（ステップS52）。

【0190】また、システムCPU部50は、タイトルサーチポイントテーブル（TT\_SRPT）79内の各タイトルサーチポイント（TT\_SRPT）93に記載されているチャプタ数（プログラム数）としてのパートオブタイトル数（PTT\_Ns）により各タイトルごとのチャプタ数（プログラム数）を得る（ステップS53）。

【0191】また、システムCPU部50は、各タイトルサーチポイント（TT\_SRPT）93に記載されているビデオタイトルセット72のスタートアドレス（VTS\_SA）を用いて各ビデオタイトルセット72の第1番目のテーブルであるビデオタイトルセット情報（VTS1）94内のビデオタイトルセットダイレクトアクセスピントテーブル（VTS\_PTT\_SRPT）99がサーチされる（ステップS54）。システムCPU部50は、各ビデオタイトルセット72ごとのテーブル（VTS\_DAPT）99に記載されているオーディオストリームの数（VTS\_AST\_Ns）により各タイトルごとのオーディオストリーム数を得、副映像ストリームの数（VTS\_SPST\_Ns）により各タイトルごとの副映像ストリームの数を得る（ステップS55）。

【0192】また、システムCPU部50は、各ビデオ

タイトルセット72ごとのテーブル（VTS\_DAPT）99のオーディオストリーム属性（VTS\_AST\_ATR）に記載されているオーディオストリームごとのオーディオの言語コードにより、各タイトルのオーディオストリームごとの言語を得る（ステップS56）。

【0193】また、システムCPU部50は、各ビデオタイトルセット72ごとのテーブル（VTS\_DAPT）99の副映像ストリーム属性（VTS\_SPST\_ATR）に記載されている副映像ストリームごとの副映像の言語コードにより、各タイトルの副映像ストリームごとの言語を得る（ステップS57）。

【0194】また、システムCPU部50は、ビデオマネージャー71のビデオマネージャー情報（VMGM）75内の第4番目のテーブルであるビデオマネージャーメニューPGC1ユニットテーブル（VMGM\_PGC1\_UT）81がサーチされる（ステップS58）。このサーチによって再生装置に設定されている言語と同一の言語コードが記述されているビデオマネージャーメニューPGC1ユニットサーチポイント（VMGM\_LU\_SRPT）81Bがサーチされる（ステップS59）。

【0195】同一の言語コードが記述されているビデオマネージャーメニューPGC1ユニットサーチポイント（VMGM\_LU\_SRPT）81Bがサーチされた際に、システムCPU部50は、そのポイント（VMGM\_LU\_SRPT）81Bに対応するビデオマネージャーメニュー言語ユニット（VMGM\_LU）81C内のビデオマネージャーメニューPGC情報サーチポイント（VMGM\_PGC1\_SRPT）81Eの各ビデオマネージャーメニューのプログラムチェーンのカタゴリー（VMGM\_PGC\_CAT）ごとに記載されているメニューIDをサーチし（ステップS60）、このサーチによりルートメニューとしてのメインメニューが存在しているか否かを判断するとともに、タイトルメニュー（ビデオタイトルセットメニュー）が存在しているか否かを判断する（ステップS61）。

【0196】メインメニューが存在している場合、システムCPU部50は、そのルートメニューのメニューIDが記載されているビデオマネージャーメニューPGC情報サーチポイント（VMGM\_PGC1\_SRPT）81Eの1つに記載されているVMGMプログラムチェーン情報（VMGM\_PGC1）81Fの開始アドレスがパラメータ（VMGM\_PGC1\_SA）により、対応するVMGMプログラムチェーン情報（VMGM\_PGC1）81Fの内容を読み出し、このVMGMプログラムチェーン情報（VMGM\_PGC1）81Fに記載されている先頭ビデオオブジェクトユニット（VOBU）85のスタートアドレス（C\_FVOBU\_SA）をメインメニューのスタートアドレスとしてメモリテーブル6Aに記憶する（ステップS62）。

【0197】また、タイトルメニューが存在している場

合、システムCPU部50は、そのタイトルメニューのメニューIDが記載されているビデオマネージャーメニューPGC情報サーチボインタ(VMGM\_PGC\_I\_SRP)81Eの1つに記載されているVMGMプログラムチェーン情報(VMGM\_PGC\_I)81Fの開始アドレスがパラメータ(VMGM\_PGC\_I\_SA)により、対応するVMGMプログラムチェーン情報(VMGM\_PGC\_I)81Fの内容を読み出し、このVMGMプログラムチェーン情報(VMGM\_PGC\_I)81Fに記載されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)をタイトルメニューのスタートアドレスとしてメモリテーブル56Aに記憶する(ステップS63)。

【0198】また、システムCPU部50は、各ビデオタイトルセット72ごとの第1番目のテーブルであるビデオタイトルセット情報(VTS\_I)94内のビデオタイトルセットメニューPGCユニットテーブル(VTSM\_PGC\_I\_UT)111がサーチされる(ステップS64)。このサーチによって再生装置に設定されている言語と同一の言語コードが記述されているビデオタイトルセットメニューPGCユニットサーチボインタ(VTSM\_LU\_SRP)111Bがサーチされる(ステップS65)。

【0199】同一の言語コードが記述されているビデオタイトルセットメニューPGC\_Iユニットサーチボインタ(VTSM\_LU\_SRP)111Bがサーチされた際に、システムCPU部50は、そのボインタ(VTSM\_LU\_SRP)111Bに対応するビデオタイトルセットメニュー言語ユニット(VTSM\_LU)111C内のビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチボインタ(VTSM\_PGC\_I\_SRP)111Eの各ビデオタイトルセットメニューのプログラムチェーンのカテゴリ(VTSM\_PGC\_CAT)ごとに記載されているメニューIDをサーチし(ステップS66)、このサーチにより副映像メニュー、オーディオメニュー、アングルメニュー、チャプター(プログラム)メニューが存在しているか否かを判断するとともに、タイトルメニューが存在しているか否かを判断する(ステップS67)。

【0200】それらのメニューが存在している場合、システムCPU部50は、そのメニューIDが記載されているビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチボインタ(VTSM\_PGC\_I\_SRP)111Eの1つに記載されているVTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)111Fの開始アドレスがパラメータ(VTSM\_PGC\_I\_SA)により、対応するVTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)111Fの内容を読み出し、このVTSMプログラムチェーン情報(VTSM\_PGC\_I)111Fに記載されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85の

スタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を対応するメニューのスタートアドレスとしてメモリテーブル56Aに記憶する(ステップS68)。

【0201】これにより、各ビデオタイトルセット72ごとの副映像メニュー、オーディオメニュー、アングルメニュー、チャプター(プログラム)メニューのスタートアドレスがメモリテーブル56Aに記憶される。

【0202】この結果、メモリテーブル56Aには、図75に示すように、再生装置に設定されている言語に対応した各メニューに対応するスタートアドレスが記憶される。

【0203】したがって、リモートコントロール5のメニューキー5kが投入された際、システムCPU部50は、メインメニューの再生を判断し、メインメニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、メインメニューが存在していると判断した場合、システムCPU部50は、メモリテーブル56Aのメインメニューに対応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応するメインメニューのデータを光ディスク10のビデオマネージャーメニュー(VMGM)75の為のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図76に示すような、メインメニューの画像が再現されとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0204】また、リモートコントロール5のタイトルキー51が投入された際、あるいは上記メインメニューが再生されている状態で、タイトルに対応する「1」キーが投入された際、あるいは通常の再生の開始時に、システムCPU部50は、タイトルメニューの再生を判断し、タイトルメニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、タイトルメニューが存在していると判断した場合、メモリテーブル56Aのタイトルメニューに対応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応するタイトルメニューのデータを光ディスク10のビデオマネージャーメニュー(VMGM)75の為のビデオオブジェクトセット(VMGM\_VOBS)76に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、

D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図77の(a)に示すような、タイトルメニューの画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0205】また、メインメニューが再生されている状態で、チャプタに対応する「2」キーが投入された際、あるいは通常再生によりタイトルが選択された後、システムCPU部50は、現在選択されているタイトルに対応するチャプタメニューの再生を判断し、チャプタメニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、チャプタメニューが存在していると判断した場合、メモリーテープル56Aのチャプタメニューに対応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応するチャプタメニューのデータを光ディスク10のビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の為のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図77の(b)に示すような、チャプタメニューの画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0206】また、メインメニューが再生されている状態で、オーディオに対応する「3」キーが投入された際、あるいは通常再生によりタイトルが選択された後、システムCPU部50は、現在選択されているタイトルに対応するオーディオメニューの再生を判断し、オーディオメニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、オーディオメニューが存在していると判断した場合、メモリーテープル56Aのオーディオメニューに對応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応するオーディオメニューのデータを光ディスク10のビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の為のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図77の(c)に示すような、オーディオメニューの画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0207】また、メインメニューが再生されている状

態で、副映像に対応する「4」キーが投入された際、あるいは通常再生によりタイトルが選択された後、システムCPU部50は、現在選択されているタイトルに対応する副映像メニューの再生を判断し、副映像メニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、副映像メニューが存在していると判断した場合、メモリーテープル56Aの副映像メニューに対応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応する副映像メニューのデータを光ディスク10のビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の為のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図77の(d)に示すような、副映像メニューの画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0208】また、メインメニューが再生されている状態で、アングルに対応する「5」キーが投入された際、あるいは通常再生によりタイトルが選択された後、システムCPU部50は、現在選択されているタイトルに対応するアングルメニューの再生を判断し、アングルメニューが存在しているか否かを判断する。この判断の結果、アングルメニューが存在していると判断した場合、メモリーテープル56Aのアングルメニューに対応して記憶されている先頭ビデオオブジェクトユニット(VOBU)85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)を読み出し、このアドレスに対応するアングルメニューのデータを光ディスク10のビデオタイトルセットメニュー(VTSM)の為のビデオオブジェクトセット(VTSM\_VOBS)95に対応する領域から読み出し、再生する。この再生されたデータは、システムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に図77の(e)に示すような、アングルメニューの画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0209】したがって、システムCPU部50は、上記取得した各メニューの位置データをデータRAM部56内のメニューテーブル56Aに格納しておくようにしたので、このテーブルを用いて必要なメニューの再生を容易に行なうことができる。

【0210】尚、システムCPU部50は、ビデオマネージャー(VMG)75の情報管理テーブル(VMG

【0211】MAT 78 に記述されたビデオマネージャーメニュー用のビデオ、オーディオ、副映像のストリーム数及びそれぞれの属性情報を取得して属性情報を基に、各々のビデオデコーダ部 58、オーディオデコーダ部 60 及び副映像デコーダ部 62 にビデオマネージャーメニュー再生のためのパラメータを設定している。

【0211】次に、上記メニューが再生される際の処理を、図 78 に示すフローチャートを参照しつつさらに詳細に説明する。

【0212】すなわち、再生されるメニューに対するスタートアドレスとしてのセル中の最初のVOBU のスタートアドレス及びPGC番号、即ち、セル番号がシステム用ROM/RAM部 52 に格納される（ステップS1）。

【0213】そして、ビデオタイトルセットの読み込み準備が整った時点でリードコマンドがシステムCPU部 50 からディスクドライブ部 30 に与えられ、上述したスタートアドレスを基に光ディスク 10 がディスクドライブ部 30 によってシークされる（ステップS2）。このリードコマンドによって光ディスク 10 からは、指定されたプログラムチェーン（PGC）に係るセルが次々に読み出され、システムCPU部 50 及びシステム処理部 54 を介してデータRAM部 56 に送られる（ステップS3）。この送られたセルデータは、図 8 に示すようにビデオオブジェクトユニット（VOBU）85 の先頭パックであるナビゲーションパック 86 からパックがデータRAM部 56 に格納される。その後、ビデオオブジェクトユニット（VOBU）のビデオパック 88、オーディオパック 91 及び副映像パック 90 の各パケットデータは、上記パケット転送処理部 200 により先ビデオデコーダ部 58、オーディオデコーダ部 60 及び副映像デコーダ部 62 に転送され、ナビゲーションパック 86 のパケットデータとしてのPCIデータとDSIデータはデータRAM部 56 に送られる（ステップS4）。

【0214】この際、システムCPU部 50 は、データRAM部 56 に記憶されているPCIデータにより、表示用の各ボタンに対応したハイライト情報（上述した図 49～58 の内容）を判断する（ステップS5）。

【0215】すなわち、各ボタンごとに、そのボタンの矩形領域と、そのボタンが選択ボタンの際に、選択される前の画素データごとの表示色とコントラスト値、選択された後の画素データごとの表示色とコントラスト値と、そのボタンが確定ボタンの際に、確定される前の画素データごとの表示色とコントラスト値、確定された後の画素データごとの表示色とコントラスト値とが判断され、データRAM部 56 に記憶される。この画素データとしては、強調画素 1、2、パーカン画素、背景画素が用意され、それぞれに対する表示色とコントラスト値とが用意されている。

【0216】これにより、システムCPU部 50 は、デ

ータRAM部 56 に記憶した各ボタンに対応する矩形領域を示すX、Y座標値をハイライト処理部 62C のハイライト領域設定/判定部 180 に出力するとともに、スキヤン位置に対応して、ハイライト情報に応じたハイライトの色とコントラスト値とをハイライト処理部 62C のハイライト色/コントラスト設定部 182 へ出力する（ステップS6）。

【0217】これにより、ハイライト領域設定/判定部 180 は、上記システムCPU部 50 による選択項目が表示される矩形領域（指定されたハイライト領域）を示すX、Y座標値とラスタスキヤンにより得られるX、Y座標値つまり画素データX、Y座標値とにより、指定されたハイライト領域を判定し、ハイライト区間を示す切換信号をセレクタ 183 に供給する（ステップS7）。

【0218】また、ハイライト色/コントラスト設定部 182 には、ラスタスキヤンにより得られるX、Y座標値に応じて、上記システムCPU部 50 によるハイライトの色とコントラスト値が設定される（ステップS8）。

【0219】これにより、セレクタ 183 は、ハイライト領域設定/判定部 180 からの切換信号に応じて、選択的に、デフォルト色/コントラスト設定部 181 からのデフォルトの表示色とコントラストをカラー・パレットレジスタ 184 へ出力するか、あるいはハイライト色/コントラスト設定部 182 からのハイライト時の色とコントラストをカラー・パレットレジスタ 184 へ出力する（ステップS9）。

【0220】カラー・パレットレジスタ 184 は、セレクタ 183 から供給される色とコントラストとに応じた信号を出力する（ステップS10）。

【0221】この結果、ハイライト領域設定/判定部 180 によりハイライト領域以外であると判定されている際、セレクタ 183 はデフォルト色/コントラスト設定部 181 からの画素データごとのデフォルトの表示色とコントラストを受け入れ、カラー・パレットレジスタ 184 へ出力され、カラー・パレットレジスタ 184 からの色信号がD/A & 再生処理部 64 へ出力される。

【0222】また、ハイライト領域設定/判定部 180 によりハイライト領域内であると判定されている際、セレクタ 183 はハイライト色/コントラスト設定部 182 からの画素データごとのハイライト時の表示色とコントラストを受け入れ、カラー・パレットレジスタ 184 へ出力され、カラー・パレットレジスタ 184 からの色信号がD/A & 再生処理部 64 へ出力される。

【0223】この結果、デコード後の画素ごとの副映像データが、ハイライト情報に応じて色とコントラストとが変更されて図 1 に示す D/A & 再生処理部 64 内の画像合成部 64A（図 1 参照）に供給される。

【0224】したがって、ビデオデコード部 58 でdecodeされた主映像データは、D/A & 再生処理部 64 内

の画像合成功部64Aに供給され、副映像デコード部62内のデコーダ62Bでデコードされてハイライト処理部62Cを介してD/A&再生処理部64内の画像合成功部64Aに供給される。これにより、画像合成功部64Aで主映像データと副映像データが合成され、その合成された画像がモニタ部6で表示される。

【0225】たとえば、図79の(a)に示す背景画像としての主映像に、図79の(b)に示す選択項目としてのボタンからなる副映像を図79の(c)に示すハイライト情報によりハイライト処理した画像を合成した、図79の(d)に示す合成画像が得られる。この際、選択項目の背景が青色で表示され、選択項目の文字が黒色で表示される。

【0226】また、オーディオデコード部60でデコードされたオーディオデータは、D/A&再生処理部64に供給されることにより、スピーカ部8から上記メニューあるいは主映像に対応した音声が再生される。

【0227】このメニューの表示状態において、ユーザがキー操作/表示部4あるいはリモートコントローラによりハイライト表示されている選択項目を選択した場合、システムCPU部50は、選択後に対応するハイライトの色とコントラスト値とハイライト処理部62Cのハイライト色/コントラスト設定部182に付出する。この結果、選択項目のハイライトの色とコントラストとが変更される。この際、選択項目の背景が赤色で表示され、選択項目の文字が白色で表示される。

【0228】また、メニュー画像の他の例を、図80の(a)～(e)を用いて説明する。

【0229】すなわち、図80の(a)に示すような主映像データと図80の(b)に示すような副映像データが供給されている場合、選択前のメニュー画像は図80の(c)に示すように、「1」、「2」のそれぞれに対する選択項目の文字が黒色で、背景がグレー色で表示されている。

【0230】この後、「1」の選択項目がキー操作/表示部4あるいはリモートコントローラで選択された際、システムCPU部50は、上記PCIデータから読み取っている「1」の選択項目に対する矩形領域を示すX、Y座標と各画素の色あるいはコントラストの変更内容(ハイライト情報)をハイライト処理部62Cに設定する。

【0231】これにより、副映像デコード部62のデコーダ62Bでデコードされた副映像データがハイライト処理部62Cにより「1」の選択項目に対応するハイライトの色とコントラスト値が変更されて、D/A&再生処理部64内の画像合成功部64Aに供給される。この結果、画像合成功部64Aで主映像データと副映像データが合成され、その合成された画像、つまり図80の(d)に示すように、選択項目の「1」の選択項目の表示内容が変更されたメニュー画像がモニタ部6で表示される。

たとえば、「1」の選択項目の文字の部分が白色で背景が赤色で表示される。

【0232】また、「2」の選択項目がキー操作/表示部4あるいはリモートコントローラで選択された際、システムCPU部50は、上記PCIデータから読み取っている「1」の選択項目に対する矩形領域を示すX、Y座標と各画素の色あるいはコントラストの変更内容(ハイライト情報)をハイライト処理部62Cに設定する。

【0233】これにより、副映像デコード部62のデコーダ62Bでデコードされた副映像データがハイライト処理部62Cにより「1」の選択項目に対応するハイライトの色とコントラスト値が変更されて、D/A&再生処理部64内の画像合成功部64Aに供給される。この結果、画像合成功部64Aで主映像データと副映像データが合成され、その合成された画像、つまり図80の(e)に示すように、選択項目の「2」の選択項目の表示内容が変更されたメニュー画像がモニタ部6で表示される。たとえば、「2」の選択項目の文字の部分が白色で背景が赤色で表示される。

【0234】これにより、種々のメニュー画面の変更を新たな映像データを読み出すことなく簡単に実現可能となる。

【0235】また、選択項目位置情報は主映像の表示座標系と対応させて指定することで、主映像と副映像の位置関係を簡単に決定しやすい構成としている。

【0236】図81の(a)、(b)に選択項目の副映像データと制御データとしてのハイライト情報の関係の一実施例を示す。

【0237】図中、○で表される画素はパターン画素を用いて、□で表される画素は強調画素1を用いて作成したものである。

【0238】図81の(a)は、副映像データのパターン画素とパターン画素の影としての強調画素を構成したケースである。この場合、制御データの選択後表示色情報を強調画素1の色を新たに色に設定し、それ以外の画素色及びコントラストを現在の色のままに設定しておくことで、選択された選択項目に関しては他の選択項目と違った色の影にリアルタイムで変更することが可能となる。

【0239】図81の(b)は、副映像データをパターン画素のみで構成したケースである。この場合、ハイライト情報の選択後表示色情報をパターン画素の色を新たな色に設定し、それ以外の画素及びコントラストを現在の色のままに設定しておくことで、選択された選択項目自身が他の選択項目と違った色にリアルタイムで変更することが可能となる。

【0240】この他にも、選択項目領域内の背景画素のコントラストを、選択時、副映像データ100%、非選択時0%とするような設定を行うことで、選択時、選択領域全体の色が変化するような制御等、副映像データの

構成とハイライト情報の内容を使用することで、様々な形式がリアルタイムで可能となる。

【0241】また、たとえば上記識別したセル種別がメニューであった場合、次のセル再生へ自動的に移行せず、セル再生が終わった時点の最終フレーム表示状態で待機状態となる。

【0242】したがって、メニュー用のセルを再生した場合、セルの最終表示状態で静止画状態となる。セルの中には、ビデオデータの一定単位で必ずN'V'パック88が挿入されているため、前述したメニューの為のハイライト情報はデータRAM部56の中には保存される。

【0243】システムCPU部50はセル再生が終了した時点で、ユーザイベント（キー入力等）の待機状態となり、データRAM部56内に保存されているPC1データからメニューに関連する情報（ハイライト情報）を参照しながらメニューのユーザ選択に対する選択項目の処理を実行する。

【0244】次に、上記のようなメニューによりタイトル等が選択された状態において、図1を参照して図6から図6に示す論理フォーマットを有する光ディスク10からのムービーデータの再生動作について説明する。

【0245】所望のタイトルが選択されている状態で、キー操作／表示部4の再生キー4cあるいはリモートコントローラの再生キー5dが投入された際に、システムプロセッサ50は、システムCPU部50は、タイトルサーチボインターテーブル情報（TT\_SRPTI）92からタイトルサーチボインターテーブル（TT\_SRPT）79の最終アドレスを獲得するとともにキー操作／表示部4からの入力番号あるいはリモートコントローラ5によるタイトル番号の選択に応じたタイトルサーチボインタ（TT\_SRPT）93から入力番号に対応したビデオタイトルセット番号（VTSN）、プログラムチェーン番号（PGCN）及びビデオタイトルセットのスタートアドレス（VTS\_SA）が獲得される。タイトルセットが1つしかない場合には、キー操作／表示部4からの入力番号の有無およびリモートコントローラによるタイトル番号の選択に拘らず1つのタイトルサーチボインタ（TT\_SRPT）93がサーチされてそのタイトルセットのスタートアドレス（VTS\_SA）が獲得される。このタイトルセットのスタートアドレス（VTS\_SA）からシステムCPU部50は、目的のタイトルセットを獲得することとなる。

【0246】次に、図1に示すビデオタイトルセット72のスタートアドレス（VTS\_SA）から図20に示すようにそのタイトルセットのビデオタイトルセット情報（VTSI）94が獲得される。このビデオタイトルセット情報（VTSI）94のビデオタイトルセット情報の管理テーブル（VTSI\_MAT）98から図21に示すビデオタイトルセット情報管理テーブル（VTI\_MAT）98の終了アドレス（VTI\_MAT\_EA）が獲得されると共にオーディオ及び副映像データのストリーム数（VTS\_AST\_Ns、VTS\_SPST\_Ns）及びビデオ、オーディオ及び副映像データの属性情報（VTS\_V\_ATR、VTS\_A\_ATR、VTS\_SPST\_ATR）に基づいて図1に示される再生装置の各部がその属性に従って設定される。

【0247】また、ビデオタイトルセット（VTS）の為のメニュー（VTS\_M）が単純な構成である場合には、図20に示すビデオタイトルセット情報管理テーブル（VTSI\_MAT）98からビデオタイトルセットのメニュー用のビデオオブジェクトセット（VTS\_M\_VOBS）95のスタートアドレス（VTS\_M\_VOBS\_SA）が獲得されてそのビデオオブジェクトセット（VTS\_M\_VOBS）95によってビデオタイトルセットのメニューが表示される。このメニューを参照して特にプログラムチェーン（PGC）を選択せずに単純にタイトルセット（VTS）におけるタイトル（VTS\_T）の為のビデオオブジェクトセット（VTT\_VOBS）96を再生する場合には、図21に示すスタートアドレス（VTTST\_VOBS\_SA）からそのビデオオブジェクトセット96が再生される。

【0248】プログラムチェーン（PGC）をキー操作／表示部4あるいはリモートコントローラ5で指定する場合には、次のような手順で対象とするプログラムチェーンがサーチされる。このプログラムチェーンのサーチは、ビデオタイトルセットにおけるタイトルの為のプログラムチェーンに限らず、メニューがプログラムチェーンで構成される比較的複雑なメニューにおいてもそのメニューの為のプログラムチェーンのサーチに関しては同様の手順が採用される。ビデオタイトルセット情報（VTSI）94の管理テーブル（VTSI\_MAT）98に記述される図21に示すビデオタイトルセット（VTS）内のプログラムチェーン情報テーブル（VTS\_PGCIT）100のスタートアドレスが獲得されて図24に示すVTSプログラムチェーン情報テーブルの情報（VTS\_PGCIT\_I）102が読み込まれる。この情報（VTS\_PGCIT\_I）102から図25に示すプログラムチェーンの数（VTS\_PGCNs）及びテーブル100の終了アドレス（VTS\_PGCIT\_EA）が獲得される。

【0249】キー操作／表示部4あるいはリモートコントローラ5でプログラムチェーンの番号が指定されると、その番号に対応した図24に示すVTS\_PGCITサーチボインタ（VTS\_PGCIT\_SRP）103から図26に示すそのプログラムチェーンのカテゴリ及びそのサーチボインタ（VTS\_PGCIT\_SR）103に対応したVTS\_PGC情報104のスタートアドレスが獲得される。このスタートアドレス（VTS\_PGC\_ISA）によって図27に示すプログラムチェーン一般情報（PGC\_GI）が読み出される。

この一般情報 (PGC\_G1) によってプログラムチェーン (PGC) のカタログリーカー及び再生時間 (PGC\_CAT, PGC\_PB\_TTIME) 等が獲得され、その一般情報 (PGC\_G1) に記載したセル再生情報テーブル (C\_PB1T) 及びセル位置情報テーブル (C\_PPOSIT) 108 のスタートアドレス (C\_PB1T\_SA, C\_PPOSIT\_SA) が獲得される。スタートアドレス (C\_PB1T\_SA) から図3に示すセル位置情報 (C\_PPOSIT) として図3に示すようなビデオオブジェクトの識別子 (C\_VOB\_IDN) 及びセルの識別番号 (C\_IDN) が獲得される。

【0250】また、スタートアドレス (C\_PPOSIT\_SA) から図3に示すセル再生情報 (C\_PB1) が獲得され、その再生情報 (C\_PB1) に記載の図3に示すセル中の最初のVOBU 85 のスタートアドレス (C\_FVOBU\_SA) 及び最終のVOBU のスタートアドレス (C\_LVOBU\_SA) が獲得されてその目的とするセルがサーチされる。セルの再生順序は、図2に示されるPGCプログラムマップ (PGC\_PGMAP) 106 の図3に示すプログラムのマップを参照して次々に再生セル84が決定される。このように決定されたプログラムチェーンのデータセル84が次々にビデオオブジェクト144から読み出されてシステムプロセッサ部54を介して、データRAM部56に入力される。このデータセル84は、再生時間情報を基にビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に与えられてデコードされ、D/A 及び再生処理部64で信号変換されてモニタ部6に画像が再現されるとともにスピーカ部8から音声が再生される。

【0251】更に、ナビゲーションパック86を利用したビデオデータの通常再生に関してフローチャートを参照してより詳細説明する。

【0252】ビデオデータの通常再生では、図82及び図83に示すように通常再生が開始される場合には、スタートの後に既に説明したように、ビデオマネージャー情報 (VMGI) 75がシステムCPU部50によってサーチされてシステムROM/RAM部52に格納される (ステップS12)。同様にこのビデオマネージャー情報 (VMGI) 75に基づいてビデオタイトルセット (VTS) 72のビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) 94が読み込まれるとともにビデオタイトルセットメニューがそのビデオオブジェクトセット (VTSM\_VOB\_S) 95を利用して上述したようにモニタ部6に表示される。この表示を基にステップS13で示すように再生すべきタイトルセット72及び再生条件の等をユーザーが決定する。この決定したタイトルセット72をキー操作/表示部4を用いて選択すると、ステップS14に示すように選択したタイトルセット72の中の図20に示すプログラムチェーン情報テーブル (VTS\_PGM

CIT) 100から図27、図33及び図34に示すセル再生情報テーブル (C\_PB1T) 107のデータがシステムCPU部50によって読み込まれ、これがシステムROM/RAM部52に格納される。

【0253】システムCPU部50は、ステップS15に示すように、キー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5から入力された再生条件に応じて再生を開始するプログラムチェーン番号 (VTS\_PGM\_CNs)、アングル番号 (ANGNs)、オーディオストリーム番号及び副映像ストリーム番号が上述したような各メニューを用いて決定される。例えば、プログラムチェーンとしてボクシングのワールドチャンピオン第11戦がタイトルとして選定され、英語のナレーションを基に副映像として日本語の字幕を映し出すことを決定する。また、アングルとして常に両者の戦いが良く鑑賞できる映像に決定する等の選択がユーザによって実行される。この決定された副映像番号及びオーディオストリーム番号がステップS16に示すようにシステムプロセッサ部54のレジスタ54Bに設定される。同様に、再生スタート時間がシステムプロセッサ部54、ビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62のシステムタイムクロック (STC) 54A、58A、60A、62Aに設定される。また、スタートアドレスとしてのセル中の最初のVOBU のスタートアドレス及びPGC番号、即ち、セル番号がシステム用ROM/RAM部52に格納される。

【0254】ステップS17に示すようにビデオタイトルセットの読み込み準備が整った時点でリードコマンドがシステムCPU部50からディスクドライバ部30に与えられ、上述したスタートアドレスを基に光ディスク10がディスクドライバ部30によってシーケルされる。このリードコマンドによって光ディスク10からは、指定されたプログラムチェーン (PGC) に係るセルが次々に読み出され、システムCPU部50及びシステム処理部54を介してデータRAM部56に送られる。この送られたセルデータは、図8に示すようにビデオオブジェクトユニット (VOBU) 85の先頭パックであるナビゲーションパック86からパックがデータRAM部56に格納される。その後、ビデオオブジェクトユニット (VOBU) のビデオパック88、オーディオパック91及び副映像パック90が夫々ビデオデコーダ部58、オーディオデコーダ部60及び副映像デコーダ部62に分配され、夫々のデコーダでデコードされてD/A及びデータ再生部64に送られる。その結果、モニタ部6に映像信号が送られ、スピーカ部8に音声信号が送られ、副映像を伴った映像の表示が開始されるとともに音声の再生が開始される。

【0255】このような映像及び音声の再生中においては、キー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5からの割り込み処理があった場合には、その得られた

キーデータがシステムRAM/ROM部52に格納される。キーデータがない場合には、ステップS19に示すようにドライブ部からの再生経の割り込みがあったか否かがチェックされる。再生終了の割り込みがない場合には、ステップS20に示すようにナビゲーションパック86の転送を待つこととなる。ナビゲーションパック86の転送が終了している場合には、ステップS21に示すようにナビゲーションパック86中の論理セクタ番号(NV\_PCK\_LSN)を現在の論理ブロック番号(NOWLBN)としてシステムRAM/ROM部52に格納される。

【0256】NVパック86の転送が終了すると、そのセル内の最終NVパック86かがチェックされる。即ち、ステップS22に示すようにセル84中の最終ナビゲーションパック86であるか否かがチェックされる。このチェックは、図34に示すセル再生情報テーブル(C\_PBI)107のC\_LVOBUのスタートアドレス(C\_LVOBU\_SA)とナビゲーションパック86のアドレス(V\_PCK\_LBN)を比較することによってチェックされる。NVパック86がセル内での最終でない場合には、再びステップ19に戻される。NVパック86がセル84内での最終である場合には、ステップS23に示すようにアングルの変更があるか否かがチェックされる。アングルの変更は、キー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5からシステムCPU部50にアングル変更の入力があるか否かに基づいて判断される。アングルの変更がない場合には、ステップS24に示すようにそのセル84が属するプログラムチェーン(PGC)の最終セルであるかがチェックされる。このチェックは、図27及び図33に示すそのセル84がセル再生情報テーブル(C\_PBI)107の最終セルであるかによって判断される。即ち、プログラムチェーンを構成するセル数及び再生されたセルの識別番号によってチェックされる。セルがプログラムチェーン(PGC)の最終セルに相当しない場合には、再びステップS19に戻される。

【0257】セル84がプログラムチェーン(PGC)の最終セルである場合には、そのプログラムチェーンが終了したとして、次のプログラムチェーン(PGC)が指定される。特別な場合を除き、プログラムチェーンは、その番号順に再生されることから、ステップS25に示すように再生が終了したプログラムチェーンの番号に1を加えることによって次に再生すべきプログラムチェーン番号が設定される。この設定されたプログラムチェーン番号のプログラムチェーンがあるか否かがステップS26でチェックされる。次に再生されるプログラムチェーンがない場合には、後に説明される図84に示す再生終了の手続きのフローに移行される。設定されたプログラムチェーンがある場合には、ステップS27に示すようにその再設定されたプログラムチェーンのセルの

アドレス、即ち、図34に示すセル再生情報(C\_PBI)107中のC\_FVOBU85のスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)が現在の論理ブロック番号として獲得される。ステップS28に示すようにこのスタートアドレス(C\_FVOBU\_SA)が既に再生した前のプログラムチェーンのセル84の最終アドレス(ENDLBN)に1を加えたアドレスに等しいかがチェックされる。等しければ、アドレスが連続したセルの再生であるから、再びステップS18に戻される。アドレスが等しくない場合には、ステップS29に示すようにセルアドレスが連続しないことからシステムCPU部50は、現在のビデオオブジェクトユニットの終了アドレスを指示するリード終了アドレスコマンドを発し、指定したアドレスで一時的にディスクドライブ部30に読み出し動作を中止させる。その後、ステップS30に示すように再びシステムCPU部50からリードコマンドがディスクドライブ部30に与えられるとともにスタートアドレスがディスクドライブ部30に与えられ、再びステップS19に戻され、ナビゲーションパック86のシークが開始される。

【0258】ステップS19において再生終了である場合、或いは、ステップS26において次に再生されるプログラムチェーンがない場合には、図84のステップ31に示すようにPC1113の一般情報(PC11-GI)に記載されるエンドPTM(VOBUEPTM)が参照され、このエンドPTM(VOBUEPTM)がシステムタイムクロック(STC)に一致すると、ステップ32に示されるようにモニタ6の画面の表示が中止され、ステップS33に示すようにシステムCPUからディスクドライブ部30にデータ転送中止コマンドが与えられ、データ転送が中止され、再生動作が終了される。

【0259】ステップS23においてキー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5からアングル変更の入力があると、図85のステップS40に示すようにアングルデータがあるかがチェックされる。このアングルの有無は、ナビゲーションパック86のPC1データ113及びDS1データ115のいずれにもアングル情報(NSML-AGLI,SML\_AGLI)として記載されている。ここで、キー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5からの入力に応じていずれかの情報がシステムCPU部50によって調べられる。このステップ40において変更の対象となるアングルがない場合には、ステップS41に示すようにアングルデータがない旨がキー操作/表示部4あるいはモニタ部6に表示される。このアングルデータ無しの表示があった後に、ステップS24に移行される。アングルデータがある場合には、ステップS42に示すようにキー操作/表示部4あるいはリモートコントローラ5から変更されるべきアングル番号が指定される。ここで、既に述べるようにPC

1データ及びDS1データのアングル情報(NSML\_AGL1, SML\_AGL1)のいずれを利用するアングルの変更が指定される。但し、一方のアングル情報のみしかない場合には、その選択は、一方に限られるとなる。アングル番号が指定されると、図47及び図48に示すように指定されたアングル番号に相当するアングルセルの目的のアドレス(NSML\_AGL\_C\_DSTA, SML\_ANL\_C\_DSTA)がステップS43で獲得される。このアドレスでセルがサーチされ、そのアドレスをシークすべき論理ブロック番号(NOWLBN)として設定する。ここで、特にPC1を利用したアングル変更の際には、アングル変更動作に伴ってシステムCPU部50は、ビデオ及びオーディオデータの再生に対してミュート処理を施すと共に副映像の再生に対してホールズ処理を施す。この処理に伴い再生装置各部のシステムタイムクロック(STC)をストップさせ、既にビデオ、オーディオ及び副映像デコーダ部8、8、60、62内のバッファをクリアして変更されたアングルデータの受け入れを可能とする状態とする(ステップS44)。同時にステップ45に示すようにシステムCPU部50は、リード終了アドレスコマンドを発し、一時的にディスクドライブ部30に読み出し動作を中止させる。その後、ステップS46に示すようにシステムCPU部50からリードコマンドがディスクドライブ部30に与えられ、設定したシークすべき論理ブロック番号、即ち、選択したアングルセルのスタートアドレスでセルがサーチされて選択したアングルセルデータの転送が開始される。

【0260】転送の開始に伴って再び変更アングル先である初めてのセルのナビゲーションパックの転送を待つこととなる。ステップS48に示すようにデータ転送に伴うナビゲーションパックの転送の終了があるか否かがチェックされ、ナビゲーションパックの転送がない場合には、再びステップ47に戻ることとなる。ナビゲーションパック86の転送があると、ナビゲーションパック86のDSI一般情報(DSI1)に記載のNVパック86のSCR(NV\_PCK\_SCR)を参照して各システムタイムクロック(STC)がゲットされる。その後、ステップS44で設定されたビデオ及びオーディオのミュート状態及び副映像のホールズ状態が解除され、システムタイムクロック(STC)の動作がスタートされる。その後、通常再生と同様に図82に示すステップS21が実行される。

【0261】次に、図86から図91を参照して図6から図66に示す論理フォーマットで映像データ及びこの映像データを再生するための光ディスク10への記録方法及びその記録方法が適用される記録システムについて説明する。

【0262】図86は、映像データをエンコードしてあるタイトルセット84の映像ファイル88を生成するエ

ンコーダシステムが示されている。図86に示されるシステムにおいては、主映像データ、オーディオデータ及び副映像データのソースとして、例えば、ビデオテープレコーダ(VTR)201、オーディオテープレコーダ(ATR)202及び副映像再生器(Subpicture source)203が採用される。これらは、システムコントローラ(Sys con)205の制御下で主映像データ、オーディオデータ及び副映像データを発生し、これらが夫々ビデオエンコーダ(VENC)206、オーディオエンコーダ(AENC)207及び副映像エンコーダ(SP ENC)208に供給され、同様にシステムコントローラ(Sys con)205の制御下でこれらエンコーダ206、207、208でA/D交換されると共に夫々の圧縮方式でエンコードされ、エンコードされた主映像データ、オーディオデータ及び副映像データ(Comp Video, Comp Audio, Comp Sub-pict)としてメモリ210、211、212に格納される。

【0263】この主映像データ、オーディオデータ及び副映像データ(Comp Video, Comp Audio, Comp Sub-pict)は、システムコントローラ(Sys con)205によってファイルフォーマッタ(FFMT)214に出力され、既に説明したようなこのシステムの映像データのファイル構造に変換されるとともに各データの設定条件、属性及びハイライト情報等の管理情報がファイルとしてシステムコントローラ(Sys con)205によってメモリ216に格納される。

【0264】以下に、映像データからファイルを作成するためのシステムコントローラ(Sys con)205におけるエンコード処理の標準的なフローを説明する。

【0265】図87に示されるフローに従って主映像データ及びオーディオデータがエンコードされてエンコードド映像及びオーディオデータ(Comp Video, Comp Audio)のデータが作成される。即ち、エンコード処理が開始されると、図87のステップ70に示すように主映像データ及びオーディオデータのエンコードにあたって必要なパラメータが設定される。この設定されたパラメータの一部は、システムコントローラ(Sys con)205に保存されるとともにファイルフォーマッタ(FFMT)214で利用される。ステップS271で示すようにパラメータを利用して主映像データがアリエンコードされ、最適な符号量の分配が計算される。ステップS272に示されるようにアリエンコードで得られた符号量分配に基づき、主映像のエンコードが実行される。このとき、オーディオデータのエンコードも同時に実行される。ステップS273に示すように必要であれば、主映像データの部分的な再エンコードが実行され、再エンコードした部分の主映像データが置き換える。この一連のステップによって主映像データ及びオーディオデータがエンコードされる。また、ステップS274及びS275に示すように副映像データがエンコードされエン

コード副映像データ(Comp Sub-pict.)が作成される。即ち、副映像データをエンコードするにあたって必要なパラメータが同様に設定される。ステップS274に示すように設定されたパラメータの一部がシステムコントローラ(Sys con)205に保存され、ファイルフォーマット(FFMT)214で利用される。このパラメータに基づいて副映像データがエンコードされる。この処理により副映像データがエンコードされる。

【0266】図88に示すフローに従って、エンコードされた主映像データ、オーディオデータ及び副映像データ(Comp Video, Comp Audio, Comp Sub-pict)が組み合わされて図6を参照して説明したような映像データのタイトルセッット構造に変換される。即ち、ステップS276に示すように映像データの最小単位としてのセルが設定され、セルに関するセル再生情報(C\_PBI)が生成される。次に、ステップS277に示すようにプログラムチェーンを構成するセルの構成、主映像、副映像及びオーディオ属性等が設定され(これらの属性情報の一部は、各データエンコード時に得られた情報が利用される)、図21に示すようにプログラムチェーンに関する情報を含めたビデオタイトルセッット情報管理テーブル情報(VTS\_I\_MAT)98及びビデオタイトルセッット時間サーチマップテーブル(VTS\_TMAPT)101が作成される。このとき必要に応じてビデオタイトルセッットパートオブタイトルセーブポイントテーブル(VTS\_PTT\_SRPT)も作成される。エンコードされた主映像データ、オーディオデータ及び副映像データ(Comp Video, Comp Audio, Comp Sub-pict)が一定のパックに細分化され、各データのタイムコード順に再生可能なよう、VOBU単位毎にその先頭にNVパックを配置しながら各データセルが配置されて図6に示すような複数のセルで構成されるビデオオブジェクト(VOB)が構成され、このビデオオブジェクトのセットでタイトルセッットの構造にフォーマットされる。

【0267】尚、図88に示したフローにおいて、プログラムチェーン情報は、ステップS277の過程で、システムコントローラ(Sys con)205のデータベースを利用したり、或いは、必要に応じてデータを再入力する等を実行し、プログラムチェーン情報(PGI)として記述される。

【0268】図89は、上述のようにフォーマットされたタイトルセッットを光ディスクへ記録するためのディスクフォーマッタのシステムを示している。図89に示すようにディスクフォーマッタシステムでは、作成されたタイトルセッットが格納されたメモリ220、222からこれらファイルデータがボリュームフォーマッタ(VFMT)226に供給される。ボリュームフォーマッタ(VFMT)226では、タイトルセッット84、86から管理情報が引き出されてビデオマネージャー71が作成され、図6に示す配列順序で光ディスク10に記録さ

れるべき状態の論理データが作成される。ボリュームフォーマッタ(VFMT)226で作成された論理データにエラー訂正用のデータがディスクフォーマッタ(DFMT)228において付加され、ディスクへ記録する物理データに再変換される。変調器(Modulator)230において、ディスクフォーマッタ(DFMT)228で作成された物理データが実際にディスクへ記録する記録データに変換され、この変調処理された記録データが記録器(Recorder)232によってディスク10に記録される。

【0269】上述したディスクを作成するための標準的なフローを図90及び図91を参照して説明する。図90には、ディスク10に記録するための論理データが作成されるフローが示されている。即ち、ステップS280で示すように映像データファイルの数、並び順、各映像データファイル大きさ等のパラメータデータが始めに設定される。次に、ステップS281で示すように設定されたパラメータと各ビデオタイトルセッット72のビデオタイトルセッット情報281からビデオマネージャー71が作成される。その後、ステップS282に示すようにビデオマネージャー71、ビデオタイトルセッット72の順にデータが該当する論理ブロック番号に沿って配置され、ディスク10に記録するための論理データが作成される。

【0270】その後、図91に示すようなディスクへ記録するための物理データを作成するフローが実行される。即ち、ステップS283で示すように論理データが一定バイト数に分割され、エラー訂正用のデータが生成される。次にステップS284で示すように一定バイト数に分割した論理データと、生成されたエラー訂正用のデータが合わされて物理セクタが作成される。その後、ステップS285で示すように物理セクタを合わせて物理データが作成される。このように図91に示されたフローで生成された物理データに対し、一定規則に基づいた変調処理が実行されて記録データが作成される。その後、この記録データがディスク10に記録される。

【0271】上述したデータ構造は、光ディスク等の記録媒体に記録してユーザーに頒布して再生する場合に限らず、図92に示すような通信系にも適用することができる。即ち、図86から図89に示した手順に従って図6に示すようなビデオマネージャー71及びビデオタイトルセッット72等が格納された光ディスク10が再生装置300にロードされ、その再生装置のシステムCPU部50からエンコードされたデータがデジタル的に取り出され、モジュレータ/トランスマッタ310によって電波或いはケーブルでユーザー或いはケーブル加入者側に送られても良い。また、図86及び図89に示したエンコードシステム320によって放送局等のプロバイダ側でエンコードされたデータが作成され、このエンコードデータが同様にモジュレータ/トランスマッタ3

10によって電波或いはケーブルでユーザ或いはケーブル加入者側に送られても良い。このような通信システムにおいては、始めにビデオマネージャー71の情報がモジュレータ/トランスマッター310で変調されて或いは直接にユーザ側に無料で配布され、ユーザがそのタイトルに興味を持った際にユーザ或いは加入者からの要求に応じてそのタイトルセット72をモジュレータ/トランスマッター310によって電波或いはケーブルを介してユーザ側に送られることがある。タイトルの転送は、始めに、ビデオマネージャー71の管理下でビデオタイトルセット情報94が送られてその後にこのタイトルセット情報94によって再生されるビデオタイトルセットにおけるタイトル用ビデオオブジェクト95が転送される。このとき必要であれば、ビデオタイトルセットメニュー用のビデオオブジェクト95も送られる。送られたデータは、ユーザ側でレシーバ/復調器400で受信され、エンコードデータとして図1に示すユーザ或いは加入者側の再生装置のシステムCPU部50で上述した再生処理と同様に処理されてビデオが再生される。

【0272】ビデオタイトルセット72の転送においてビデオオブジェクトセット95、96は、図6に示すビデオオブジェクトユニット85を単位として転送される。このビデオオブジェクトユニット85には、ビデオの再生及びサーチ情報を格納されたNVパック86がその先頭に配置されている。しかも、このNVパック86には、そのNVパック86が属するビデオオブジェクトユニット85を基準として前後に再生されるべきビデオオブジェクトユニットのアドレスが記載されていることから、ビデオオブジェクトユニット85の転送中に何らかの原因でビデオオブジェクトユニット85が欠けたとしても欠けたビデオオブジェクトユニット85の再転送を要求することによって確実にユーザ側でビデオデータを再生することができる。また、転送は、ビデオオブジェクトユニットの再生順に実施されなくともユーザ側のシステムROM/RAM部52が正確なプログラムチェーンの再生情報を保持することでそのNVパック86のアドレスデータを参照して再生順序をシステムCPU部50が指示することができる。

【0273】上述した説明においては、ビデオオブジェクトユニットは、ビデオ、オーディオ及び副映像を含むデータ列として説明したが、ビデオ、オーディオ及び副映像のいずれかが含まれれば良く、オーディオパックのみ或いは副映像パックのみで構成されても良い。

【0274】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、主映像データと副映像データを具備する映像データを利用して、再生機器への負担が少なく、ユーザの選択結果に応じたりアルティムに反応可能である。

【0275】さらに、この発明によれば、メニューの背景画像としての主映像データとメニューの選択項目また

は確定項目からなる副映像データとにより、メニューを作成し、副映像データの選択項目または確定項目に対するハイライト情報を変更、つまり文字の色やコントラストを変更することにより、種々のメニューを容易に作成することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、この発明の一実施例に係る光ディスク装置の概略を示すブロック図である。

【図2】図2は、図1に示したディスクドライブ装置の構成部の詳細を示すブロック図である。

【図3】図3は、図1に示したディスクドライブ装置に装填される光ディスクの構造を概略的に示す斜視図である。

【図4】図4は、図1に示したキー操作及び表示部の概略構成を示す図である。

【図5】図5は、図1に示したリモートコントロールの構造を示す図である。

【図6】図6は、図3に示す光ディスクの論理フォーマットの構造を示す。

【図7】図7は、図6に示されるビデオマネージャーの構造を示す。

【図8】図8は、図6に示されるビデオオブジェクトセット(VOBS)の構造を示す図である。

【図9】図9は、図8に示されたビデオオブジェクトユニットの構造を示す説明図である。

【図10】図10は、図7に示されたビデオマネージャ(VMGI)内のビデオマネージャ情報管理テーブル(VMGI\_MAT)のパラメータ及び内容を示す。

【図11】図11は、図7に示されたビデオマネージャ(VMGI)内のタイトルサーチボインタテーブル(TT\_SRPT)の構造を示す。

【図12】図12は、図11に示したタイトルサーチボインタテーブル(TT\_SRPT)のタイトルサーチボインタテーブルの情報(TT\_SRPTI)のパラメータ及び内容を示す。

【図13】図13は、図11に示したタイトルサーチボインタテーブル(TT\_SRPT)の入力番号に対応したタイトルサーチボインタ(TT\_SRPT)のパラメータ及び内容を示す。

【図14】図14は、図7に示されたビデオマネージャメニューPGCIユニットテーブル(VMGM\_PGC\_I\_UT)の構造を示す。

【図15】図15は、図14に示されるビデオマネージャメニューPGCIユニットテーブル情報(VMGM\_PGC\_I\_UT1)のパラメータ及び内容を示す。

【図16】図16は、図14に示されるビデオマネージャメニューPGCIユニットサーチボインタ(VMG\_M\_LU\_SRPT)のパラメータ及び内容を示す。

【図17】図17は、図14に示されるビデオマネージャメニュー言語ユニット(VMGM\_LU)の構造を

示す。

【図18】図18は、図17に示されるビデオマネージャーメニュー言語ユニット情報 (VMGM\_LUI) のパラメータ及び内容を示す。

【図19】図19は、ビデオマネージャーメニューPGC情報サーチポイント (VMGM\_PGC\_I\_SRP) のパラメータ及び内容を示す。

【図20】図20は、図6に示したビデオタイトルセットの構造を示す。

【図21】図21は、図20に示したビデオタイトルセット情報 (VTS\_I) のビデオタイトルセット情報の管理テーブル (VTS\_I\_MAT) のパラメータ及び内容を示す。

【図22】図22は、図6に示したビデオタイトルセット (VTS) のオーディオストリームの属性 (VTS\_AST\_ATR) の内容を示す。

【図23】図23は、図6に示したビデオタイトルセット (VTS) の副映像ストリーム属性 (VTS\_SPS\_T\_ATR) の内容を示す。

【図24】図24は、図20に示したビデオタイトルセット (VTS) のビデオタイトルセットプログラムチェーン情報のテーブル (VTS\_PGC\_IT) の構造を示す。

【図25】図25は、図24に示したビデオタイトルセットプログラムチェーン情報のテーブル (VTS\_PGC\_IT) の情報 (VTS\_PGC\_IT\_I) のパラメータ及び内容を示す。

【図26】図26は、図24に示したビデオタイトルセットプログラムチェーン情報のテーブル (VTS\_PGC\_IT) のプログラムチェーンに対応したサーチポイント (VTS\_PGC\_IT\_SRP) のパラメータ及び内容を示す。

【図27】図27は、図24に示したビデオタイトルセットプログラムチェーン情報のテーブル (VTS\_PGC\_IT) のプログラムチェーンに対応したビデオタイトルセットのプログラムチェーン情報 (VTS\_PGC\_CI) の構造を示す。

【図28】図28は、図27に示したプログラムチェーン情報 (VTS\_PGC\_I) のプログラムチェーンの一般情報 (PGC\_G\_I) のパラメータ及び内容を示す。

【図29】図29は、図28に示したプログラムチェーンの一般情報 (PGC\_G\_I) のプログラムチェーン (PGC) のカテゴリ (PGC\_CAT) の構造を示す。

【図30】図30は、図28に示したプログラムチェーンの一般情報 (PGC\_G\_I) の内容 (PGC\_CNT) の構造を示す。

【図31】図31は、図27に示したプログラムチェーン情報 (VTS\_PGC\_I) のプログラムチェーンのマップ (PGC\_PGMAP) の構造を示す。

【図32】図32は、図27に示したプログラムチェーンのマップ (PGC\_PGMAP) に記述されるプログラムに対するエントリーセル番号 (ECELLN) のパラメータ及び内容を示す。

【図33】図33は、図27に示したプログラムチェーン情報 (VTS\_PGC\_I) のセル再生情報テーブル (C\_PBIT) の構造を示す。

【図34】図34は、図33に示したセル再生情報 (C\_PBI) のパラメータ及び内容を示す。

【図35】図35は、図28に示したプログラムチェーン情報 (VTS\_PGC\_I) のセル位置情報 (C\_POSI) の構造を示す。

【図36】図36は、図35に示したセル位置情報 (C\_POSI) のパラメータ及び内容を示す。

【図37】図37は、図20に示したビデオタイトルセットメニューPGCユニットテーブル (VTSMPGC\_I\_UT) の構造を示す。

【図38】図38は、図37に示したビデオタイトルセットメニューPGCユニットテーブル情報 (VTSMPGC\_I\_UT\_I) のパラメータ及び内容を示す。

【図39】図39は、図37に示したビデオタイトルセットメニューPGCユニットサーチポイント (VTSMLU\_SRP) のパラメータ及び内容を示す。

【図40】図40は、図37に示したビデオタイトルセットメニュー言語ユニット (VTSMLU) の構造を示す。

【図41】図41は、図37に示したビデオタイトルセットメニュー言語ユニット情報 (VTSMLUI) のパラメータ及び内容を示す。

【図42】図42は、ビデオタイトルセットメニューPGC情報サーチポイント (VTSMPGC\_I\_SRP) のパラメータ及び内容を示す。

【図43】図43は、図8に示したナビゲーションパックの構造を示す。

【図44】図44は、図8に示したビデオパック、オーディオパック、または副映像パックの構造を示す。

【図45】図45は、図43に示されるナビゲーションパックの再生制御情報 (PCI) のパラメータ及び内容を示す。

【図46】図46は、図45に示される再生制御情報 (PCI) 中の一般情報 (PCI\_GI) のパラメータ及び内容を示す。

【図47】図47は、図45に示される再生制御情報 (PCI) 中のアングル情報 (NSML\_AGLI) のパラメータ及び内容を示す。

【図48】図48は、図47に示される再生制御情報 (PCI) 中のアングル情報 (NSML\_AGLI) を利用してアングル変更を実施する際の説明図である。

【図49】図49は、1つの副映像ユニットの再生期間における各副映像ストリームに対するハイライト情報の

有効期間を示す図である。

【図50】図50は、ビデオと副映像とハイライト情報と、それらを合成した合成画像を説明するための図である。

【図51】図51は、図5に示される再生制御情報(PCI)中のハイライト情報(HL\_I)のパラメータ及び内容を示す。

【図52】図52は、図51に示されるハイライト情報(HL\_I)の内容を説明するための図。

【図53】図53は、図51に示されるハイライト情報(HL\_I)中のハイライト生成情報(HL\_GI)のパラメータ及び内容を示す。

【図54】図54は、図51に示されるハイライト情報(HL\_I)中のボタン色情報テーブル(BTN\_COL\_1T)の構成を示す図。

【図55】図55は、図54に示される選択色情報(SL\_COL\_1)の記述内容を詳細に示す図。

【図56】図56は、図54に示される確定色情報(AC\_COL\_1)の記述内容を詳細に示す図。

【図57】図57は、図51に示されるハイライト情報(HL\_I)中のボタン情報テーブル(BTN\_I)の構成を示す図。

【図58】図58は、図57に示されるボタン情報(BTN\_I)中のボタン位置情報(BTN\_POS\_I)の記述内容を詳細に示す図。

【図59】図59は、図43に示されるナビゲーションバックのディスクサーチ情報(DSI)のパラメータ及び内容を示す。

【図60】図60は、図59に示されるディスクサーチ情報(DSI)のDSI一般情報(DS\_I\_GI)のパラメータ及び内容を示す。

【図61】図61は、図59に示されるディスクサーチ情報(DSI)のアングル情報(SML\_AGL\_I)のパラメータ及び内容を示す。

【図62】図62は、図61に示されるディスクサーチ情報(DSI)中のアングル情報(SML\_AGL\_I)を利用してアングル変更を実施する際の説明図である。

【図63】図63は、図59に示されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)のサーチ情報(VOBU\_SR\_I)のパラメータ及び内容を示す。

【図64】図64は、図59に示されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)のサーチ情報(VOBU\_SR\_I)のフォワードアドレス(FWDA)を記述するビットマップを示す。

【図65】図65は、図59に示されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)のサーチ情報(VOBU\_SR\_I)のバックワードアドレス(BWDA)を記述するビットマップを示す。

【図66】図66は、図59に示されるビデオオブジェクトユニット(VOBU)の同期再生情報(SYNC

)のパラメータ及びその内容を示す。

【図67】図67は、副映像ユニットの構成を示す。

【図68】図68は、図67に示される副映像ユニットの副映像ユニットヘッダ(SPUH)のパラメータ及びその内容を示す。

【図69】図69は、図67に示される副映像ユニットの表示制御シーケンステーブル(DCSQT)のパラメータ及びその内容を示す。

【図70】図70は、図69に示される表示制御シーケンス(DCSQ)のパラメータ及びその内容を示す。

【図71】図71は、パケット転送処理部の構成を示す。

【図72】図72は、ハイライト処理部の構成を示す。

【図73】図73は、光ディスク内の総タイトル数、各タイトルごとのチャプタ数(プログラム数)、各タイトルごとのオーディオストリーム数とオーディオストリームの言語、各タイトルごとの副映像ストリーム数と副映像ストリームの言語を検出する際のフローチャートを示す。

【図74】図74は、光ディスク内の総タイトル数、各タイトルごとのチャプタ数(プログラム数)、各タイトルごとのオーディオストリーム数とオーディオストリームの言語、各タイトルごとの副映像ストリーム数と副映像ストリームの言語を検出する際のフローチャートを示す。

【図75】図75は、メモリテーブルの記憶例を示す図。

【図76】図76は、メインメニューの画像の再生例を示す図。

【図77】図77は、タイトルメニュー、チャプタメニュー、オーディオメニュー、副映像メニュー、アングルメニューの画像の再生例を示す図。

【図78】図78は、メニューが再生される際の処理手順を示すフローチャートを示す。

【図79】図79は、ビデオと副映像とハイライト情報と、それらを合成した合成画像を説明するための図である。

【図80】図80は、ビデオと副映像とハイライト情報と、それらを合成した合成画像を説明するための図である。

【図81】図81は、副映像データにおけるパターン画素と強調画素を示す図。

【図82】図82は、図6から図6に示す論理オーマットを有する光ディスクにおいてビデオデータを通常モードで再生する手順を示すフローチャートを示す。

【図83】図83は、図6から図6に示す論理オーマットを有する光ディスクにおいてビデオデータを通常モードで再生する手順を示すフローチャートを示す。

【図84】図84は、図6から図6に示す論理オーマットを有する光ディスクにおいてビデオデータを通常

モードで再生する手順を示すフローチャートを示す。

【図8.5】図8.5は、図6から図6.6に示す論理フォーマットを有する光ディスクにおいてビデオデータの再生中におけるアングルを変更する手順を示すフローチャートを示す。

【図8.6】図8.6は、映像データをエンコードして映像ファイルを生成するエンコーダシステムを示すブロック図である。

【図87】図87は、図86に示されるエンコード処理を示すフロー・チャートである。

【図88】図88は、図87に示すフローでエンコードされた主映像データ、オーディオデータ及び副映像データを組み合わせて映像データのファイルを作成するフローチャートである。

【図89】図89は、フォーマットされた映像ファイルを光ディスクへ記録するためのディスクフォーマッタのシステムを示すブロック図である。

【図90】図90は、図89に示されるディスクフォーマットにおけるディスクに記録するための論理データを作成するフローチャートである。

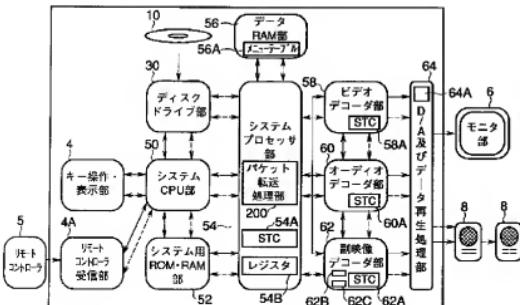
【図9.1】図9.1は、論理データからディスクへ記録するための物理データを作成するフローチャートである。

【図9-2】図9-2は、図8に示すセオライトルモードを通信系を介して転送するシステムを示す概略図である。

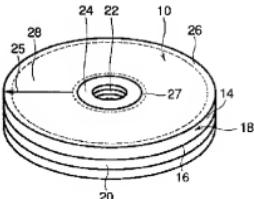
### 【符号の説明】

- 4…キー操作／表示部
- 5…リモートコントロール
- 6…モニタ部
- 8…スピーカ部
- 10…光ディスク
- 30…ディスクドライブ部
- 50…システムCPU部

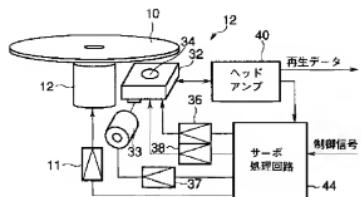
[図1]



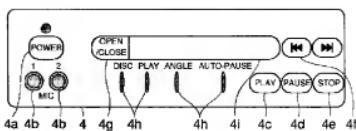
【図3】



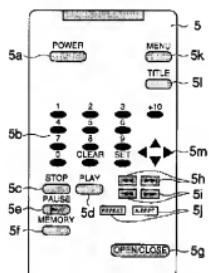
[図2]



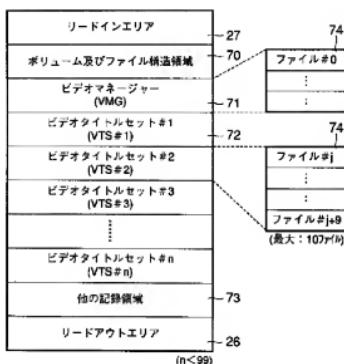
[図4]



【图5】



[図6]



【图7】



【図8】

ビデオオブジェクト(VOB)			
83			82
ビデオオブジェクト (VOBU_IDN1)	ビデオオブジェクト (VOBU_IDN1)	- - -	ビデオオブジェクト (VOBU_IDN1)
84			
セル (C_IDN1)	セル (C_IDN2)	- - -	セル (C_IDN1)
85			
ビデオオブジェクト ユニット(VOBU)	ビデオオブジェクト ユニット(VOBU)	ビデオオブジェクト ユニット(VOBU)	ビデオオブジェクト ユニット(VOBU)
86 86 86 86	90 91 90 91		
N V V S A A V N A	V B B D B A V V	V B B D B A V V	V B B D B A V V
ババババババババ	ババババババババ	ババババババババ	ババババババババ
パックパックパックパ	パックパックパックパ	パックパックパックパ	パックパックパックパ

【図14】

VMGM_PGGI_UT	81A
ビデオオブジェクト-PGGIに接続する情報 (VMGM_PGGI_UT)	
ビデオオブジェクト-音声エンコーディング (VMGM_LU_SRPT)	81B
ビデオオブジェクト-音声エンコーディング (VMGM_LU_SRPT)	
ビデオオブジェクト-音声エンコーディング (VMGM_LU)	81C
ビデオオブジェクト-音声エンコーディング (VMGM_LU)	
ビデオオブジェクト-音声エンコーディング (VMGM_LU)	

【図9】

87	ブロック	プログラムチェーン#1	..	プログラムチェーン#n	ブロック
88	ブロック	プログラム#1	プログラム#2	プログラム#3	..
89	ブロック	プログラム#1	プログラム#2	プログラム#3	..
84	セル	セルID#1	セルID#2	セルID#3	..
	セル	セルID#1	セルID#2	セルID#3	..

【図10】

VMGI_MAT	内容	説明
VMG_ID	ビデオマネージャーの識別子	
VMG_SIZE	ビデオ管理情報のサイズ	
VERN	DVDの規格に関するバージョン番号	
VMG_CAT	ビデオマネージャーのカテゴリー	
VLMS_ID	ボリュームセッタ識別子	
VTS_Ns	ビデオタイトルセットの数	
PVR_ID	送信者のID	
VMGM_VOBS_SA	VMGM_VOBSの開始アドレス	
VMGI_MAT_EA	VMGI_MATの終了アドレス	
TT_SRPT_SA	TT_SRPTの開始アドレス	
VMGM_PGGI_UT_SA	VMGM_PGGI_UTの開始アドレス	
VTS_ATRT_SA	VTS_ATRTの開始アドレス	
VMGM_V_ATR	VMGMのビデオ属性	
VMGM_AST_Ns	VMGMのオーディオストリーム数	
VMGM_AST_ATR	VMGMのオーディオストリーム属性	
VMGM_SPST_Ns	VMGMの静止像ストリーム数	
VMGM_SPST_ATR	VMGMの静止像ストリーム属性	

【図11】

TT_SRPT	92
タイトルサーチボインターテーブル情報 (TT_SRPTI)	
入力番号1のタイトルサーチボインタ (TT_SRPT)	93
入力番号2のタイトルサーチボインタ (TT_SRPT)	
入力番号nのタイトルサーチボインタ (TT_SRPT)	79

【図12】

TT_SRPTI	(記述欄)
TT_Ns	タイトルチボインタの数
TT_SRPTI_EA	TT_SRPTIの終了アドレス

【図15】

VMGM_PGC1_UTI	(記述欄)
VMGM_LU_Ns	ビデオネジーマニ-言語ユニットの数
VMGM_PGC1_UT_EA	ビデオネジーマニ-言語ユニットのリストアドレス

【図17】

VMGM_LU	
ビデオネジーマニ-言語ユニット情報 (VMGM_LU)	81D
ビデオネジーマニ-PGC情報チボインタ# (VMGM_PGC1_SRPT#1)	
:	
ビデオネジーマニ-PGC情報チボインタ# (VMGM_PGC1_SRPT#n)	81E
ビデオネジーマニ-PGC情報 (VMGM_PGC1)	
:	
ビデオネジーマニ-PGC情報 (VMGM_PGC1)	81F

【図19】

VMSM_PGC1_SRPT	(記述欄)
VMGM_PGC_CAT	ビデオネジーマニ-のアロバティクションのカタゴリ
VMGM_PGC1_SA	VMGM_PGC1のカタゴリ情報のリストアドレス

【図25】

VTS_PGCIT_I	(記述欄)
VTS_PGC_Ns	VTS_PGCの数
VTS_PGCIT_EA	VTS_PGCITの終了アドレス

【図13】

TT_SRP	(記述欄)
PTT_Ns	パートオブタイトルの数
VTSN	ビデオタイトルセット番号
VTS_TTN	ビデオタイトルセットタイトル番号
VTS_SA	ビデオタイトルセットの開始アドレス

【図16】

VMGM_LU_SRPT	(記述欄)
VMGM_LCD	ビデオネジーマニ-言語コード
VMGM_LU_SA	ビデオネジーマニ-言語ユニットのリストアドレス

【図18】

VMGM_LUI	(記述欄)
VMGM_PGC1_Ns	VMGM_PGC1のカタゴリ情報の数
VMGM_LUI_EA	ビデオネジーマニ-言語ユニット情報のリストアドレス

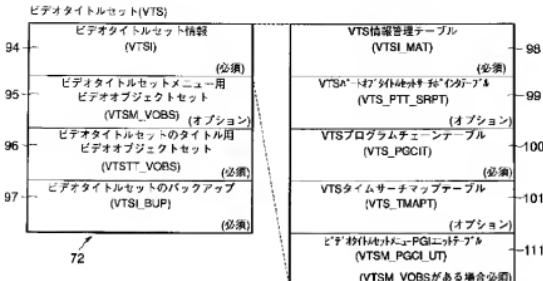
【図21】

VTSI_MAT	(記述欄)
VTS_ID	ビデオタイトルセット識別子
VTSI_SZ	当該VTSIのサイズ
VERN	DVDビデオ規格のバージョン番号
VTS_CAT	ビデオタイトルセットのカタゴリ
VTSI_VOBS_SA	VTSI_VOBSの開始アドレス
VTSI_TVOBS_SA	VTSI_TVOBSの開始アドレス
VTSI_MAT_EA	VTSI_MATの終了アドレス
VTSI_PTT_SRPT_SA	VTSI_PTT_SRPTの開始アドレス
VTSI_PGC1_SA	VTSI_PGC1の開始アドレス
VTSI_PGC1_UT_SA	VTSI_PGC1_UTの開始アドレス
VTSI_TMAPT_SA	VTSI_TMAPTの開始アドレス
VTS_V_ATR	ビデオ属性
VTS_AST_Ns	VTSIについてのオーディオストリーム数
VTS_AST_ATR	VTSIについてのオーディオストリーム属性
VTS_SPST_Ns	VTSIについての画映像ストリーム数
VTS_SPST_ATR	VTSIについての画映像ストリーム属性
VTSI_AST_Ns	VTSIについてのオーディオストリーム数
VTSI_AST_ATR	VTSIについてのオーディオストリーム属性
VTSI_SPST_Ns	VTSIについての画映像ストリーム数
VTSI_SPST_ATR	VTSIについての画映像ストリーム属性

【図26】

VTS_PGCIT_SRPT	(記述欄)
VTS_PGC_CAT	VTS_PGCのカタゴリ
VTS_PGC1_SA	VTS_PGC情報の開始アドレス

【図20】



【図22】

オーディオストリーム属性の内容							
b63	b62	b51	b60	b59	b58	b57	b56
オーディオデイミングモード の有効性	音声デイミングモード の有効性	リティアード	777ルートルID				
b55	b54	b53	b52	b51	b50	b49	b48
量算化	サンプリング 周波数	サンプリング (O)	サンプリングの数				
b47	b46	b45	b44	b43	b42	b41	b40
b39	b38	b37	b36	b35	b34	b33	b32
b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アプリケーションインフォメーション							

【図28】

PGCI_GI		(記述欄)
内容		
PGCI_CAT		PGCのカテゴリ
PGC_CNT		PGCの内容
PGC_PB_TIME		PGCの再生時間
PGC_SPST_CTL		PGCの再生映像ストリーム制御
PGC_AST_CTL		PGCオーディオストリーム制御
PGC_SP_PLT		PGC制御パラメット
C_PBIT_SA	C_PBITの開始アドレス	
C_POSIT_SA	C_POSITの開始アドレス	

【図23】

b47	b46	b45	b44	b43	b42	b41	b40
副映像コーディングモード (O)	リフレーバー (O)	音域表示用マスク	映像像タグ				
b39	b38	b37	b36	b35	b34	b33	b32
b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0

【図27】

ブロガムマッピングテーブル (PGC_GI)	(必須)	105
ブロガムマッピングマップ (PGC_PGMAP)	(VOBがある場合、必須)	106
セル再生情報テーブル (C_PBIT)	(VOBがある場合、必須)	107
セル位置情報テーブル (C_POSIT)	(VOBがある場合、必須)	108

104

【図24】

VTS_PGCIT	
ビデオタイトルセット内のプログラムチェーンの島の情報 (VTS_PGCIT 1)	
102	b30 b29 b28 b27 b26 b25 b24
VTS_PGCIT#1 サーチポインタ (VTS_PGCIT_SRP#1)	
103	b23 b22 b21 b20 b19 b18 b17 b16
VTS_PGCIT#2 サーチポインタ (VTS_PGCIT_SRP#2)	
:	
VTS_PGCIT#n サーチポインタ (VTS_PGCIT_SRP#n)	
104	b15 b14 b13 b12 b11 b10 b9 b8
VTS_PGCIT#1 (VTS_PGCIT1)	
:	
VTS_PGCIT#n (VTS_PGCIn)	
100	b7 b6 b5 b4 b3 b2 b1 b0

【図30】

b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
#9#-# (O) プログラムの数							
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
セルの数							
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
リザーブ(O)		アングルの数					

【図32】

エントリーセル番号	内容
ECELLN	エントリーセル番号

【図35】

セル位置情報#1(C_POSI1)
:
セル位置情報#n(C_POSIn)

【図45】

PCI	内容
PCI_GI	PCIの一般情報
NSML_AGLI	アングル情報
HLI	ハイライト情報

【図29】

PGC-CAT							
b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
エントリーオフ	#9#-#(O)						メニュー ID
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16
アラートモード	#9#-#(O)						アラートモード
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
エーリー	#9#-#(O)						エーリー
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
リザーブ(O)							

【図31】

PGC_PGMAP	
プログラム#1のエントリーセル番号	
プログラム#2のエントリーセル番号	
:	
プログラム#nのエントリーセル番号	

【図34】

C_PBI	
内容	
C_CAT	セルカテゴリ
C_PBTM	セル再生時間
C_VOBUS_A	セル再生の最初のVOBUの開始アドレス
C_LVOBU_SA	セル中の最後のVOBUの開始アドレス

【図33】

C_PBIT	
セル再生情報#1(C_PBI1)	
セル再生情報#2(C_PBI2)	
:	
セル再生情報#n(C_PBIn)	

【図36】

C_POSI	
内容	
C_VOB_IDN	セル内のVOB ID番号
C_IDN	当該セルのID番号

【図37】

VTSM_PGI_UT	～111A
ビデオサブネットメニューPGCユニット情報 (VTSM_PGI_UT)	
ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイント (VTSM_LU_SRPT)	～111B
：	～111B
：	～111B
ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイント (VTSM_LU_SRPT)	～111C
：	～111C
ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイント (VTSM_LU)	～111C
：	～111C
ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイント (VTSM_LU)	～111C

111

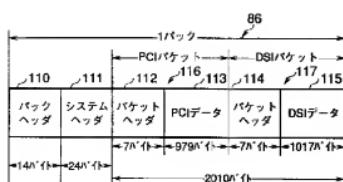
【図39】

VTSM_LU_SRPT	内容
VTSM_LCD	ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイント
VTSM_LU_SA	ビデオサブネットメニュー言語エンドツーポイントの開始アドレス

【図41】

VTSM_LUI	内容
VTSM_PGC_Ne	VTSMプログラムメニュー情報の数
VTSM_LU_EA	ビデオサブネットメニューPGC情報を終了アドレス

【図43】

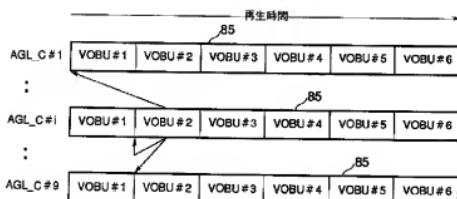


【図46】

PCI_GI	内容
NV_PCK_LBN	NVパックのLBN
VOBU_CAT	VOBUのカテゴリ
VOBU_SPTS	VOBUのスタートPTS
VOBU_EPTS	VOBUのエンドPTS

NSML_AGL	内容
NSML_AGL_C1_DSTA	アングルセル番号1の目的アドレス
NSML_AGL_C2_DSTA	アングルセル番号2の目的アドレス
NSML_AGL_C3_DSTA	アングルセル番号3の目的アドレス
NSML_AGL_C4_DSTA	アングルセル番号4の目的アドレス
NSML_AGL_C5_DSTA	アングルセル番号5の目的アドレス
NSML_AGL_C6_DSTA	アングルセル番号6の目的アドレス
NSML_AGL_C7_DSTA	アングルセル番号7の目的アドレス
NSML_AGL_C8_DSTA	アングルセル番号8の目的アドレス
NSML_AGL_C9_DSTA	アングルセル番号9の目的アドレス

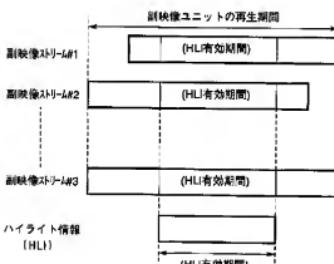
【図48】



【図51】

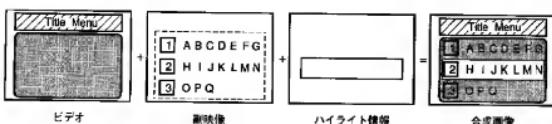
HU	内容
HU_GI	ハイライト一覧情報
BTN_COLT	ボタン色情報テーブル
BTN_T	ボタン情報テーブル

【図49】

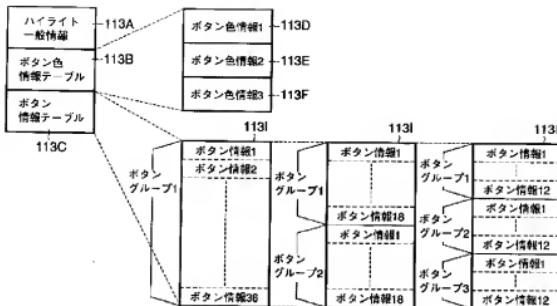


HL_GI	内容
(1) HU_SS	ハイライト情報の状態
(2) HU_S_PT	ハイライト開始時間
(3) HU_E_PT	ハイライト終了時間
(4) BTN_SL_E_PT	ボタン選択終了時間
(5) BTN_MD	ボタンのモード
(6) BTN_SN	ボタンスタート番号
(7) BTN_Ns	有効ボタン数
(8) NSBTN_Ns	番号で指定できるボタン数
(9) FSLBTN_N	強制選択ボタン番号
(10) FACEBTN_N	強制確定ボタン番号

【図50】

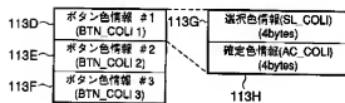


【図52】

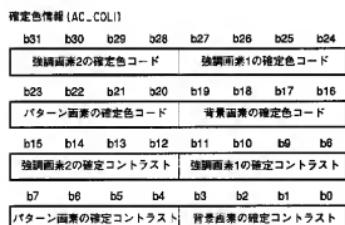


【図54】

【図55】

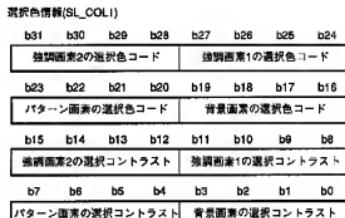


【図56】

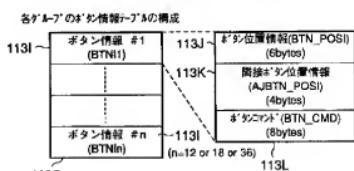


【図59】

DSI	内容
DSI_GI	DSIの一般情報
SML_AGLI	アングル情報
VOBU_SRI	VOBエントリ情報
SYNCI	同期再生情報



【図57】



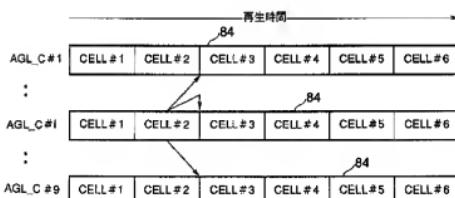
【図60】

DSI	内容
NV_PCK_SCR	NVパックのSCR
NV_PCK_LBN	NVパックのLBN
VOBU_EA	VOBUの終了アドレス
VOBU_IP_EA	最初の1バイトの終了アドレス
VOBU_VOB_IDN	VOBのID番号
VOBU_C_IDN	セルのID番号

【図58】

ボタン位置情報(BTN-POS)										
b47	b46	b45	b44	b43	b42	b41	b40			
4色	番号	開始X座標(上位)								
b39	b38	b37	b36	b35	b34	b33	b32			
開始X座標(下位)				W'-'J'(0)	終了X座標(上位)					
b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24			
終了X座標(下位)										
b23	b22	b21	b20	b19	b18	b17	b16			
走行動作モード		スタートY座標(上位)								
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8			
スタートY座標(下位)				W'-'J'(0)	終了Y座標(上位)					
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0			
終了Y座標(下位)										

【図62】



【図64】

フォワードアドレス(FWDAn)

b31	b30	b29	b28	b27	b26	b25	b24
V_FWD	V_FWD	A-FWDn[29..24]					
Exist 1	Exist 1						
b23	b24	b25	b26	b27	b28	b29	b30
A-FWDn[23..16]							
b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
A-FWDn[15..8]							
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
A-FWDn[7..0]							

【図61】

SML_AGL	
	内容
SML_AGL-C1_DSTA	アグリゲート番号1の目的アドレス
SML_AGL-C2_DSTA	アグリゲート番号2の目的アドレス
SML_AGL-C3_DSTA	アグリゲート番号3の目的アドレス
SML_AGL-C4_DSTA	アグリゲート番号4の目的アドレス
SML_AGL-C5_DSTA	アグリゲート番号5の目的アドレス
SML_AGL-C6_DSTA	アグリゲート番号6の目的アドレス
SML_AGL-C7_DSTA	アグリゲート番号7の目的アドレス
SML_AGL-C8_DSTA	アグリゲート番号8の目的アドレス
SML_AGL-C9_DSTA	アグリゲート番号9の目的アドレス

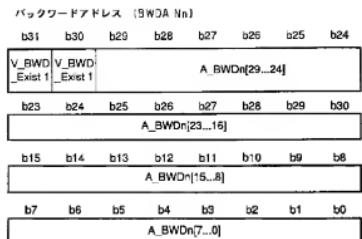
【図63】

VOBU_SRI	
	内容
FWDA240	+240VOBUの開始アドレス
FWDA230	+120VOBUの開始アドレス
FWDA60	-80VOBUの開始アドレス
FWDA40	-20VOBUの開始アドレス
FWDA15	-15VOBUの開始アドレス
FWDA14	-14VOBUの開始アドレス
FWDA13	-13VOBUの開始アドレス
FWDA12	-12VOBUの開始アドレス
FWDA11	+11VOBUの開始アドレス
FWDA10	+10VOBUの開始アドレス
FWDA9	+9VOBUの開始アドレス
FWDA8	+8VOBUの開始アドレス
FWDA7	+7VOBUの開始アドレス
FWDA6	+6VOBUの開始アドレス
FWDA5	+5VOBUの開始アドレス
FWDA4	+4VOBUの開始アドレス
FWDA3	+3VOBUの開始アドレス
FWDA2	+2VOBUの開始アドレス
FWDA1	+1VOBUの開始アドレス
BWDA1	-1VOBUの開始アドレス
BWDA2	-2VOBUの開始アドレス
BWDA3	-3VOBUの開始アドレス
BWDA4	-4VOBUの開始アドレス
BWDA5	-5VOBUの開始アドレス
BWDA6	-6VOBUの開始アドレス
BWDA7	-7VOBUの開始アドレス
BWDA8	-8VOBUの開始アドレス
BWDA9	-9VOBUの開始アドレス
BWDA10	-10VOBUの開始アドレス
BWDA11	-11VOBUの開始アドレス
BWDA12	-12VOBUの開始アドレス
BWDA13	-13VOBUの開始アドレス
BWDA14	-14VOBUの開始アドレス
BWDA15	-15VOBUの開始アドレス
BWDA16	-16VOBUの開始アドレス
BWDA20	-20VOBUの開始アドレス
BWDA60	-80VOBUの開始アドレス
BWDA120	-120VOBUの開始アドレス
BWDA240	-240VOBUの開始アドレス

【図66】

SYNC1	
	内容
A_SYNC1_0 to 7	同然対象のオーディオパックのアドレス
SP_SYNC1_0 to 31	VOBU#の対象映射パックの開始アドレス

〔図65〕



【図68】

SPUH	内容
SPDSZ	副映像ユニットのサイズ
SPDCQTA	表示制御シーケンステーブルのスタートアドレス

【図69】

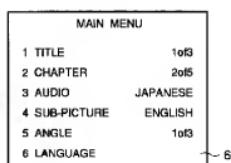
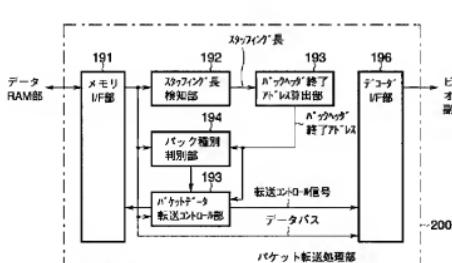
DCSQT	内容
DCSQ0	表示制御シーケンス0
DCSQ1	表示制御シーケンス1
...	...
	表示制御シーケンスn

〔图71〕

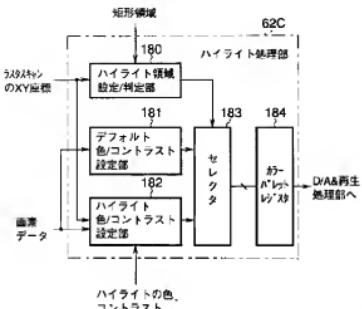
〔図70〕

DCSQ	内容
SPNDCSQA	次の表示制御シグナルのスタートアドレス
SPDCCMD1	表示制御コマンド1

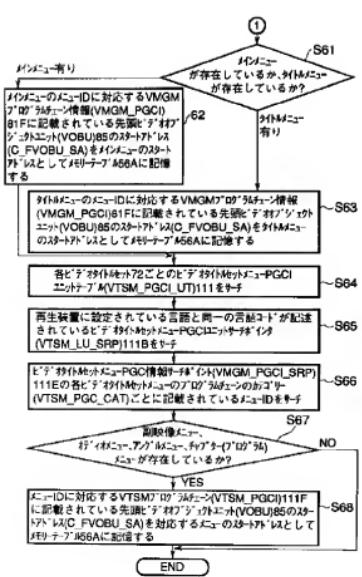
### 【図76】



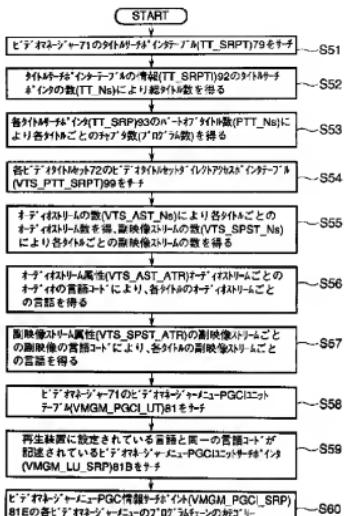
【図72】



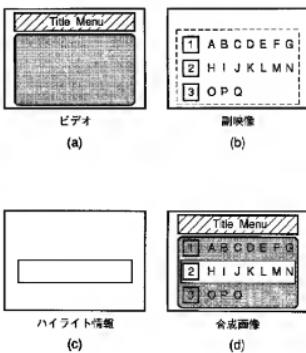
【図74】



【図73】



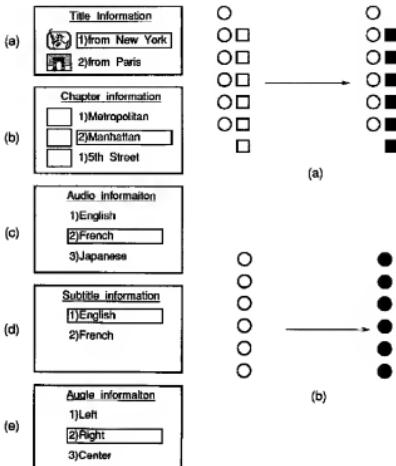
【図79】



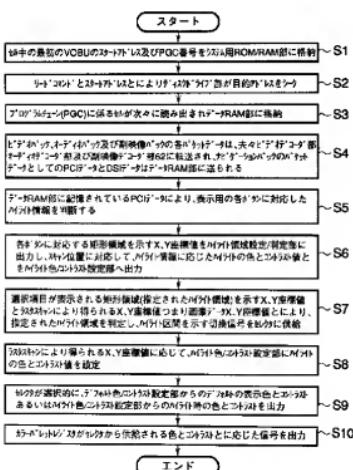
【図75】

先頭ビットオブジェクトユニット のスタートアドレス	
メインメニュー	VMGM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトルメニュー	VTGM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトル1の チャプターメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトル2の チャプターメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
⋮	⋮
タイトル1の オーディオメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトル2の オーディオメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
⋮	⋮
タイトル1の SUB-PICTUREメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトル2の SUB-PICTUREメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
⋮	⋮
タイトル1の アングルメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA
タイトル2の アングルメニュー	VTSM PGCHに記載されている VCBU0C_FVOBU_SA

【図77】



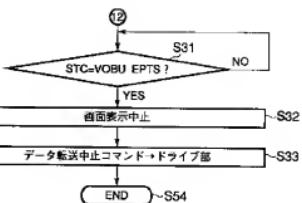
[图78]



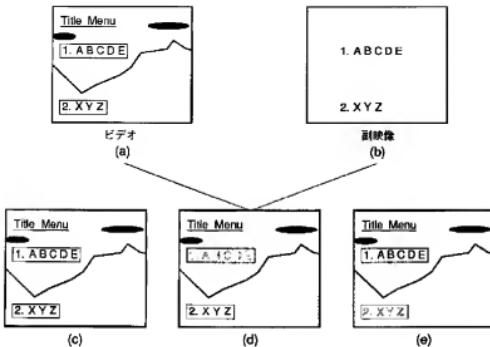
```

graph TD
    A[BITデータを検索] --> B[S28]
    B --> C[1]
    C --> D[S29]
    C --> E[0]
    E --> F[S30]
    
```

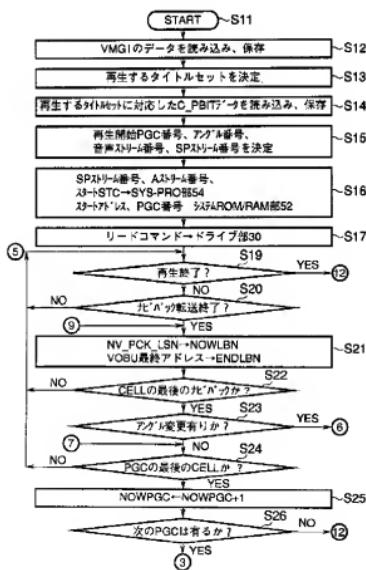
【图84】



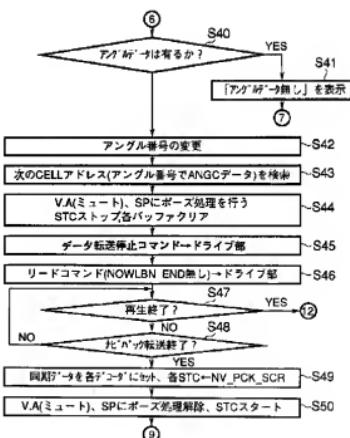
【図80】



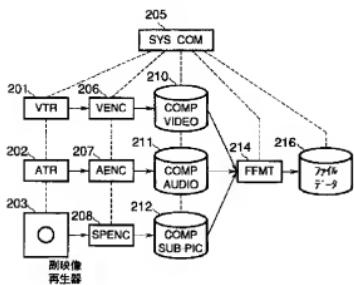
【図82】



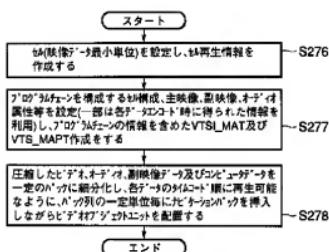
【図85】



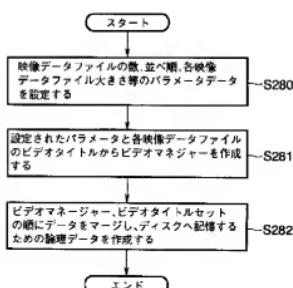
【図86】



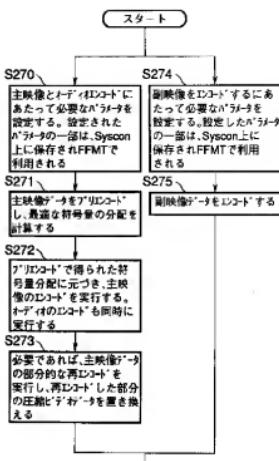
【図88】



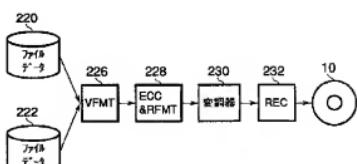
【図90】



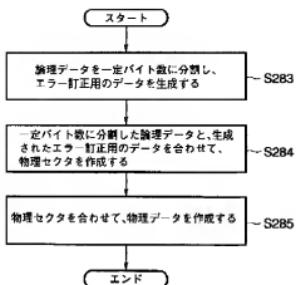
【図87】



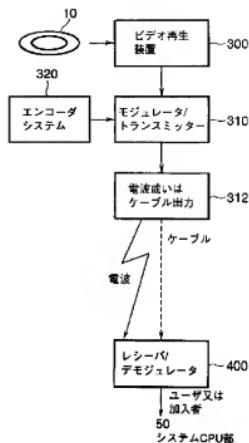
【図89】



【図91】



【図92】



フロントページの続き

(72)発明者 菊地 伸一  
東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝工  
一・ブイ・イー株式会社内

(72)発明者 平良 和彦  
東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝工  
一・ブイ・イー株式会社内